

平成 28 年 3 月 31 日

## 平成 28 年度「学生による授業評価アンケート」結果報告

平成 28 年度名古屋経済大学 FD 委員会

本学では平成 24 年度より「2 年に 1 回は担当科目の授業評価アンケートを実施する」方式を採用し、教員あるいは学部・学科がアンケート対象科目を選択している。ただし「専門共通基礎 I, II」の 19 科目および学部学科が要請する科目については毎年度実施することになっている。

近年、法学部を中心にスポーツ系「強化指定クラブ」に所属する学生が増加していることを受け、属性項目に「あなたはスポーツ推薦で入学しましたか。」を項目 D として追加した。これに伴い「あなたはこの授業のシラバスを読みましたか。」は項目 E とした。

平成 28 年度は平成 28・29 年度の前半に当たる。前期に 169 科目、後期に 135 科目について学生による授業評価アンケートを実施した。

経済学部と経営学部の学生視点結果について、それぞれ「留学生」と「日本人学生」に項目を分けて統計を出した。また、法学部、経済学部、経営学部、教育保育学科の学生視点結果について、それぞれ「スポーツ学生のみ」と「スポーツ学生を除く」に項目を分けて統計を出した（詳細は以下参照）。それぞれの結果については全学で共有した。

前・後期ごとに実施科目の個別結果と科目担当者による改善点を含む考察は学内ホームページに掲載し、学生にも閲覧するよう案内を出した。学部学科の傾向については FD 委員会が分析し、その内容を教授会に報告した（詳細は以下参照）。

- A. あなたの所属している学部・学科は、どこですか  
1…経済学部・現代経済学科  
2…経営学部・経営学科  
3…法学部・ビジネス法学科  
4…人間生活科学部・教育保育学科  
5…人間生活科学部・管理栄養学科  
6…科目等履修生・研究生
- B. あなたは何年生ですか  
1…1年生 2…2年生 3…3年生 4…4年生 5…その他
- C. あなたは留学生ですか  
1…はい 2…いいえ
- D. あなたはスポーツ推薦で入学しましたか  
1…はい 2…いいえ
- E. あなたはこの授業のシラバスを読みましたか  
1…はい 2…いいえ
1. あなたはこの授業によく出席しましたか  
1…全部出席した 2…1-2回欠席した 3…3-4回欠席した  
4…5-6回欠席した 5…7回以上欠席した
2. あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
3. この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
4. 授業内容はわかりやすかったと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
5. この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
6. 教員の教え方には熱意があったと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
7. 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
8. 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
9. 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
10. 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
11. 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
12. 教員は授業時間を守っていたと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
13. 複数教員による授業は良かったと思いますか  
1…強くそう思う 2…そう思う 3…どちらともいえない  
4…そう思わない 5…まったくそう思わない
14. (自由質問)
15. その他、この授業について「良かった点」「不満な点」があれば記入してください

## 2016年度前期 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	22	22	100.00	22	100.00
経営学部	26	25	96.15	25	100.00
法学部	24	24	100.00	24	100.00
人間生活科学部・管理栄養学科	26	26	100.00	26	100.00
人間生活科学部・教育保育学科	15	15	100.00	15	100.00
非常勤	59	57	96.61	57	100.00
<b>【全体】</b>	<b>172</b>	<b>169</b>	<b>98.26</b>	<b>169</b>	<b>100.00</b>

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	1,861	1,861	1,213	65.18
経営学部	2,257	2,245	1,513	67.39
法学部	1,931	1,931	1,259	65.20
人間生活科学部・管理栄養学科	1,200	1,200	1,006	83.83
人間生活科学部・教育保育学科	641	641	550	85.80
非常勤	1,785	1,627	1,268	77.93
<b>【全体】</b>	<b>9,675</b>	<b>9,505</b>	<b>6,809</b>	<b>71.64</b>

## 2016年度後期 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	23	23	100.00	23	100.00
経営学部	31	31	100.00	31	100.00
法学部	19	18	94.74	18	100.00
人間生活科学部・管理栄養学科	25	25	100.00	25	100.00
人間生活科学部・教育保育学科	7	7	100.00	7	100.00
非常勤	31	31	100.00	31	100.00
<b>【全体】</b>	<b>136</b>	<b>135</b>	<b>99.26</b>	<b>135</b>	<b>100.00</b>

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	1,772	1,772	1,168	65.91
経営学部	2,230	2,230	1,556	69.78
法学部	1,624	1,582	1,075	67.95
人間生活科学部・管理栄養学科	1,159	1,159	915	78.95
人間生活科学部・教育保育学科	281	281	243	86.48
非常勤	872	872	665	76.26
<b>【全体】</b>	<b>7,938</b>	<b>7,896</b>	<b>5,622</b>	<b>71.20</b>

[名古屋経済大学] 2016年度前期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12
全体	4.06	4.01	3.88	3.96	3.96	4.14	3.97	4.07	4.01	4.14	3.99	4.20
経済学部	3.90	3.92	3.84	3.84	3.88	3.97	3.90	3.96	3.89	3.95	3.87	4.11
経営学部	3.94	3.99	3.90	3.98	3.94	4.15	3.98	4.02	4.04	4.14	3.99	4.20
法学部	3.85	3.77	3.75	3.69	3.78	3.89	3.74	3.85	3.77	3.96	3.77	3.95
人間生活科学部・管理栄養学科	4.55	4.10	3.82	4.01	4.02	4.18	3.98	4.12	4.10	4.18	4.06	4.25
人間生活科学部・教育保育学科	4.18	4.13	3.89	4.15	4.20	4.48	4.16	4.31	4.22	4.42	4.16	4.34
非常勤	4.13	4.23	4.09	4.21	4.12	4.36	4.17	4.31	4.17	4.35	4.18	4.41

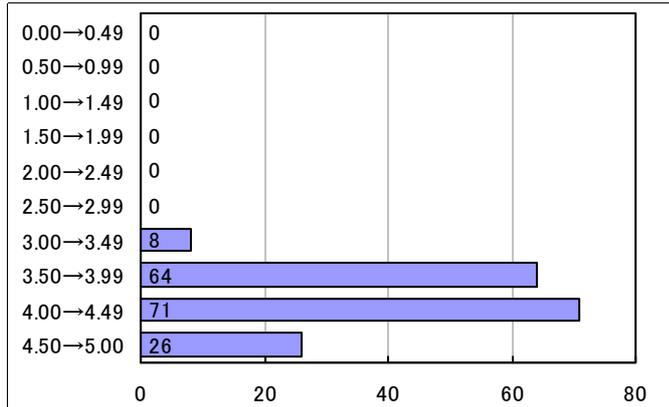
[名古屋経済大学] 2016年度後期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12
全体	4.02	4.04	3.96	4.02	4.01	4.17	4.05	4.13	4.07	4.20	4.03	4.23
経済学部	3.91	3.95	3.91	3.94	3.92	4.08	4.00	4.03	3.97	4.08	3.92	4.19
経営学部	3.93	4.10	4.09	4.15	4.12	4.27	4.13	4.20	4.18	4.32	4.11	4.27
法学部	3.78	3.81	3.77	3.75	3.77	3.97	3.85	3.89	3.84	4.01	3.86	4.04
人間生活科学部・管理栄養学科	4.44	4.20	3.95	4.11	4.09	4.27	4.14	4.25	4.23	4.29	4.17	4.33
人間生活科学部・教育保育学科	4.30	4.18	3.94	4.15	4.07	4.21	4.13	4.27	3.98	4.29	4.13	4.31
非常勤	4.14	4.14	4.09	4.16	4.13	4.29	4.14	4.28	4.14	4.30	4.12	4.34

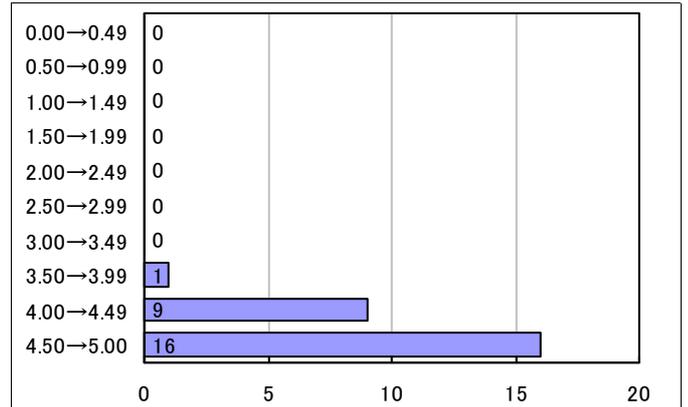
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



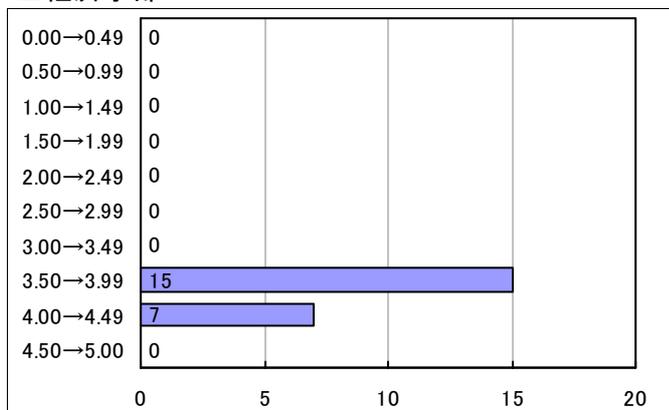
平均値 = 4.06

■人間生活科学部・管理栄養学科



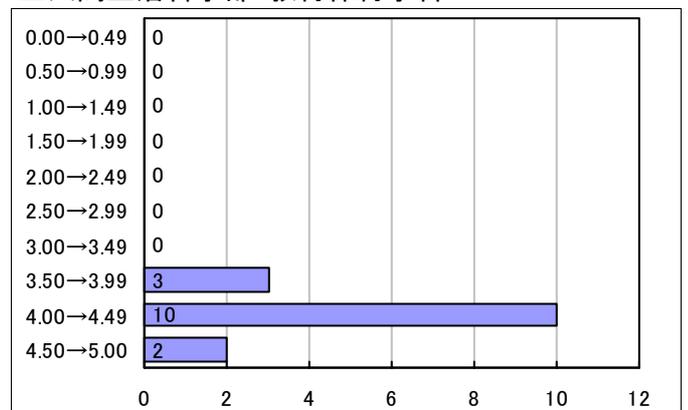
平均値 = 4.55

■経済学部



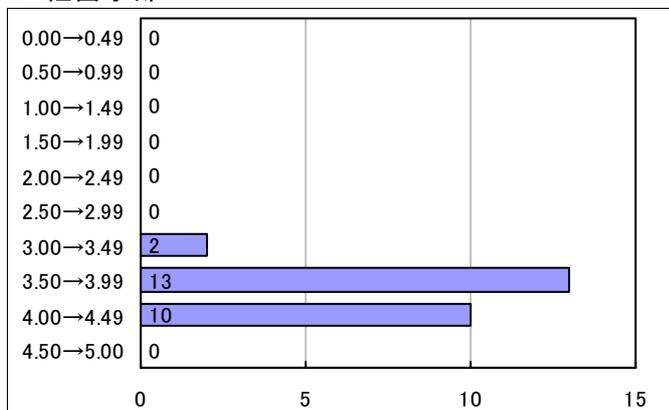
平均値 = 3.90

■人間生活科学部・教育保育学科



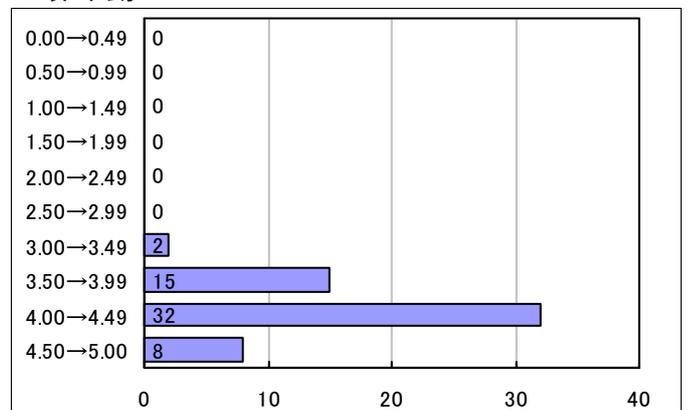
平均値 = 4.18

■経営学部



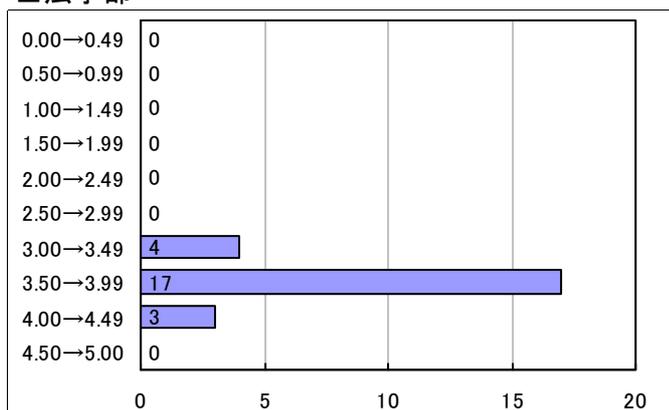
平均値 = 3.94

■非常勤



平均値 = 4.13

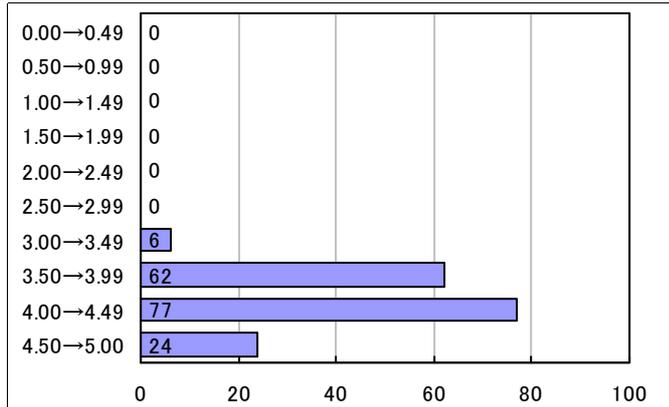
■法学部



平均値 = 3.85

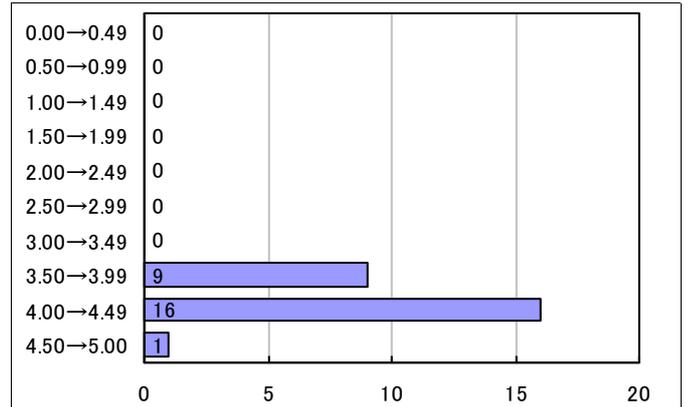
●2.あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



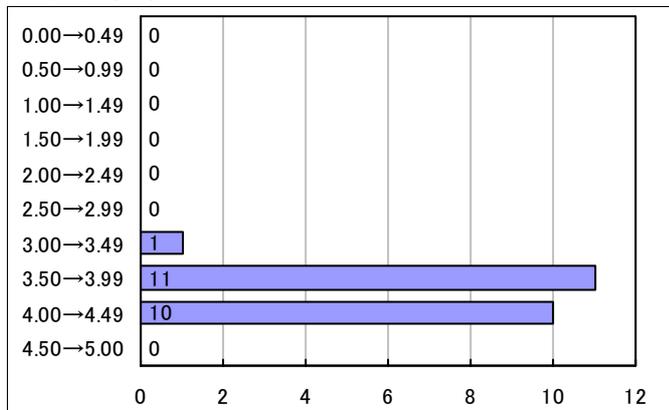
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・管理栄養学科



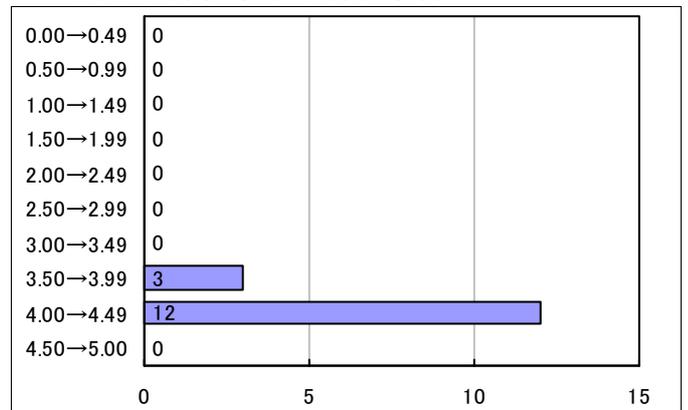
平均値 = 4.10

■経済学部



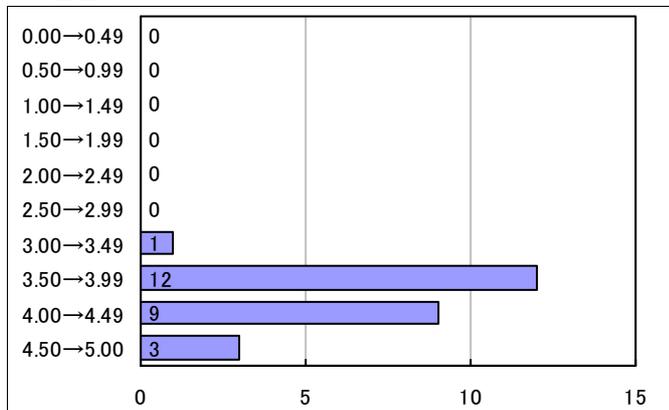
平均値 = 3.92

■人間生活科学部・教育保育学科



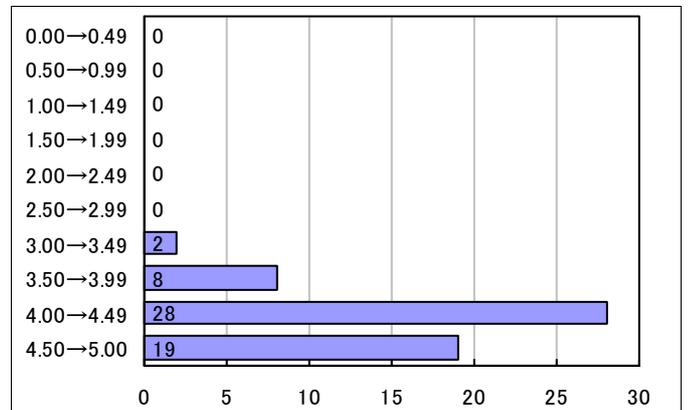
平均値 = 4.13

■経営学部



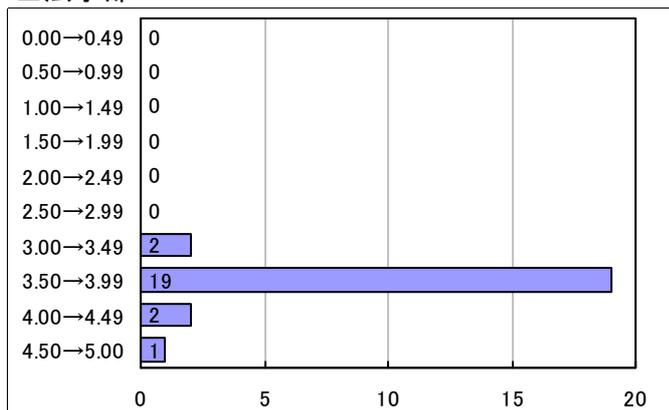
平均値 = 3.99

■非常勤



平均値 = 4.23

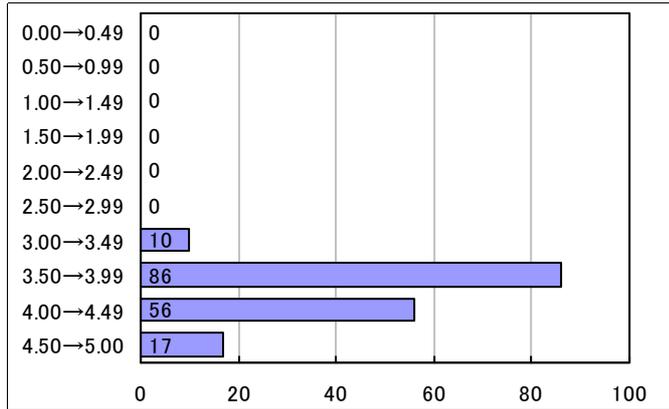
■法学部



平均値 = 3.77

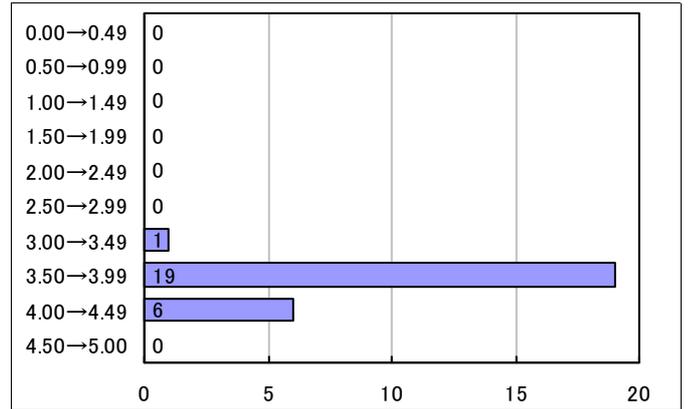
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか

■全体



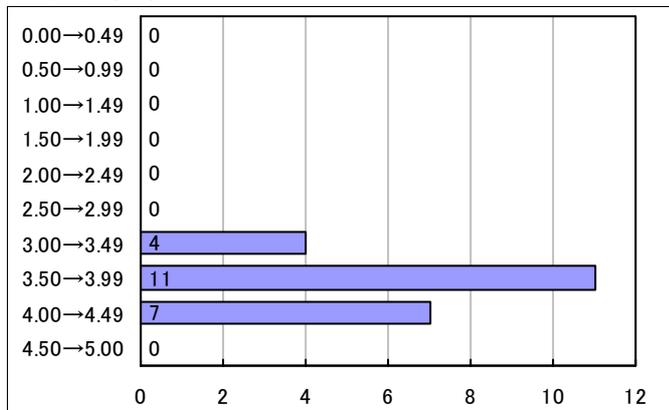
平均値 = 3.88

■人間生活科学部・管理栄養学科



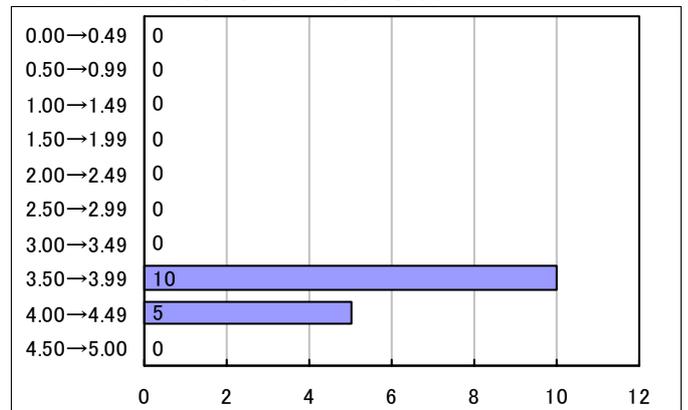
平均値 = 3.82

■経済学部



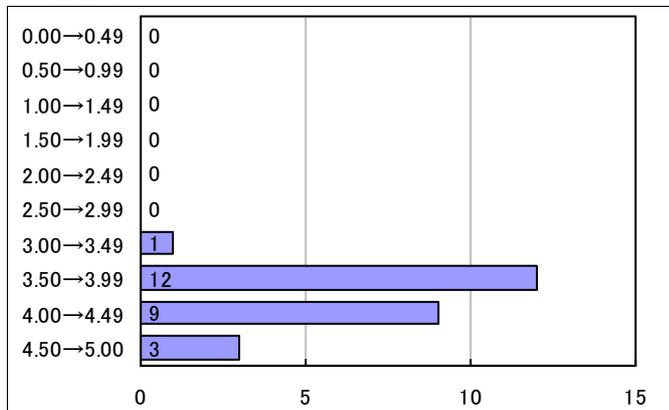
平均値 = 3.84

■人間生活科学部・教育保育学科



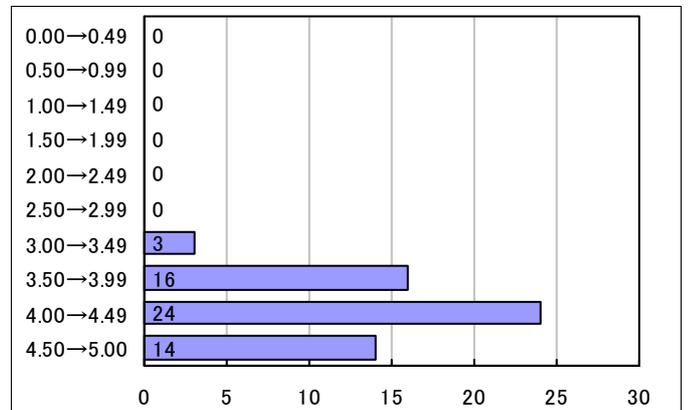
平均値 = 3.89

■経営学部



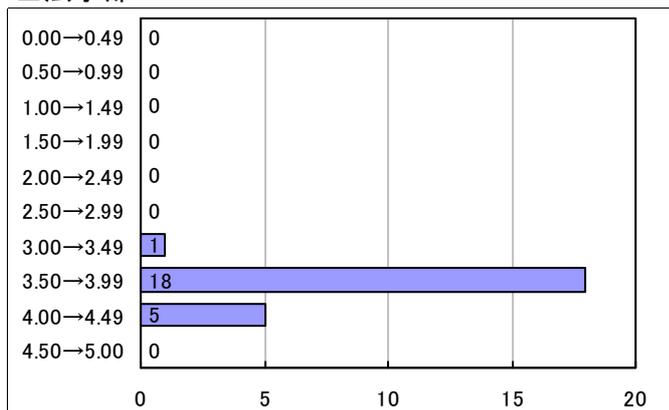
平均値 = 3.90

■非常勤



平均値 = 4.09

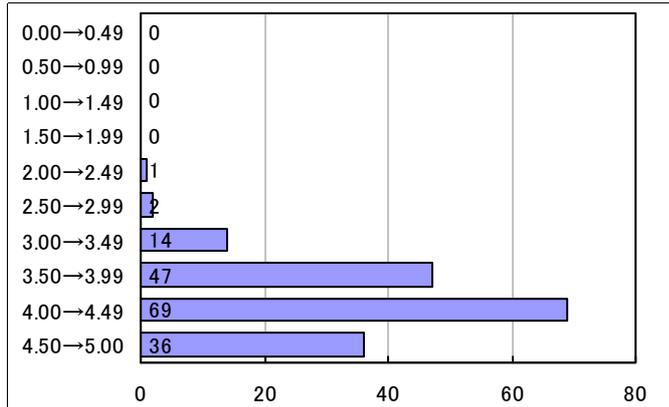
■法学部



平均値 = 3.75

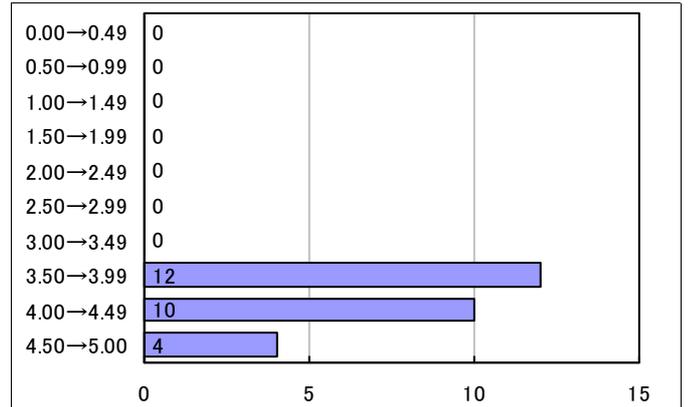
●4.授業内容はわかりやすかったですか

■全体



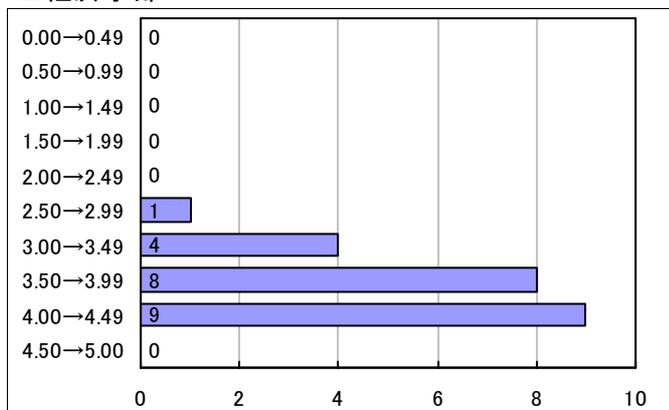
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・管理栄養学科



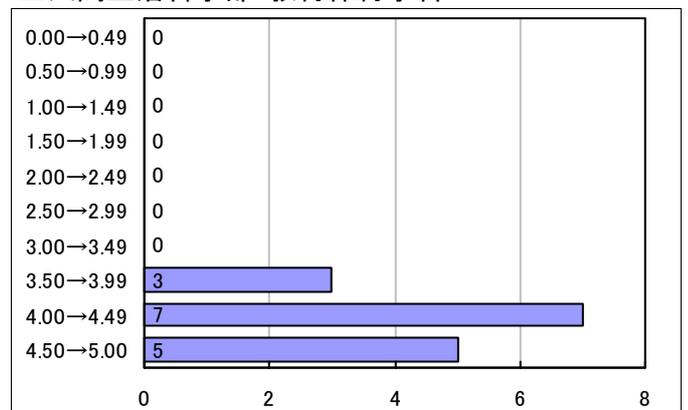
平均値 = 4.01

■経済学部



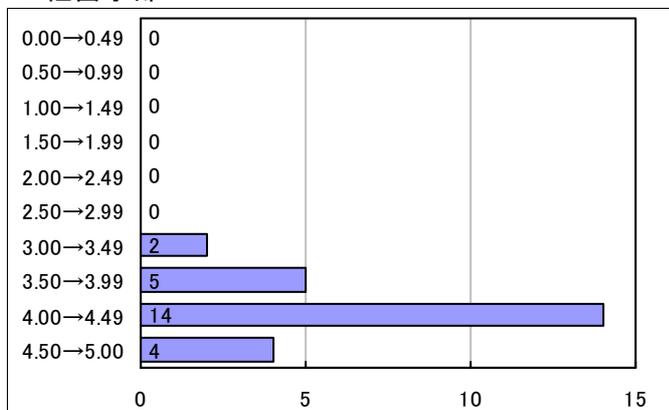
平均値 = 3.84

■人間生活科学部・教育保育学科



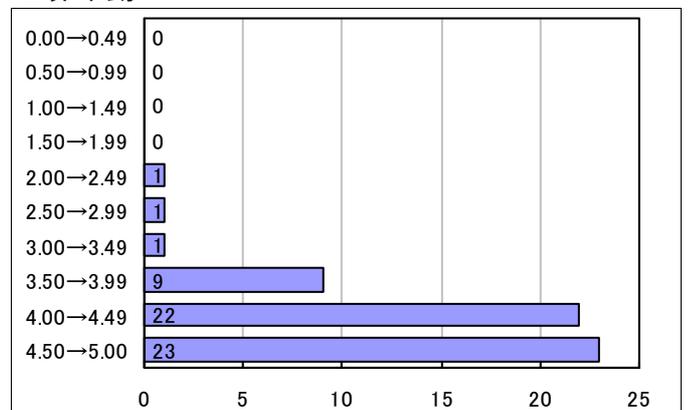
平均値 = 4.15

■経営学部



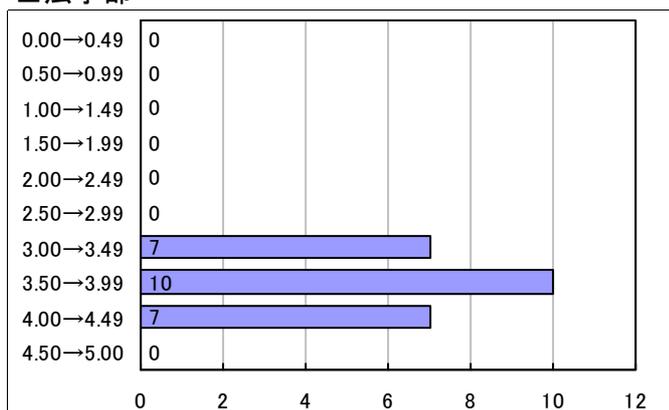
平均値 = 3.98

■非常勤



平均値 = 4.21

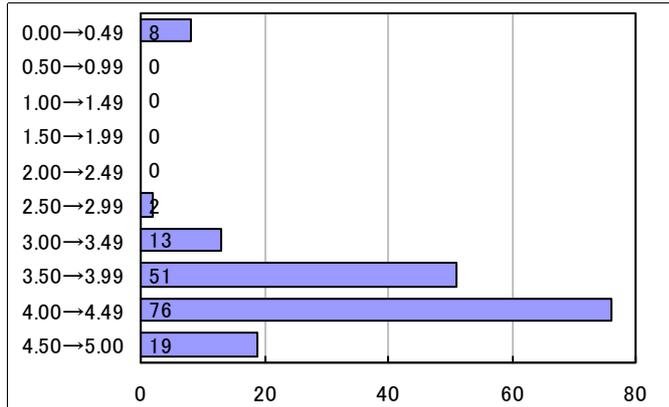
■法学部



平均値 = 3.69

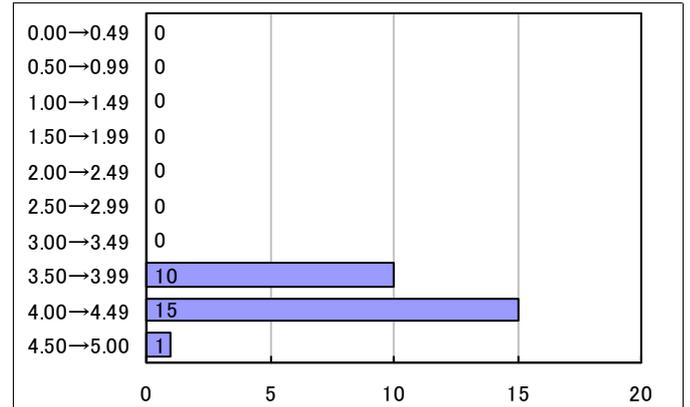
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



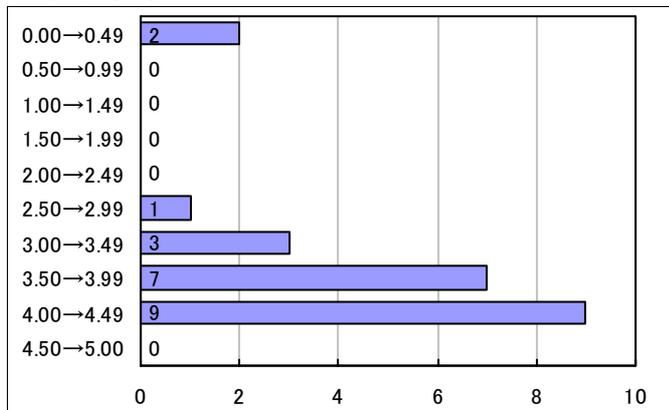
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・管理栄養学科



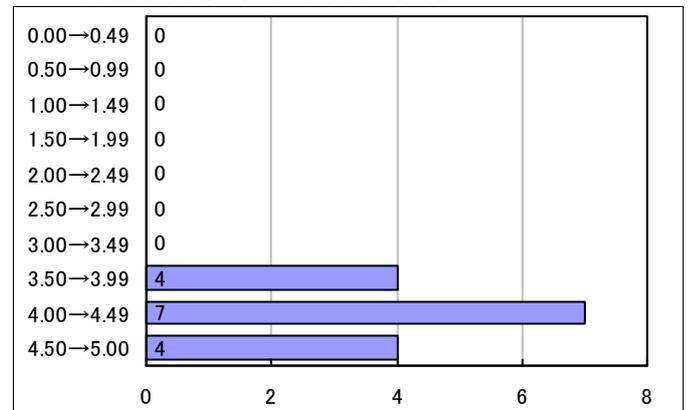
平均値 = 4.02

■経済学部



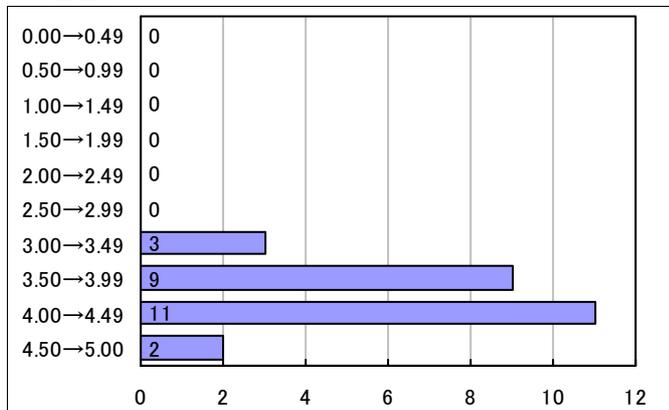
平均値 = 3.88

■人間生活科学部・教育保育学科



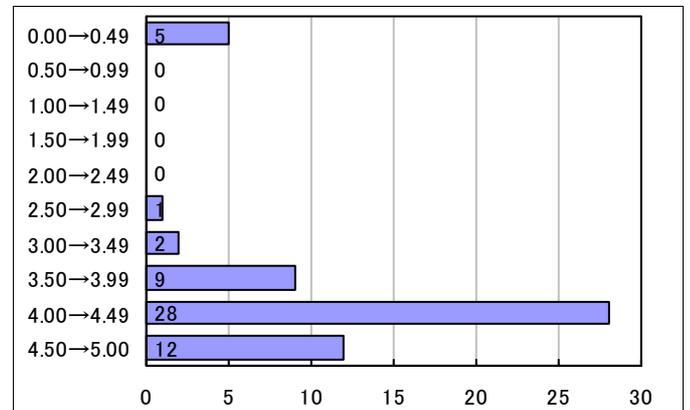
平均値 = 4.20

■経営学部



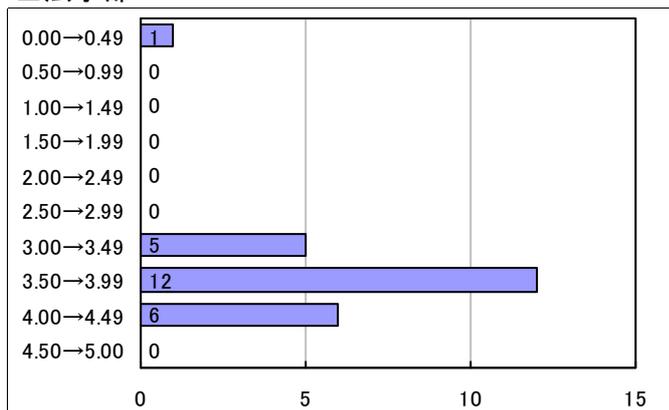
平均値 = 3.94

■非常勤



平均値 = 4.12

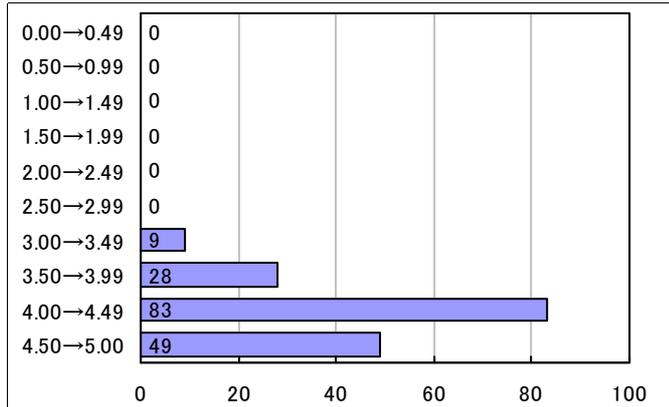
■法学部



平均値 = 3.78

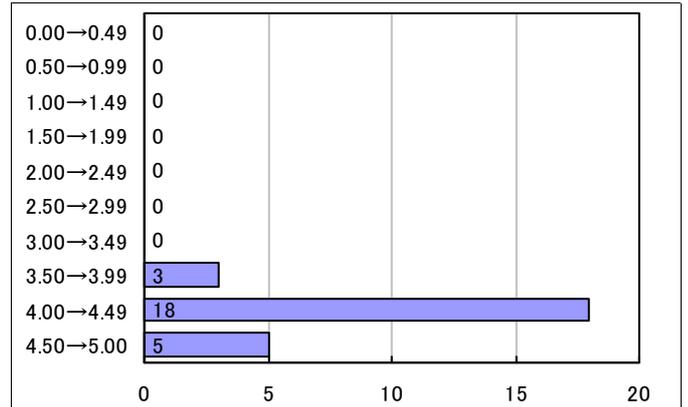
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



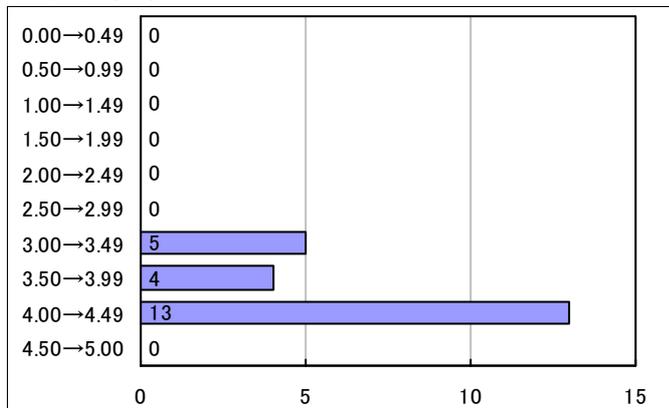
平均値 = 4.14

■人間生活科学部・管理栄養学科



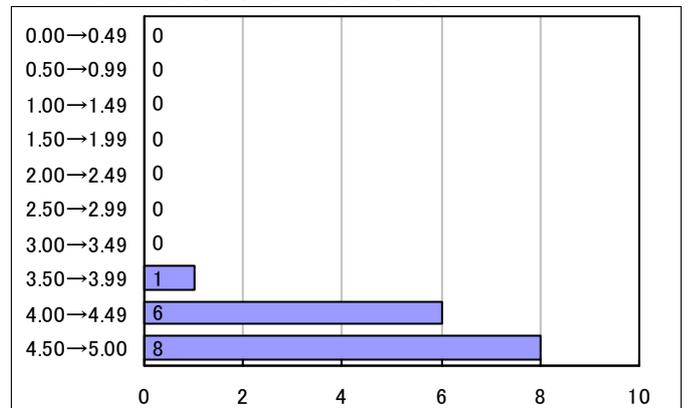
平均値 = 4.18

■経済学部



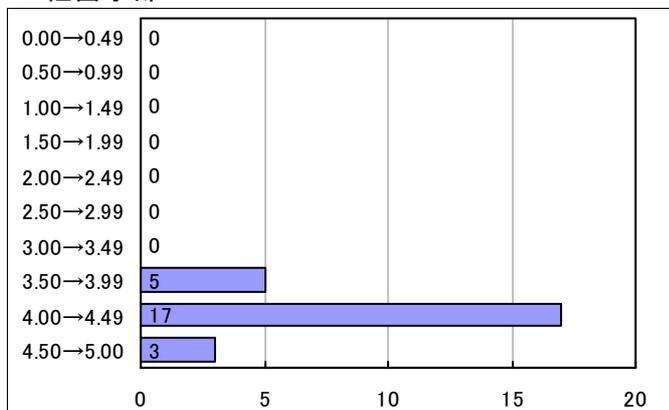
平均値 = 3.97

■人間生活科学部・教育保育学科



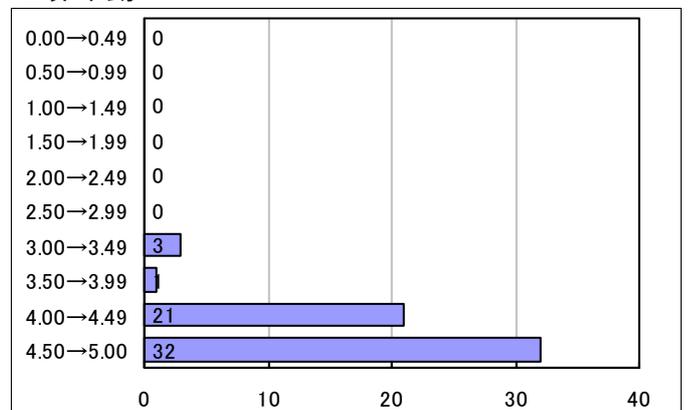
平均値 = 4.48

■経営学部



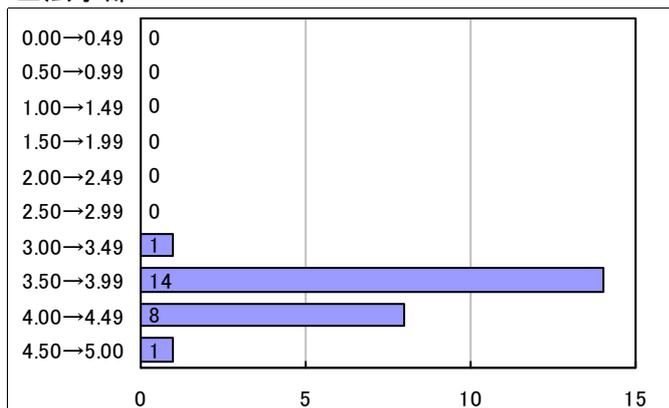
平均値 = 4.15

■非常勤



平均値 = 4.36

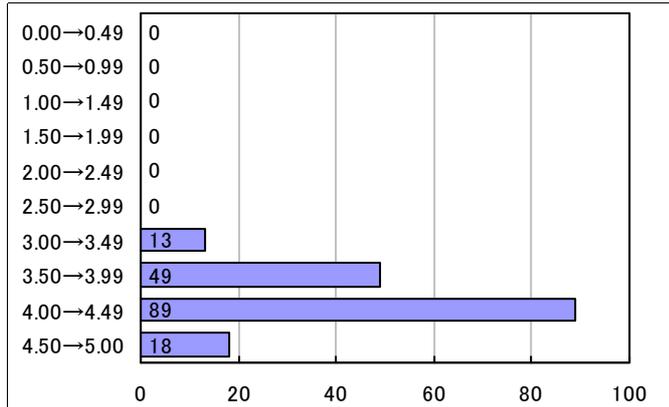
■法学部



平均値 = 3.89

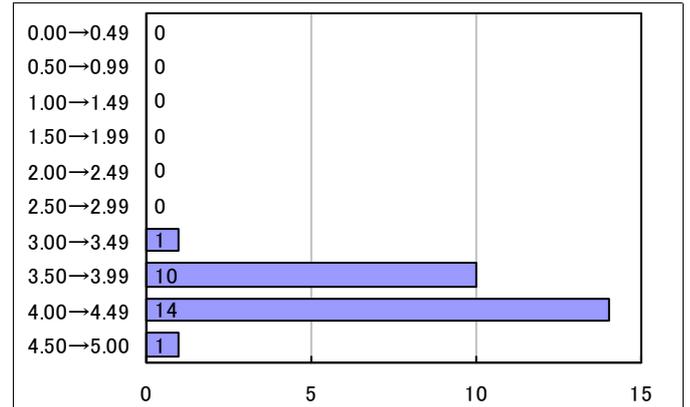
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



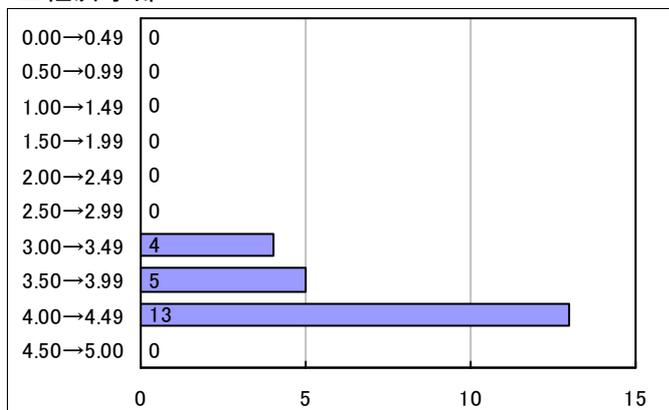
平均値 = 3.97

■人間生活科学部・管理栄養学科



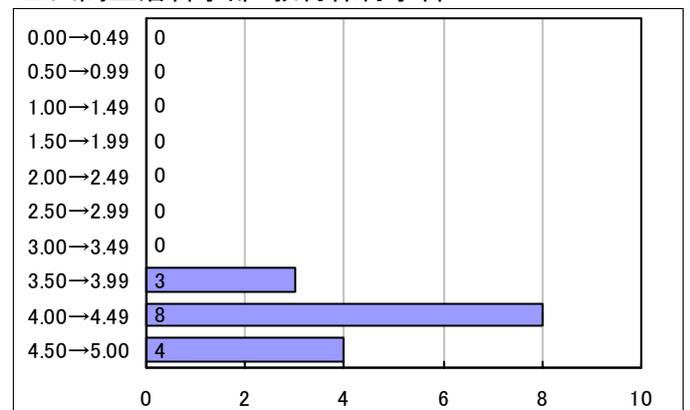
平均値 = 3.98

■経済学部



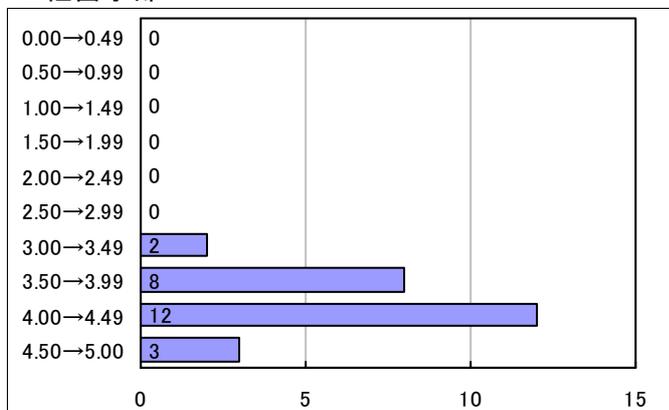
平均値 = 3.90

■人間生活科学部・教育保育学科



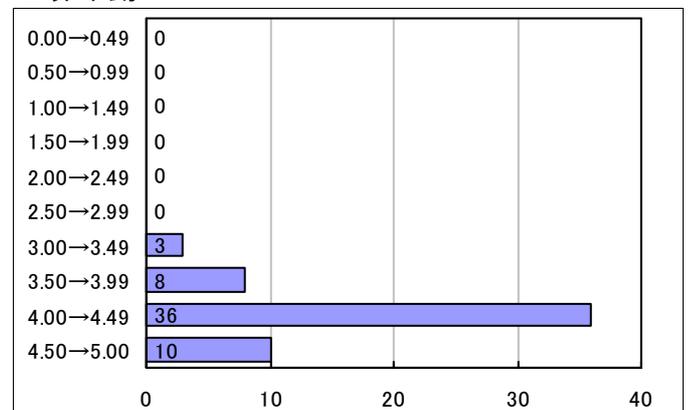
平均値 = 4.16

■経営学部



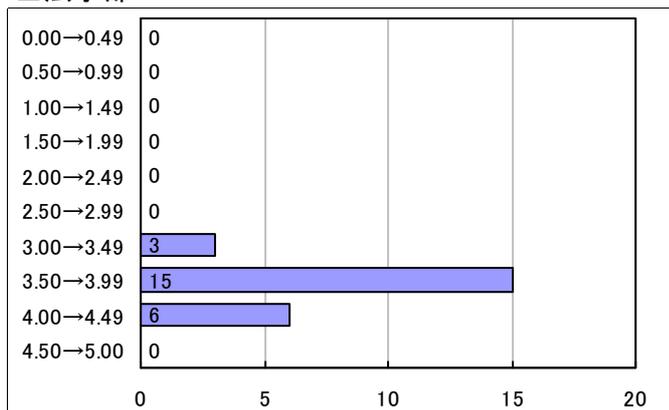
平均値 = 3.98

■非常勤



平均値 = 4.17

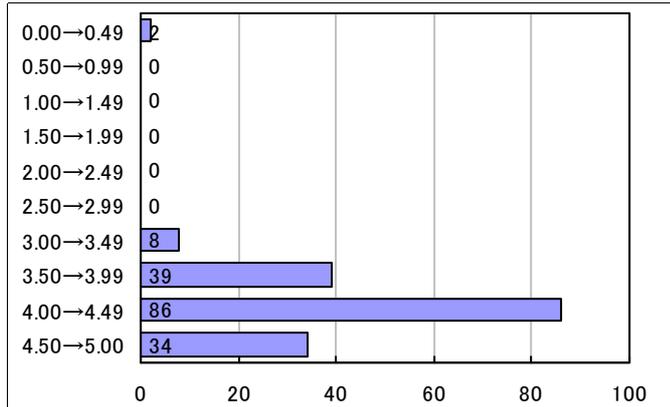
■法学部



平均値 = 3.74

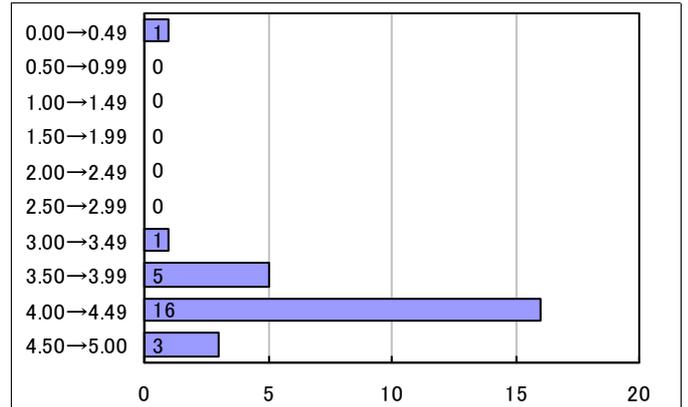
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



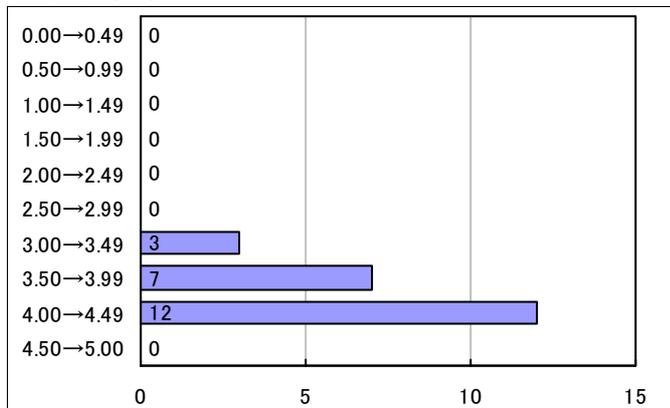
平均値 = 4.07

■人間生活科学部・管理栄養学科



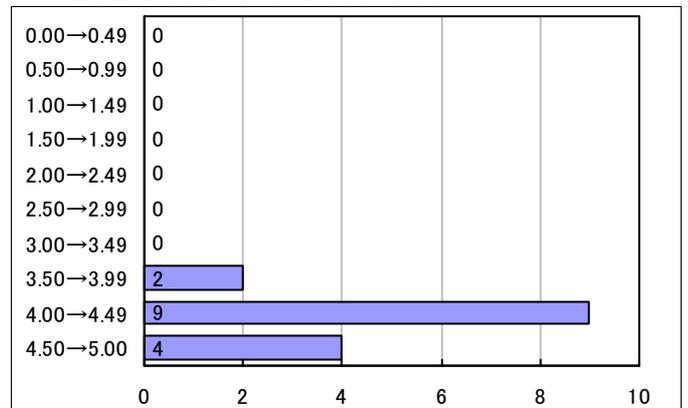
平均値 = 4.12

■経済学部



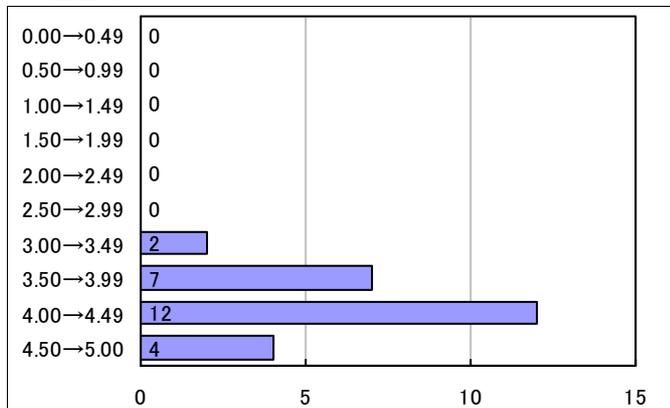
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・教育保育学科



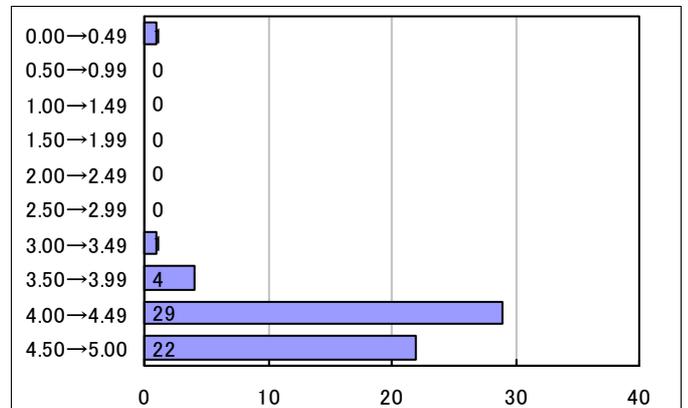
平均値 = 4.31

■経営学部



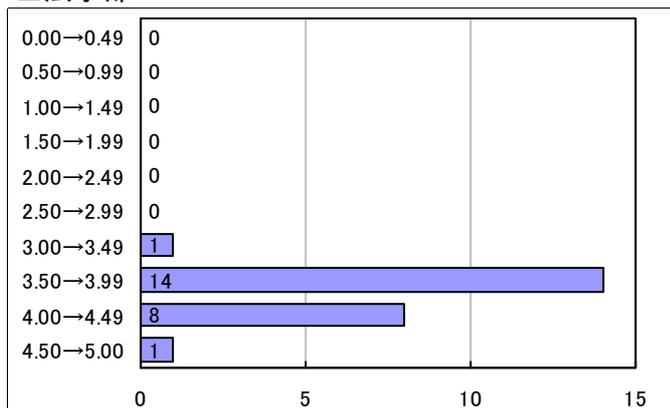
平均値 = 4.02

■非常勤



平均値 = 4.31

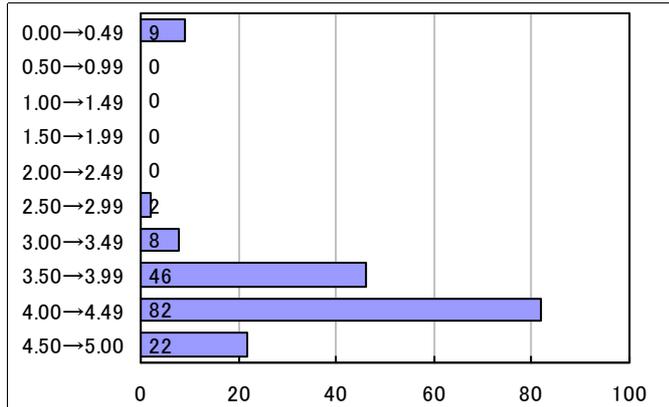
■法学部



平均値 = 3.85

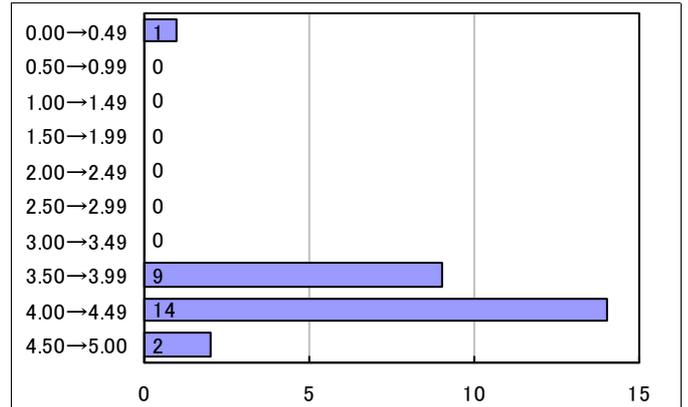
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



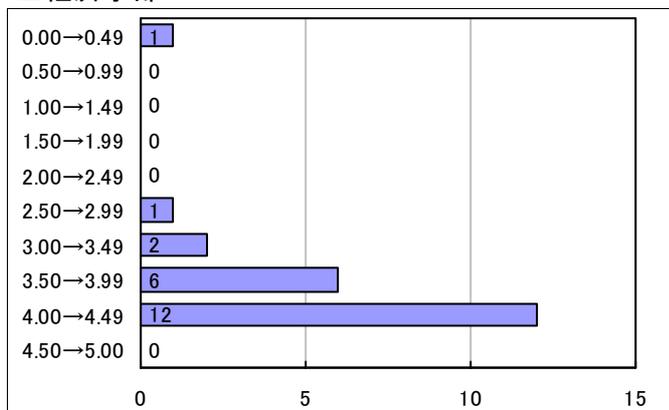
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・管理栄養学科



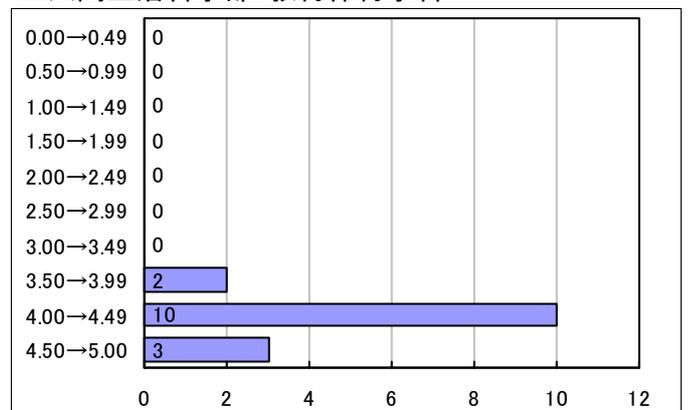
平均値 = 4.10

■経済学部



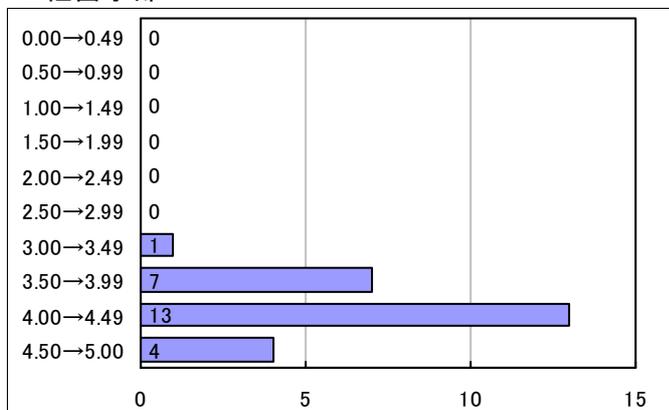
平均値 = 3.89

■人間生活科学部・教育保育学科



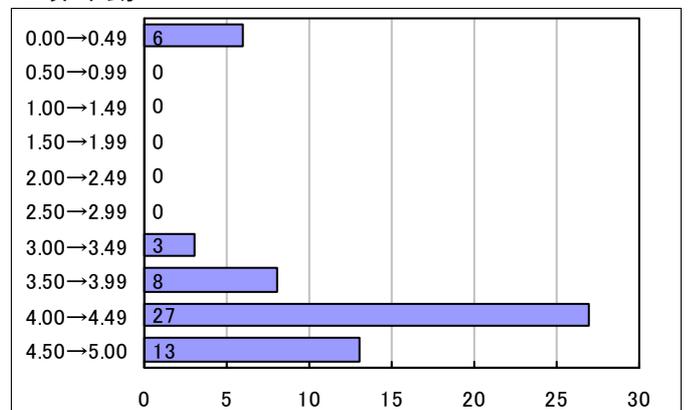
平均値 = 4.22

■経営学部



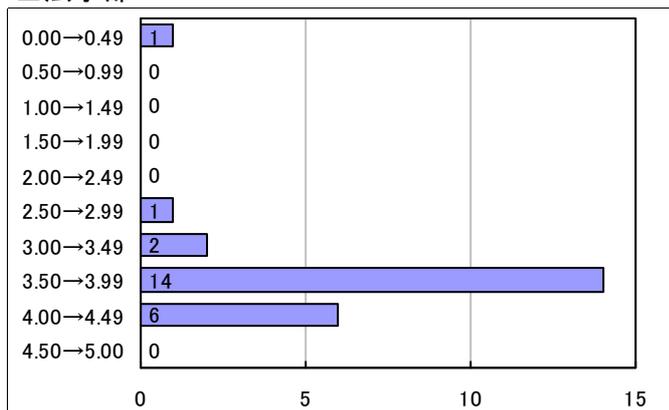
平均値 = 4.04

■非常勤



平均値 = 4.17

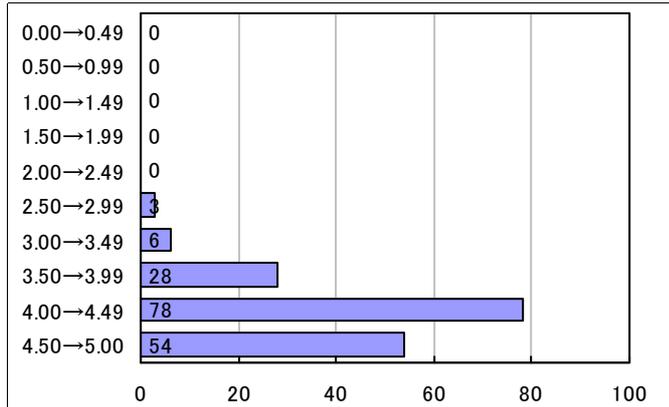
■法学部



平均値 = 3.77

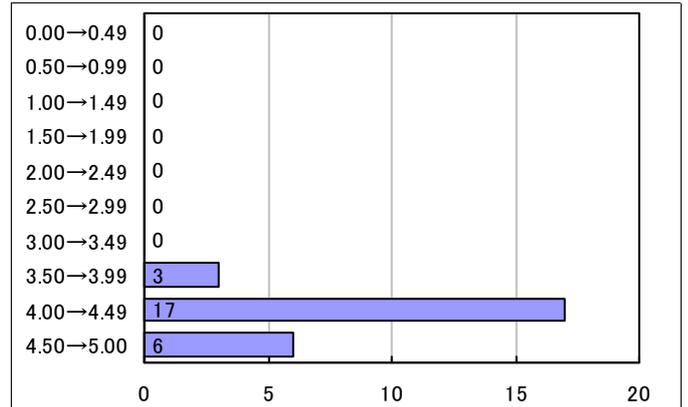
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



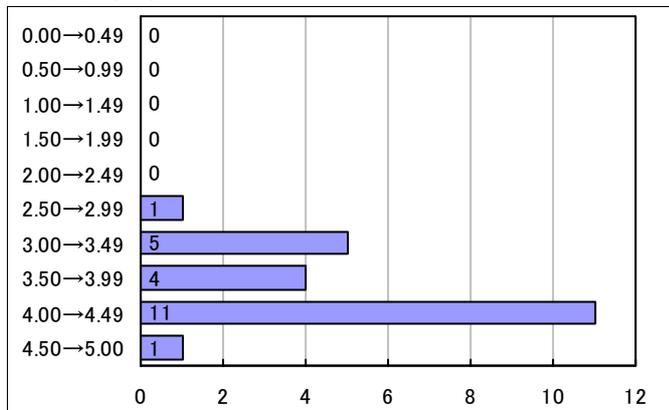
平均値 = 4.14

■人間生活科学部・管理栄養学科



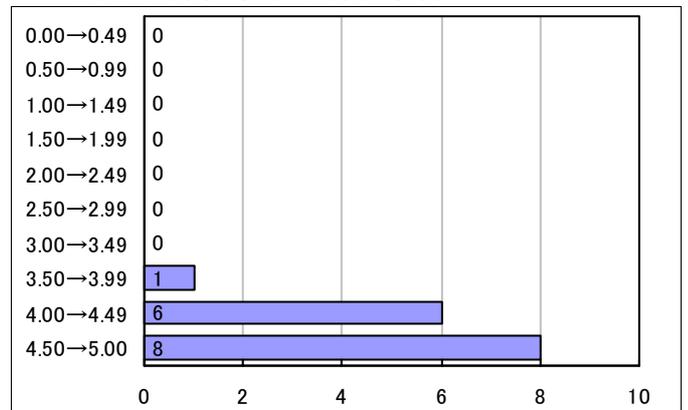
平均値 = 4.18

■経済学部



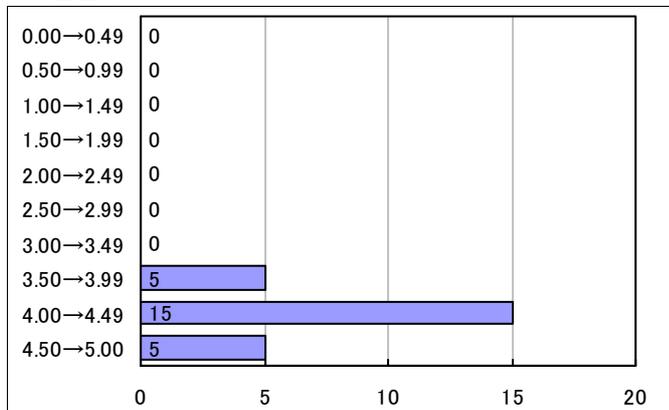
平均値 = 3.95

■人間生活科学部・教育保育学科



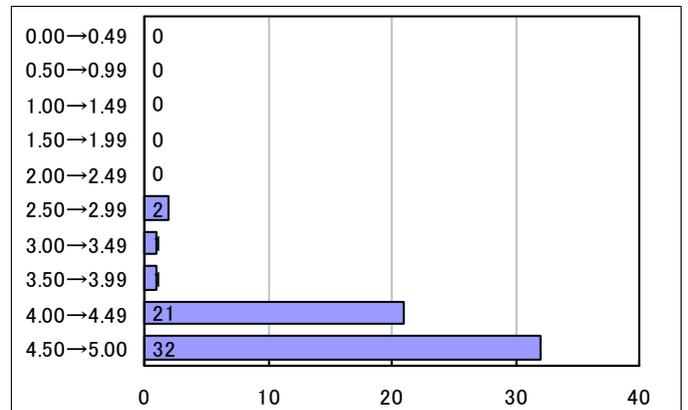
平均値 = 4.42

■経営学部



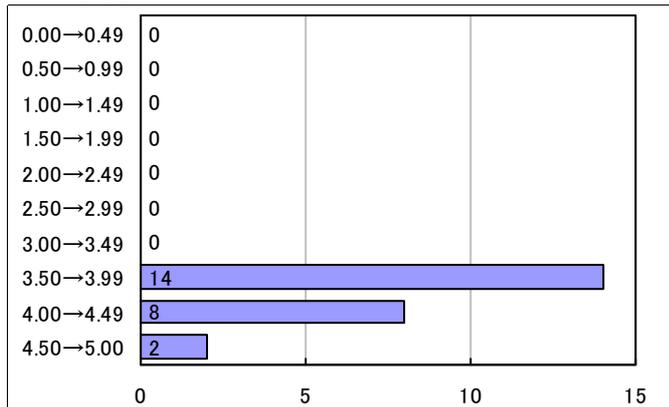
平均値 = 4.14

■非常勤



平均値 = 4.35

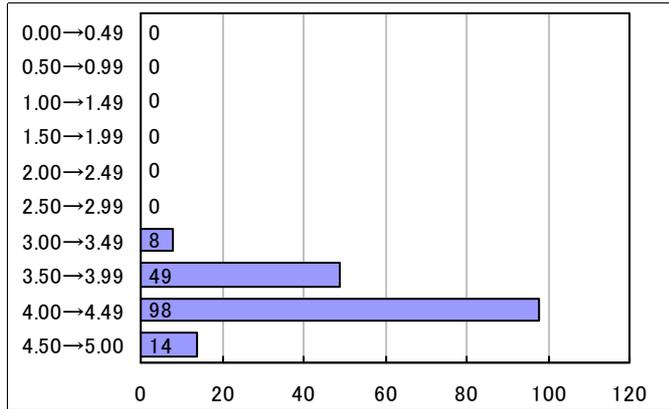
■法学部



平均値 = 3.96

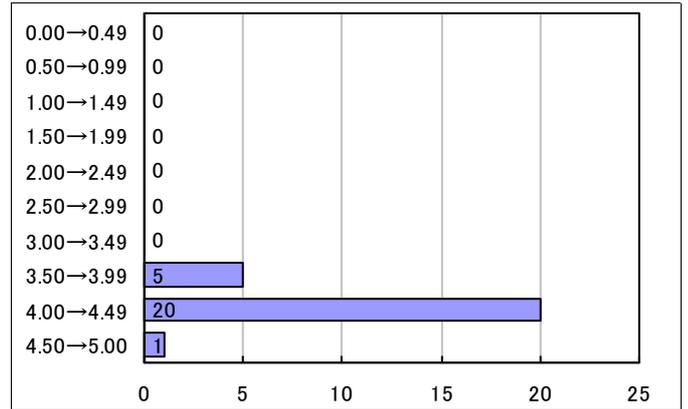
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



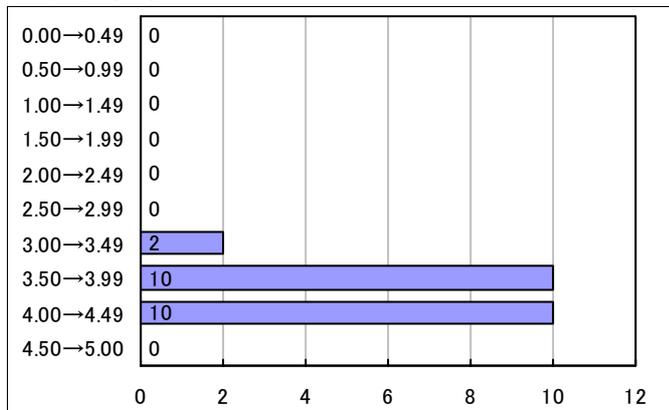
平均値 = 3.99

■人間生活科学部・管理栄養学科



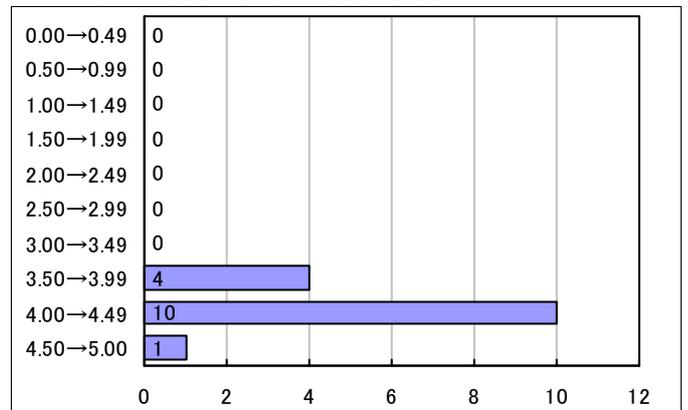
平均値 = 4.06

■経済学部



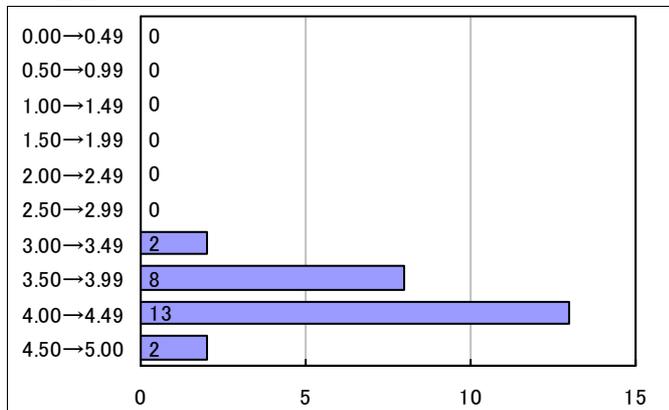
平均値 = 3.87

■人間生活科学部・教育保育学科



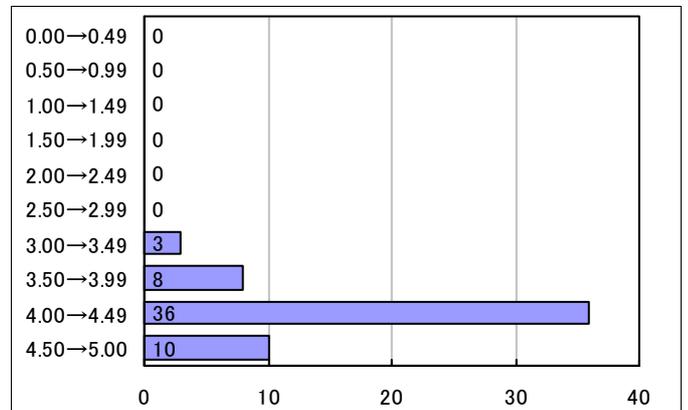
平均値 = 4.16

■経営学部



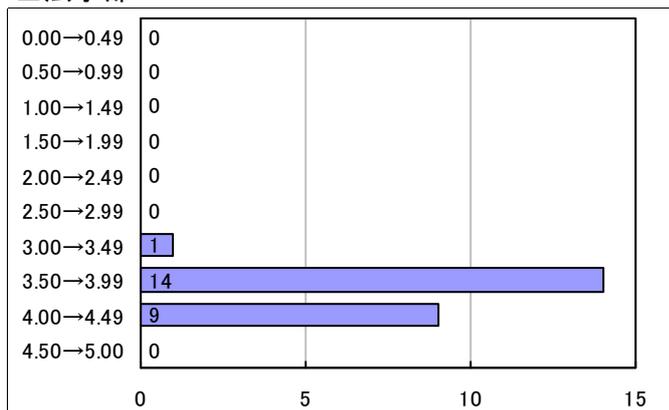
平均値 = 3.99

■非常勤



平均値 = 4.18

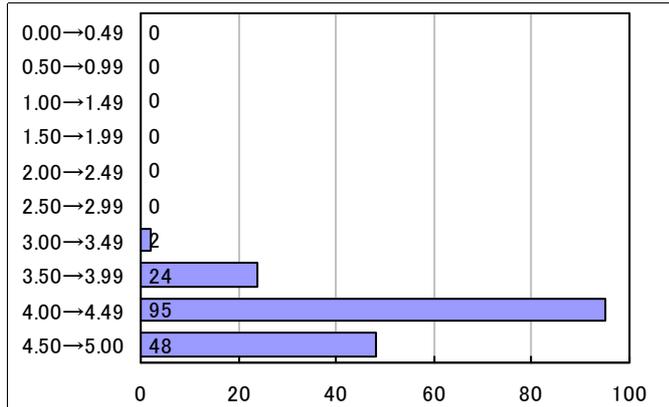
■法学部



平均値 = 3.77

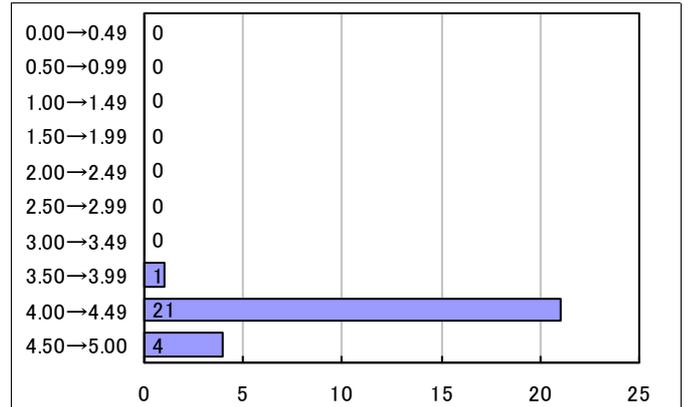
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



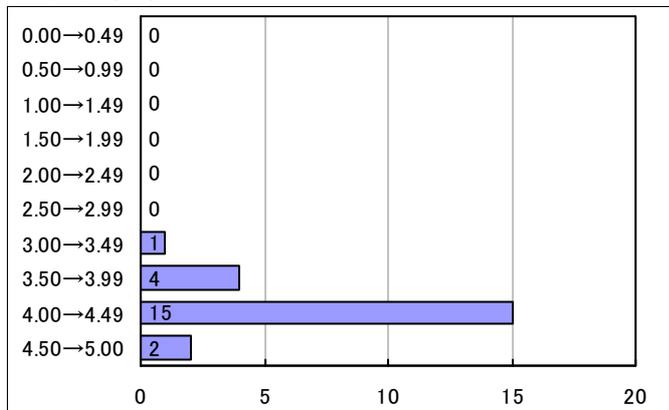
平均値 = 4.20

■人間生活科学部・管理栄養学科



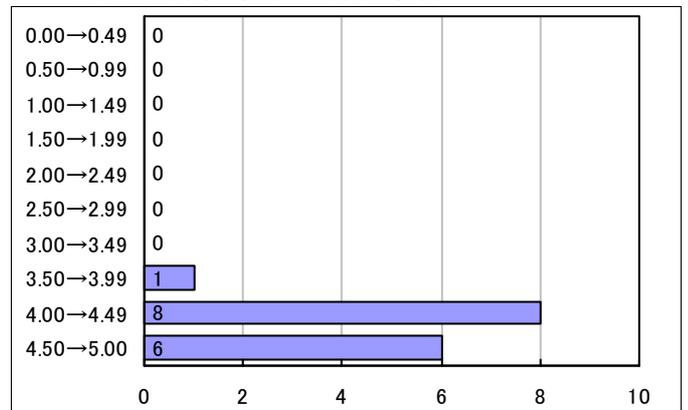
平均値 = 4.25

■経済学部



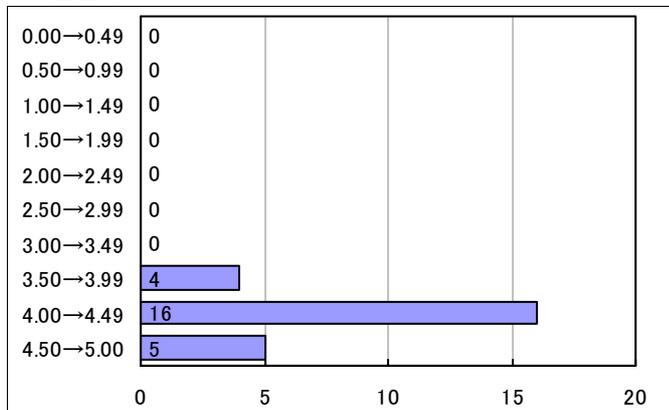
平均値 = 4.11

■人間生活科学部・教育保育学科



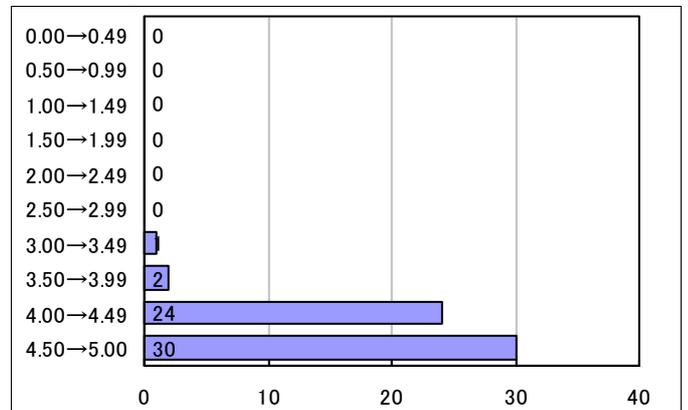
平均値 = 4.34

■経営学部



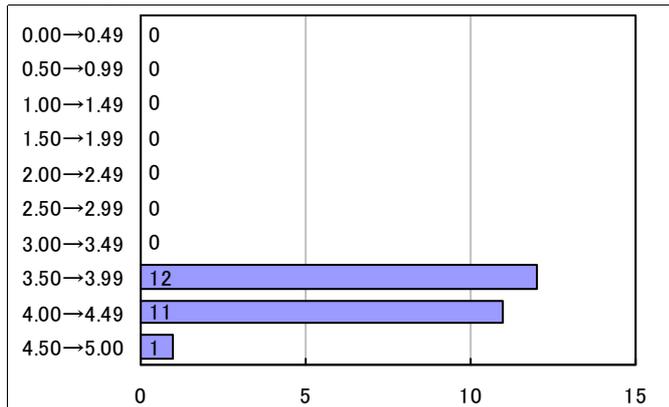
平均値 = 4.20

■非常勤



平均値 = 4.41

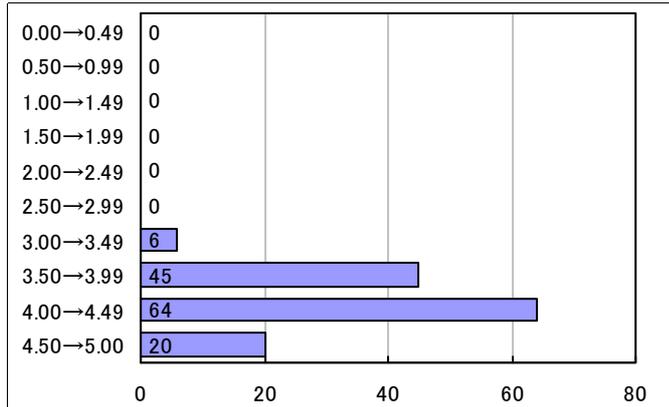
■法学部



平均値 = 3.95

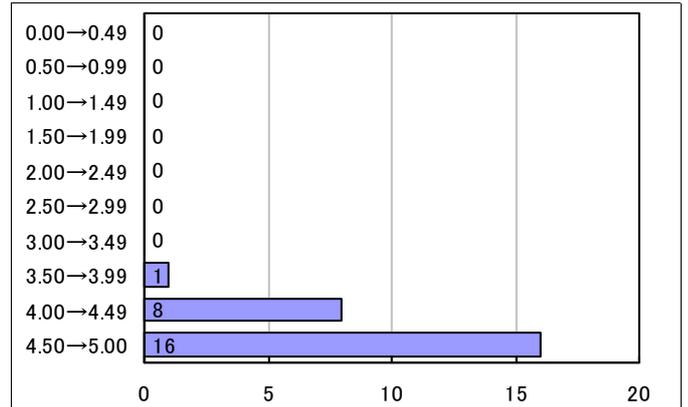
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



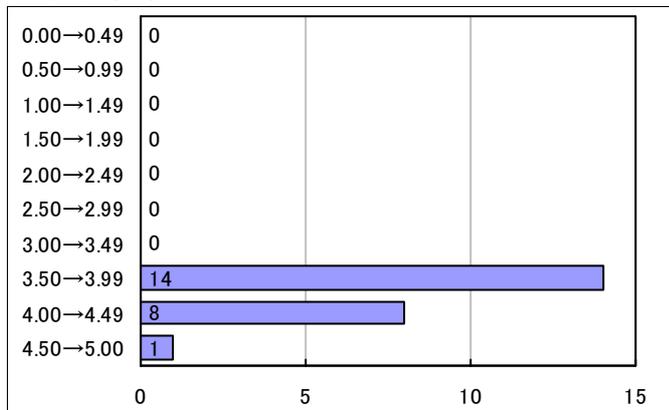
平均値 = 4.02

■人間生活科学部・管理栄養学科



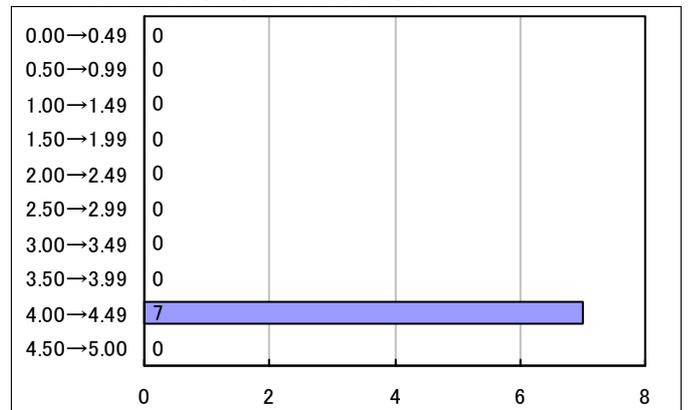
平均値 = 4.44

■経済学部



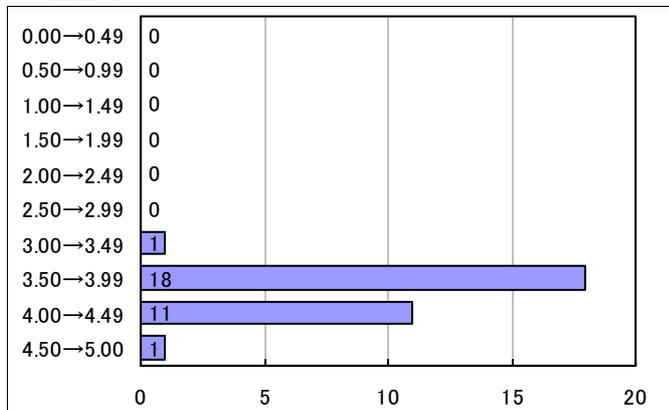
平均値 = 3.91

■人間生活科学部・教育保育学科



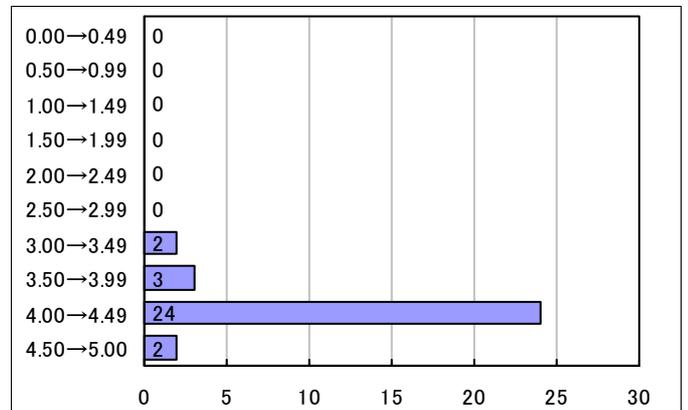
平均値 = 4.30

■経営学部



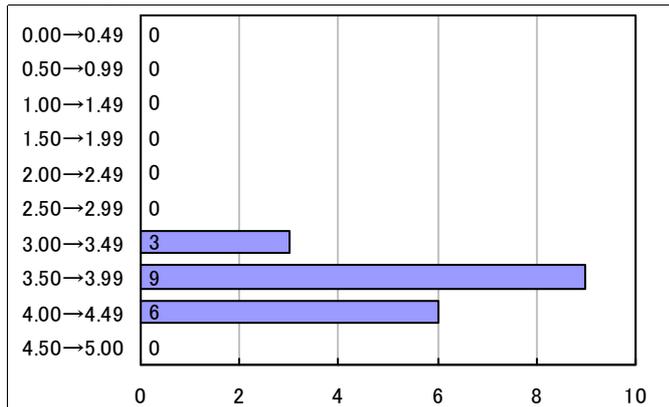
平均値 = 3.93

■非常勤



平均値 = 4.14

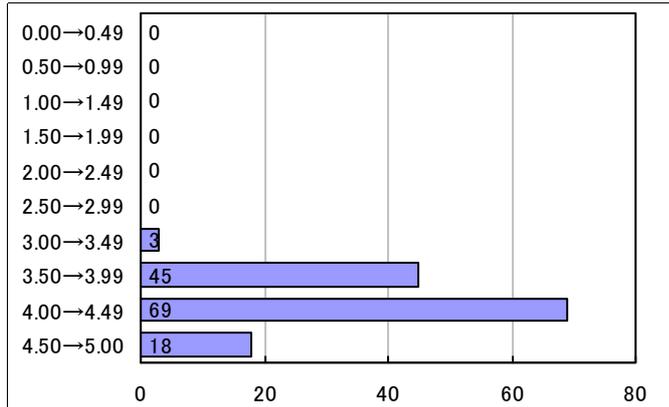
■法学部



平均値 = 3.78

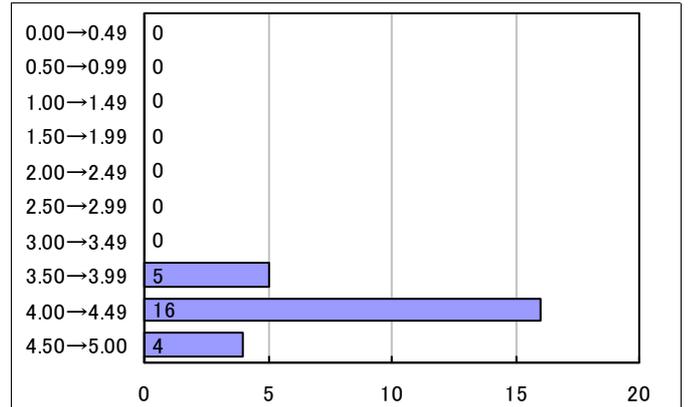
●2.あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



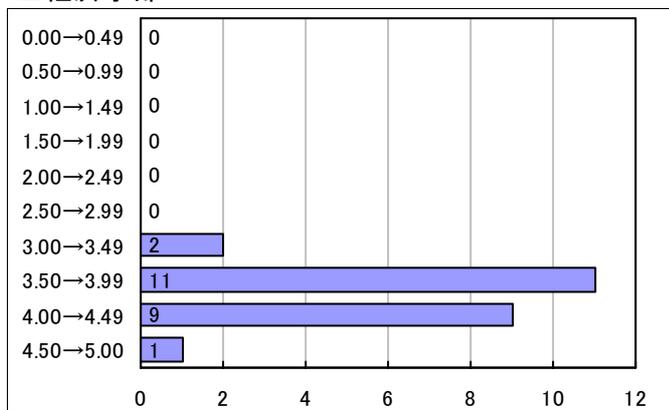
平均値 = 4.04

■人間生活科学部・管理栄養学科



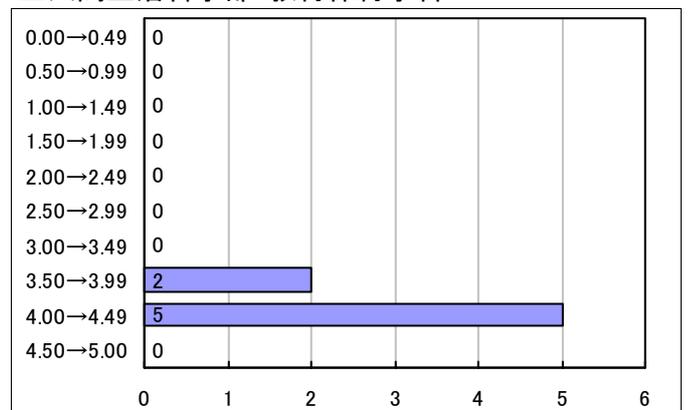
平均値 = 4.20

■経済学部



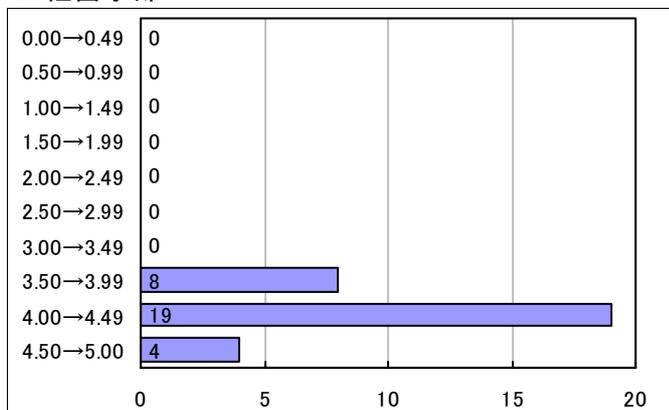
平均値 = 3.95

■人間生活科学部・教育保育学科



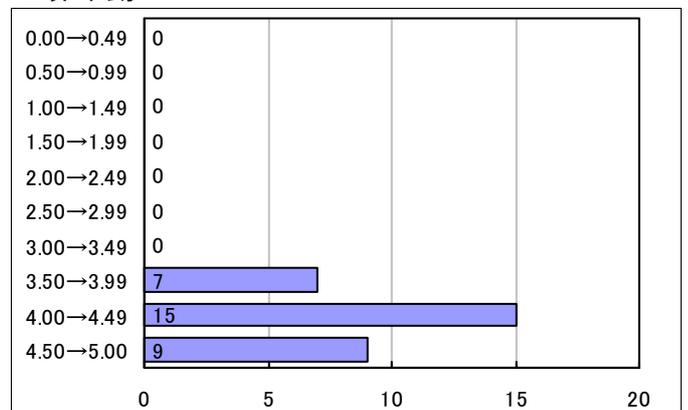
平均値 = 4.18

■経営学部



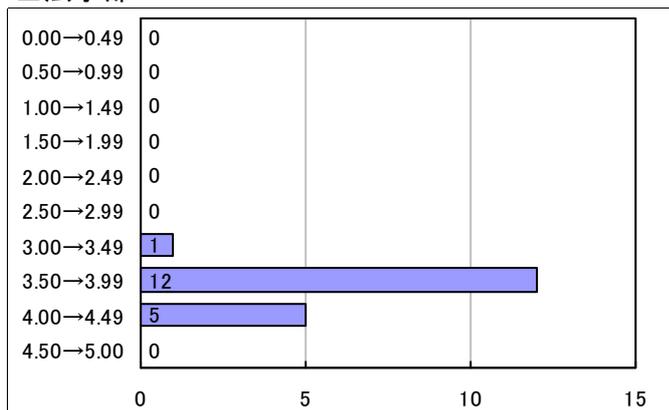
平均値 = 4.10

■非常勤



平均値 = 4.14

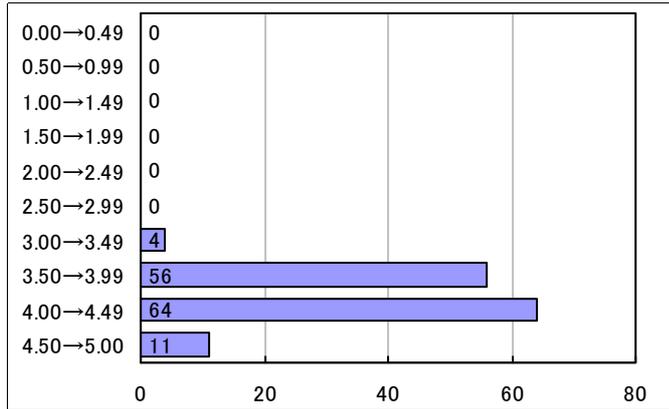
■法学部



平均値 = 3.81

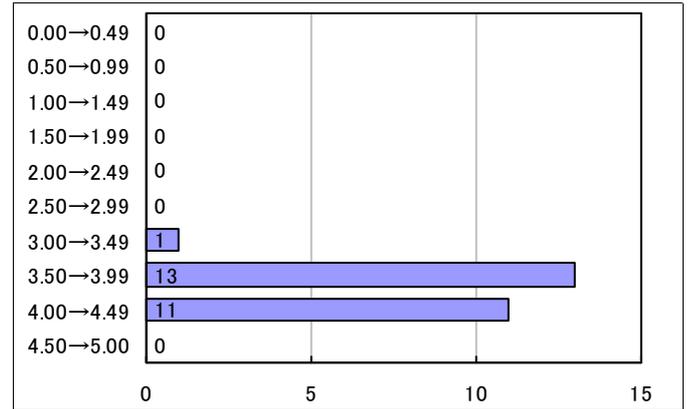
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか

■全体



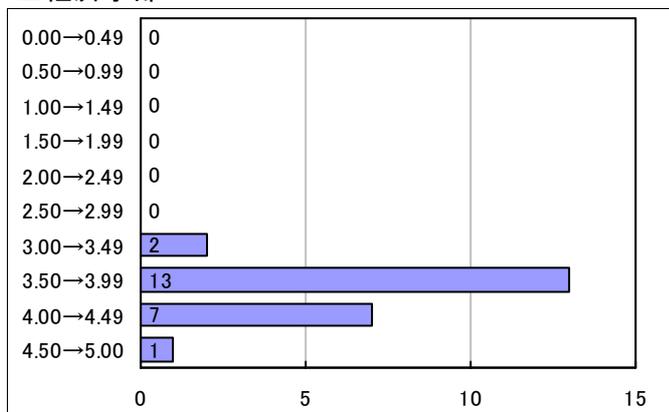
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・管理栄養学科



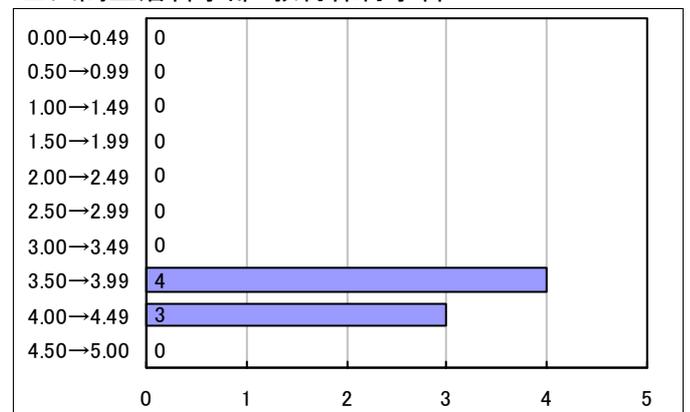
平均値 = 3.95

■経済学部



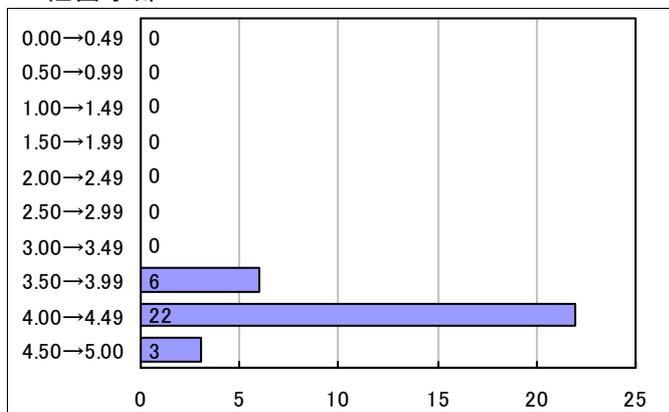
平均値 = 3.91

■人間生活科学部・教育保育学科



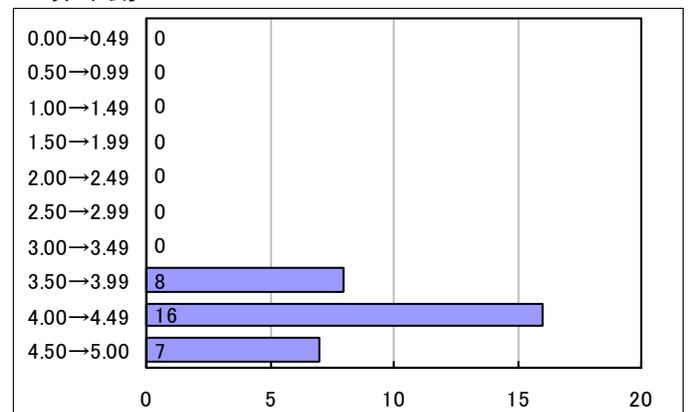
平均値 = 3.94

■経営学部



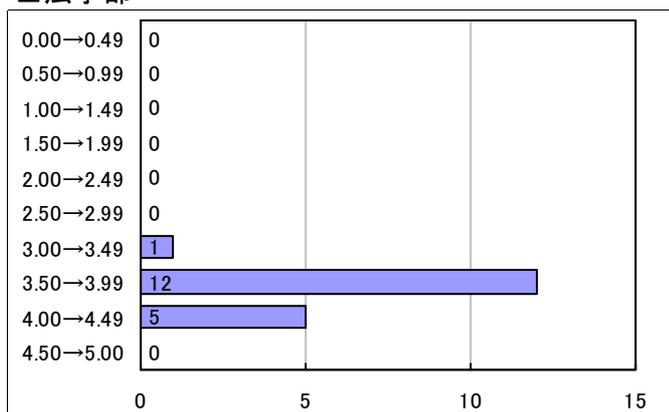
平均値 = 4.09

■非常勤



平均値 = 4.09

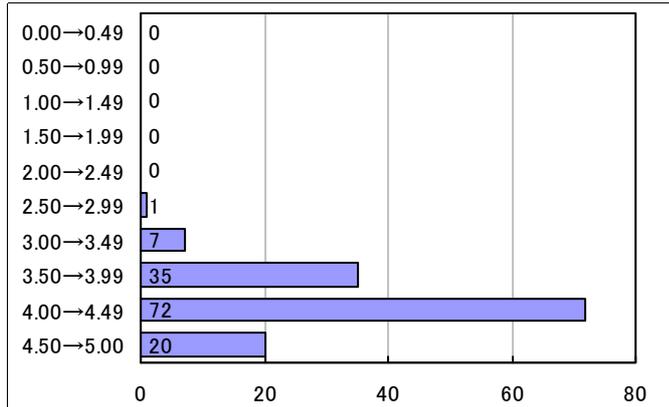
■法学部



平均値 = 3.77

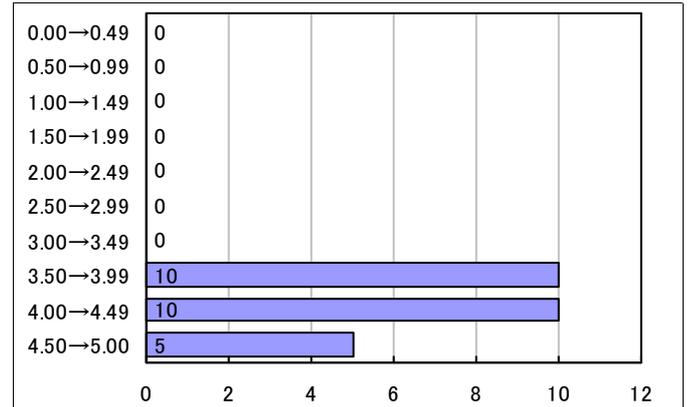
●4.授業内容はわかりやすかったですか

■全体



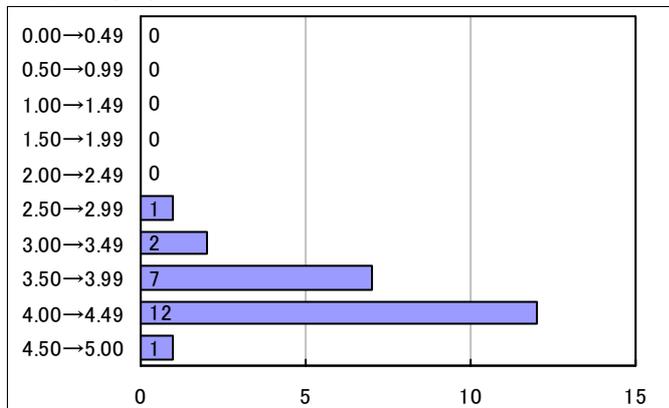
平均値 = 4.02

■人間生活科学部・管理栄養学科



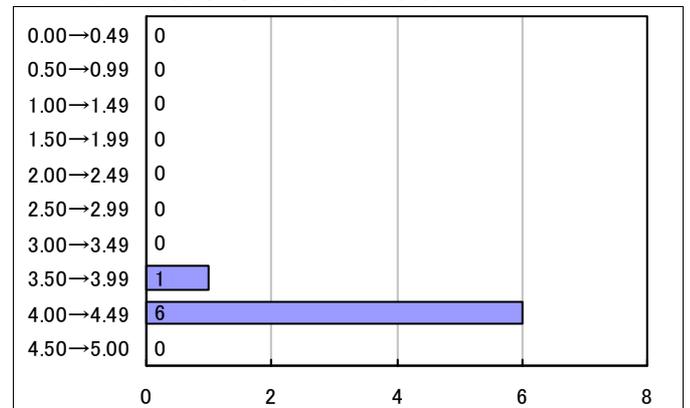
平均値 = 4.11

■経済学部



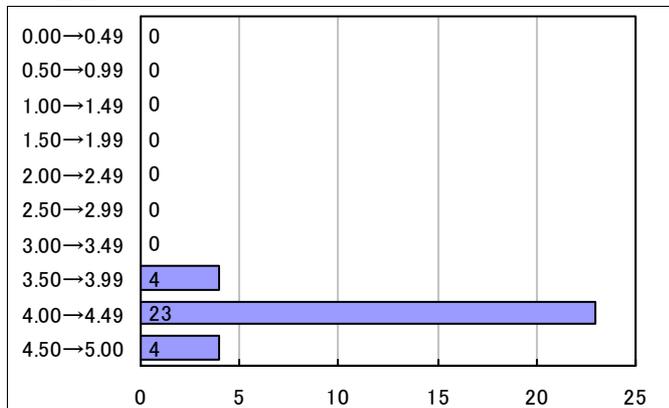
平均値 = 3.94

■人間生活科学部・教育保育学科



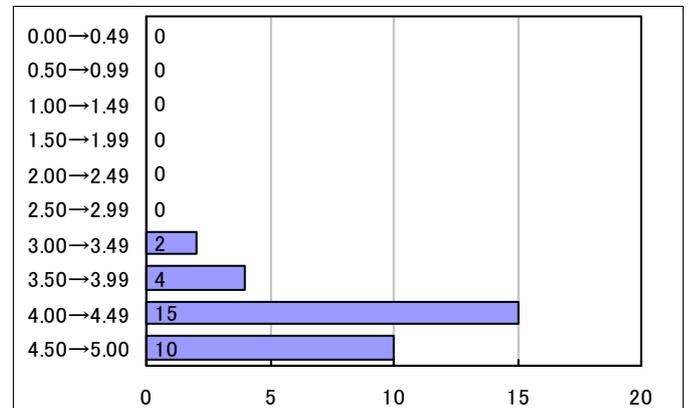
平均値 = 4.15

■経営学部



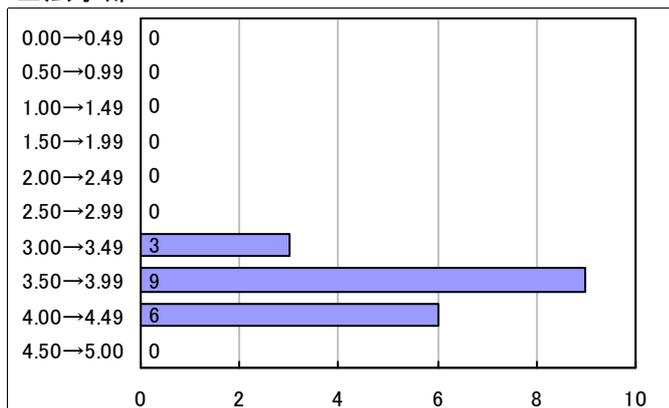
平均値 = 4.15

■非常勤



平均値 = 4.16

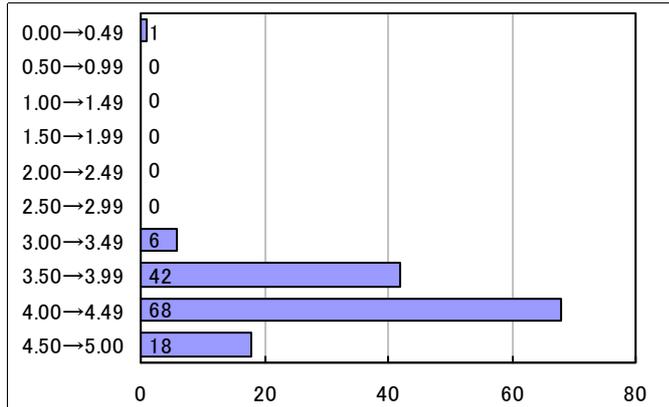
■法学部



平均値 = 3.75

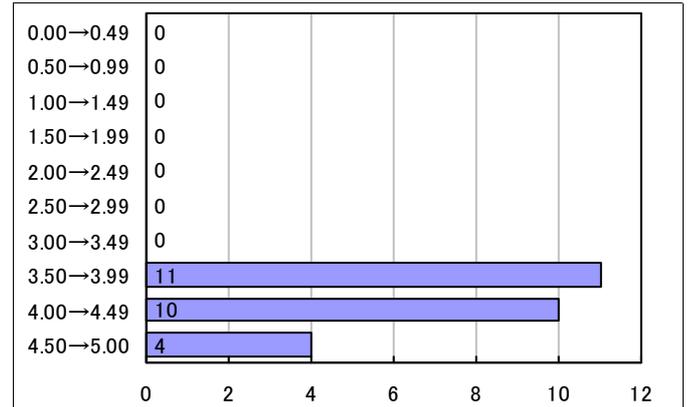
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



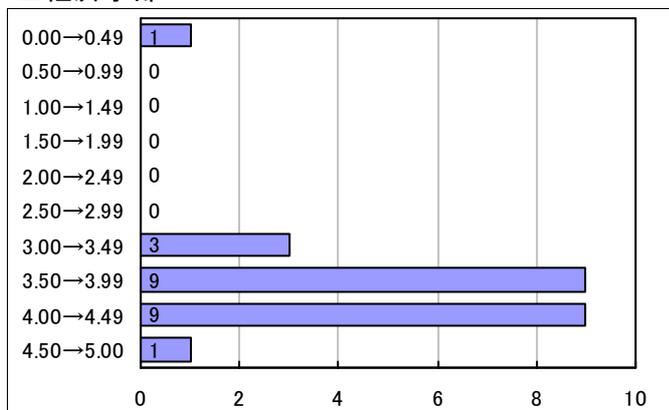
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・管理栄養学科



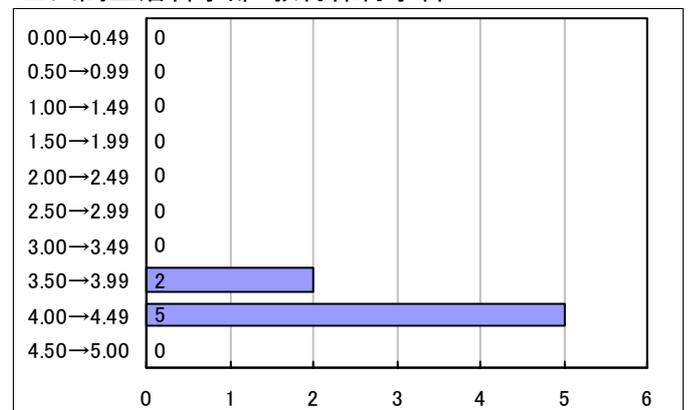
平均値 = 4.09

■経済学部



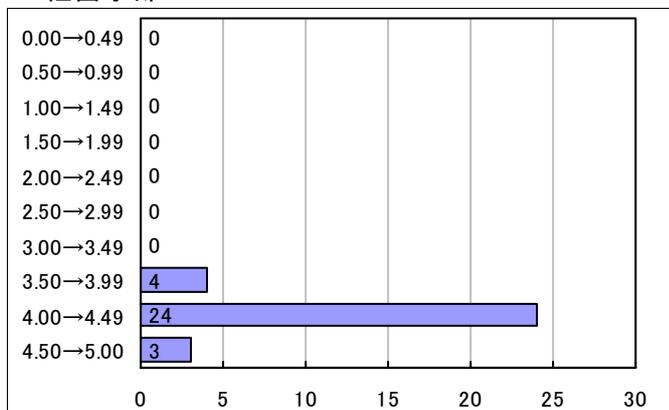
平均値 = 3.92

■人間生活科学部・教育保育学科



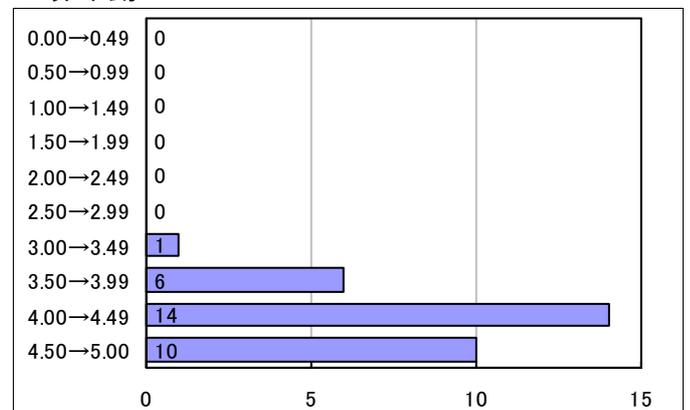
平均値 = 4.07

■経営学部



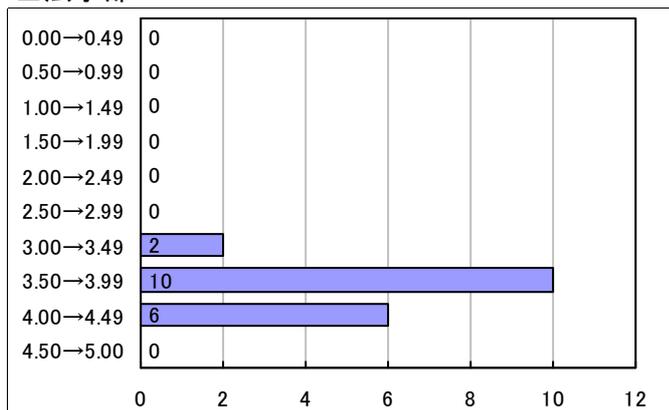
平均値 = 4.12

■非常勤



平均値 = 4.13

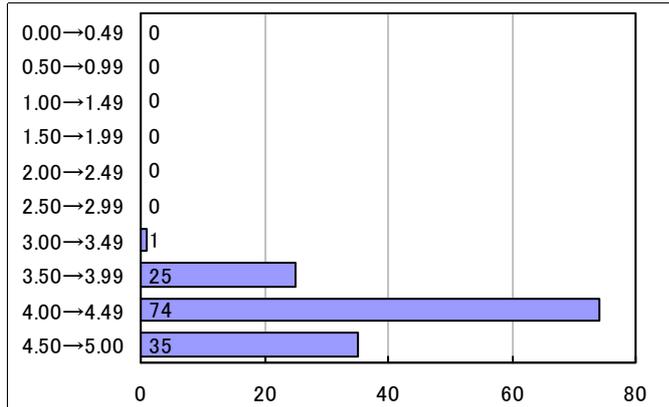
■法学部



平均値 = 3.77

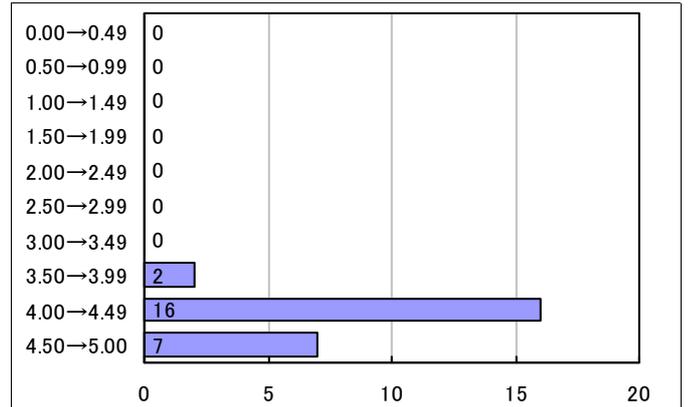
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



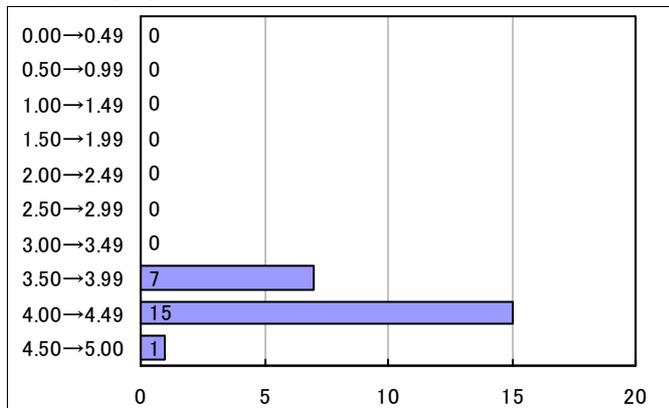
平均値 = 4.17

■人間生活科学部・管理栄養学科



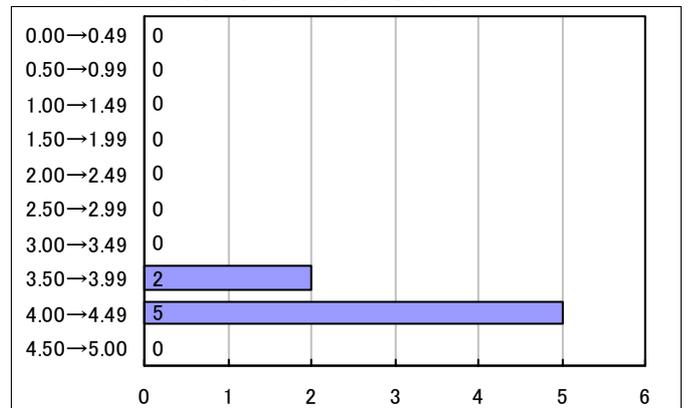
平均値 = 4.27

■経済学部



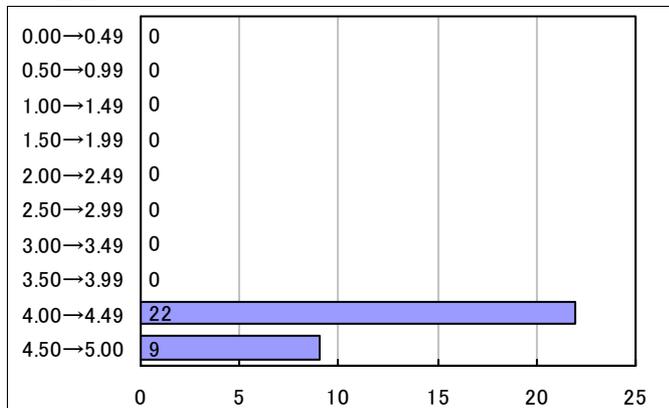
平均値 = 4.08

■人間生活科学部・教育保育学科



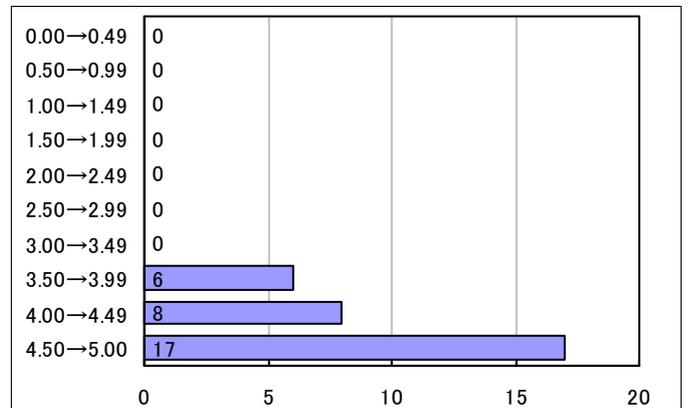
平均値 = 4.21

■経営学部



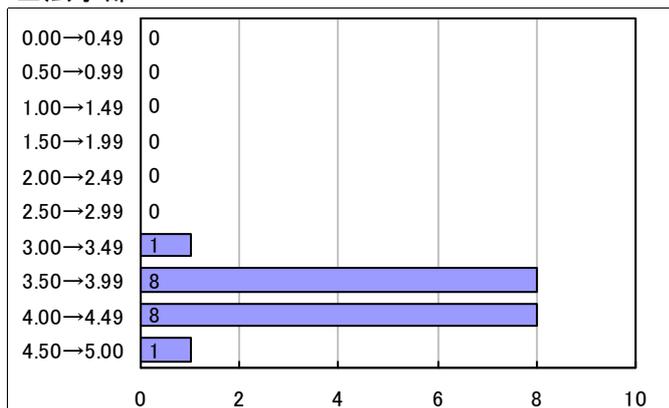
平均値 = 4.27

■非常勤



平均値 = 4.29

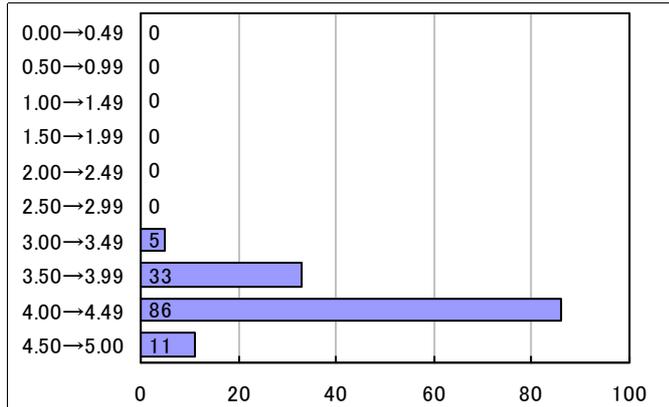
■法学部



平均値 = 3.97

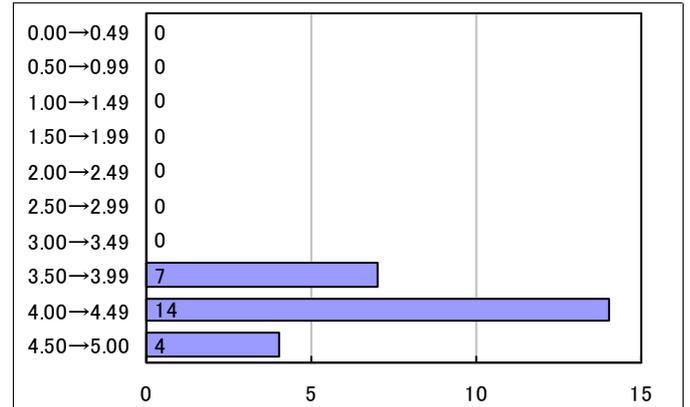
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



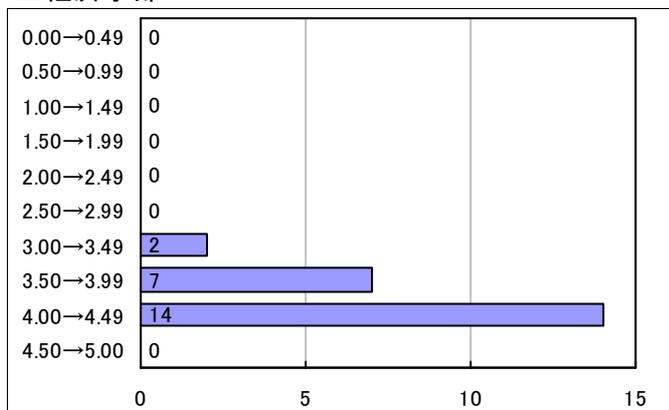
平均値 = 4.05

■人間生活科学部・管理栄養学科



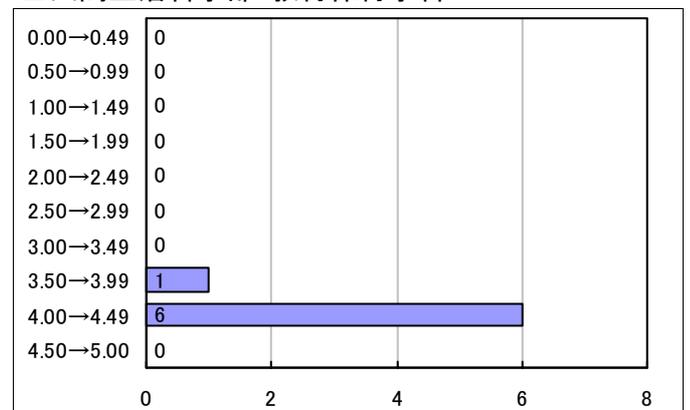
平均値 = 4.14

■経済学部



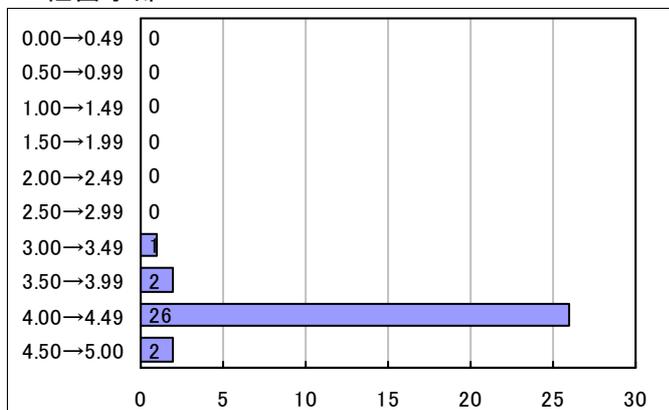
平均値 = 4.00

■人間生活科学部・教育保育学科



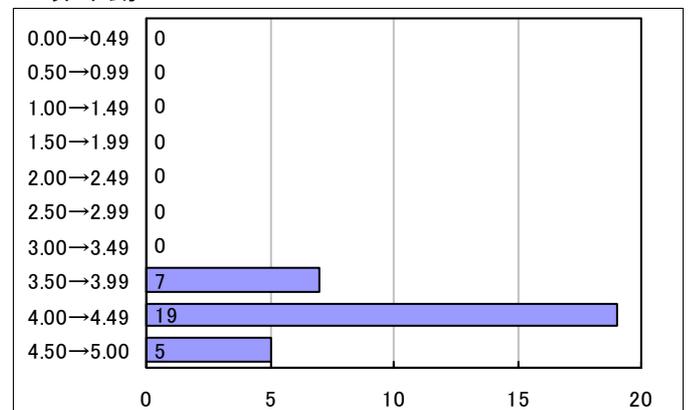
平均値 = 4.13

■経営学部



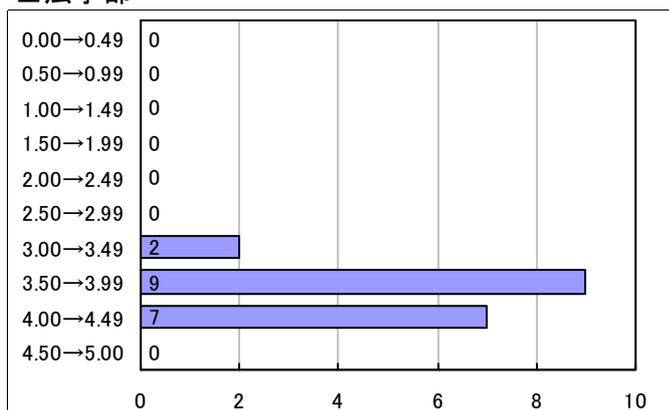
平均値 = 4.13

■非常勤



平均値 = 4.14

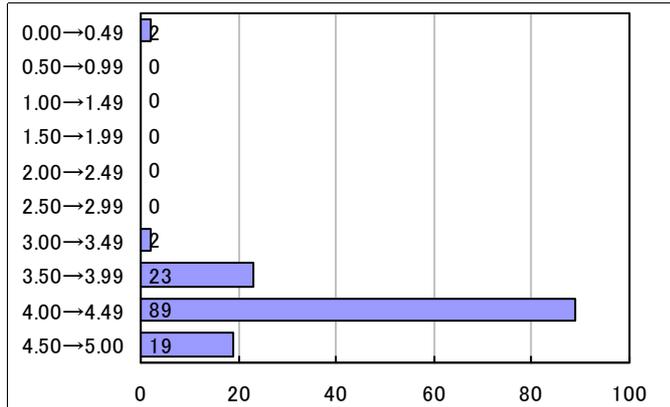
■法学部



平均値 = 3.85

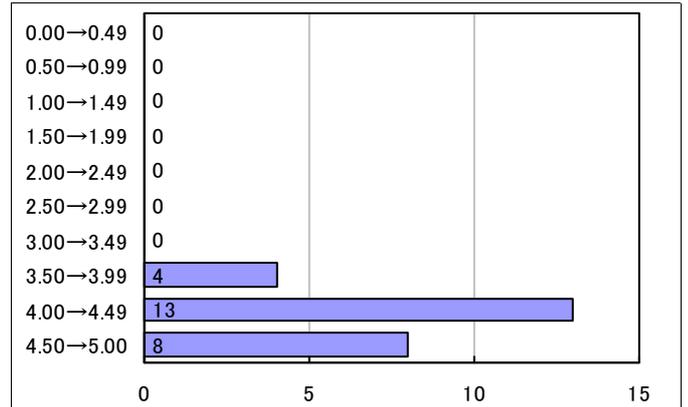
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



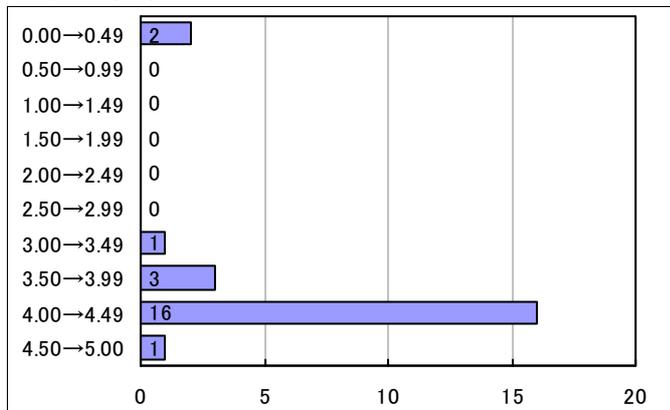
平均値 = 4.13

■人間生活科学部・管理栄養学科



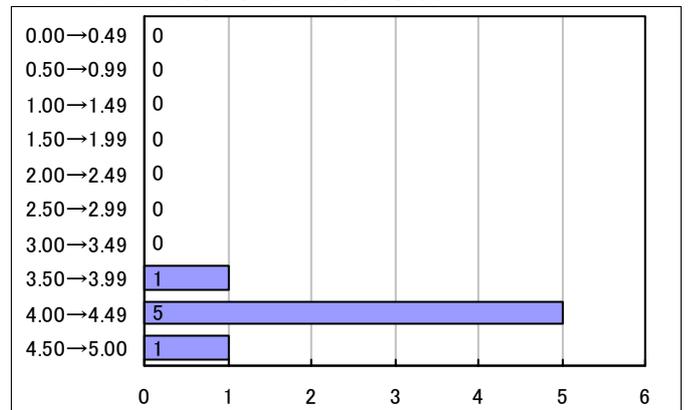
平均値 = 4.25

■経済学部



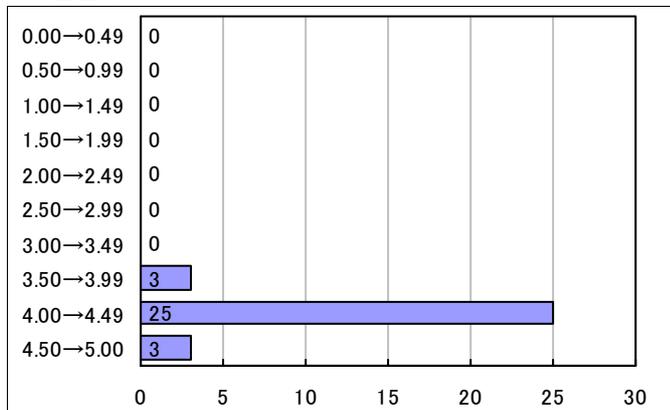
平均値 = 4.03

■人間生活科学部・教育保育学科



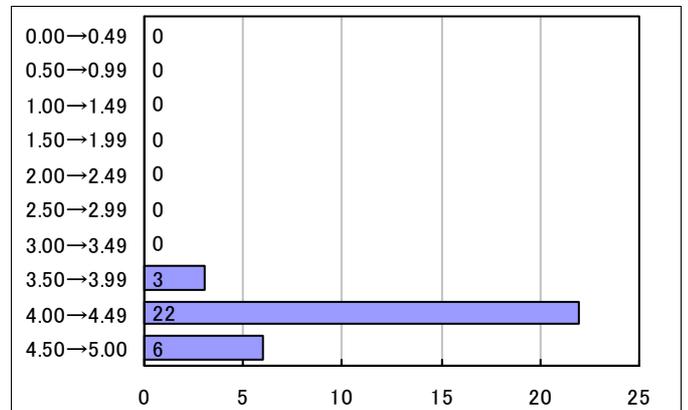
平均値 = 4.27

■経営学部



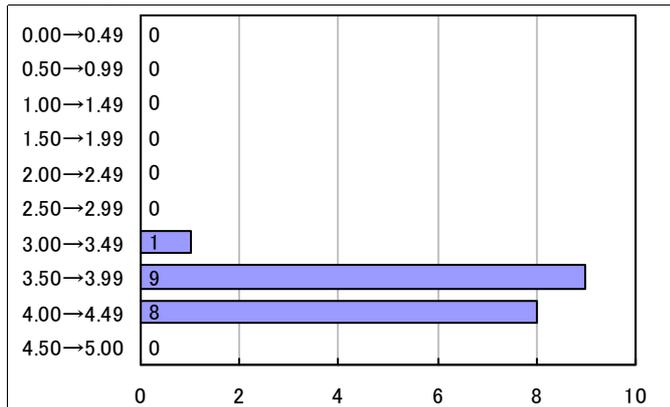
平均値 = 4.20

■非常勤



平均値 = 4.28

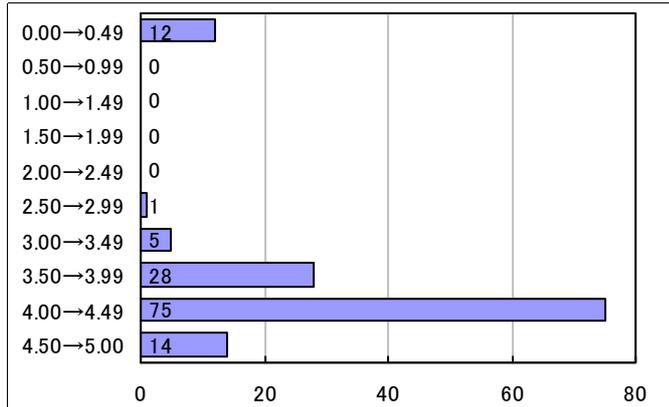
■法学部



平均値 = 3.89

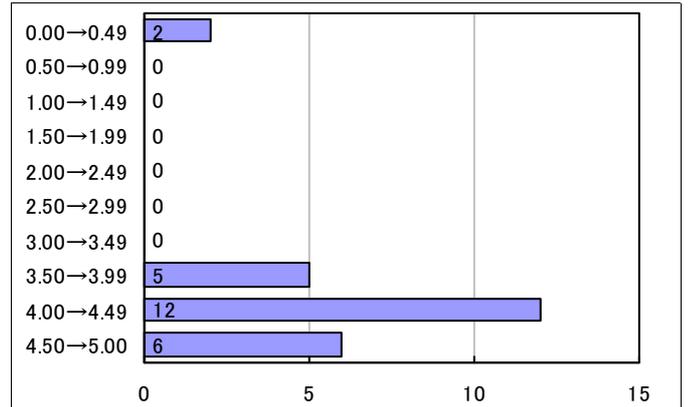
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



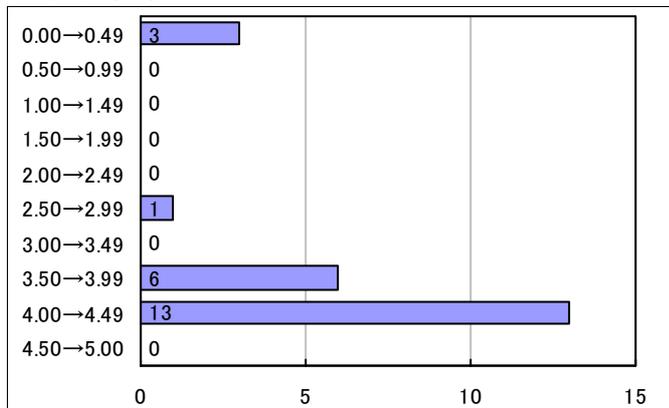
平均値 = 4.07

■人間生活科学部・管理栄養学科



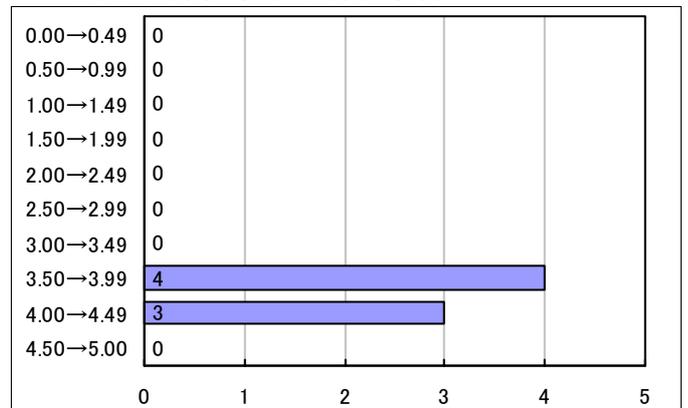
平均値 = 4.23

■経済学部



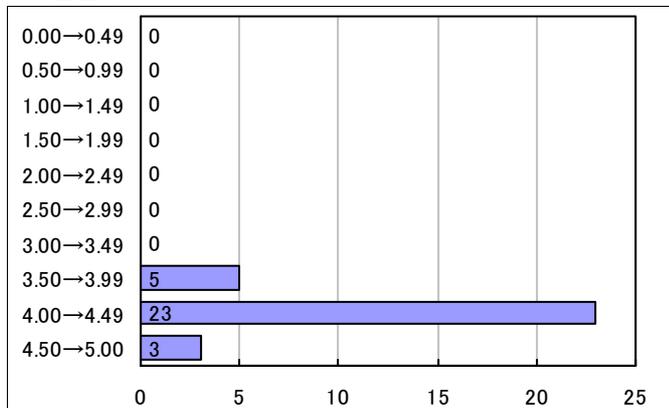
平均値 = 3.97

■人間生活科学部・教育保育学科



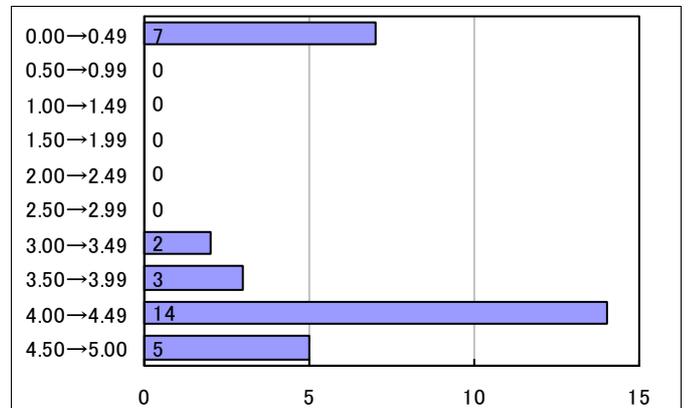
平均値 = 3.98

■経営学部



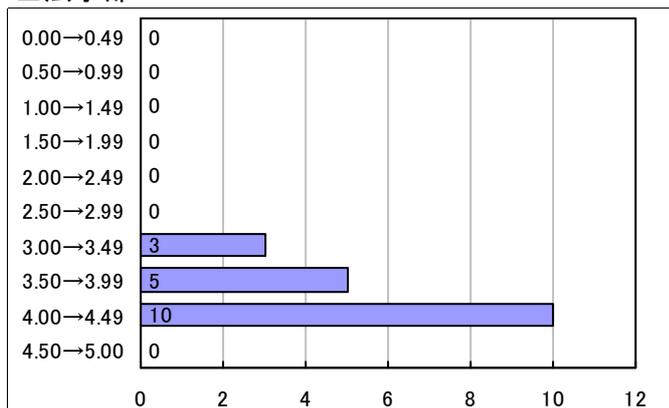
平均値 = 4.18

■非常勤



平均値 = 4.14

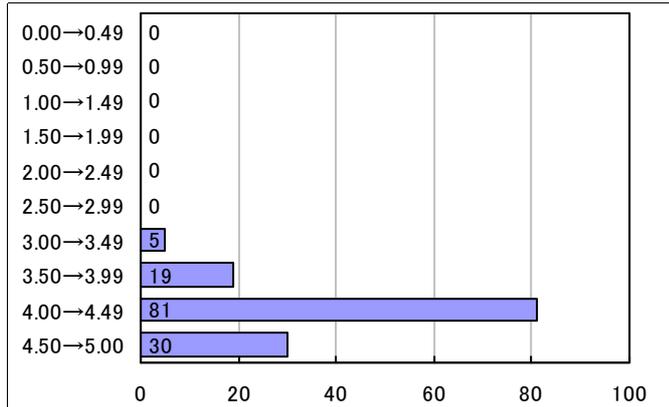
■法学部



平均値 = 3.84

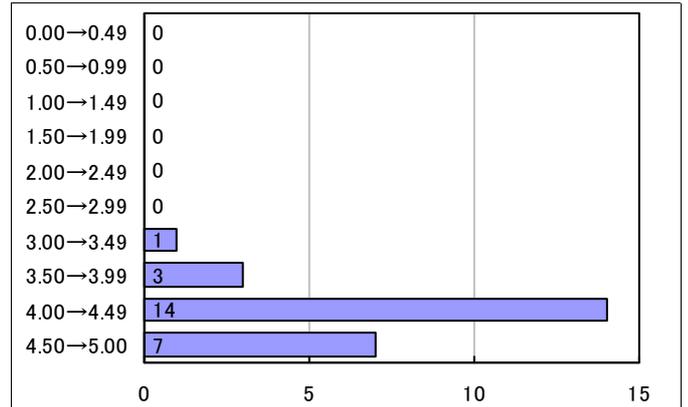
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



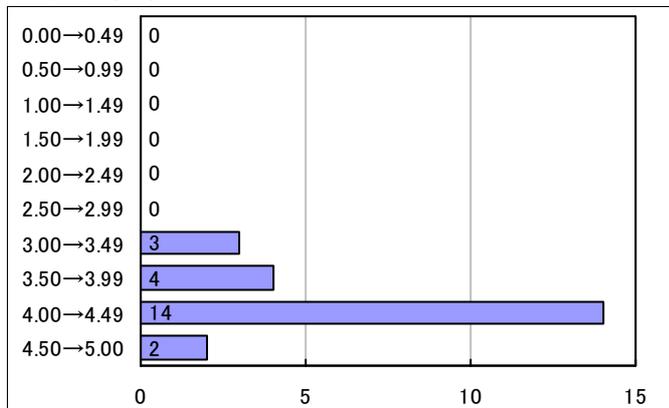
平均値 = 4.20

■人間生活科学部・管理栄養学科



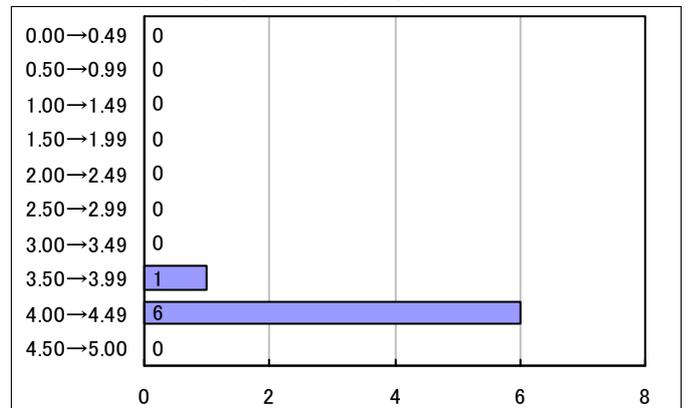
平均値 = 4.29

■経済学部



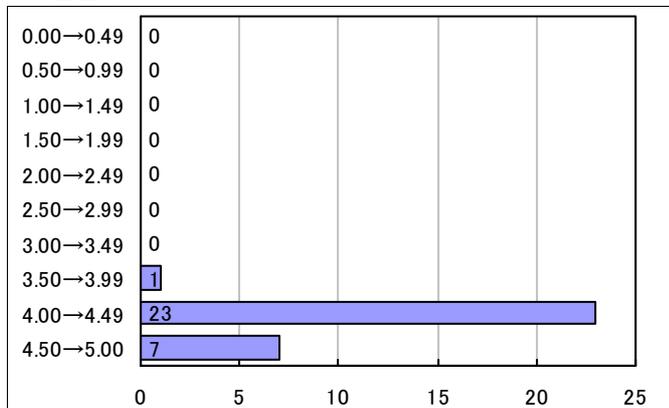
平均値 = 4.08

■人間生活科学部・教育保育学科



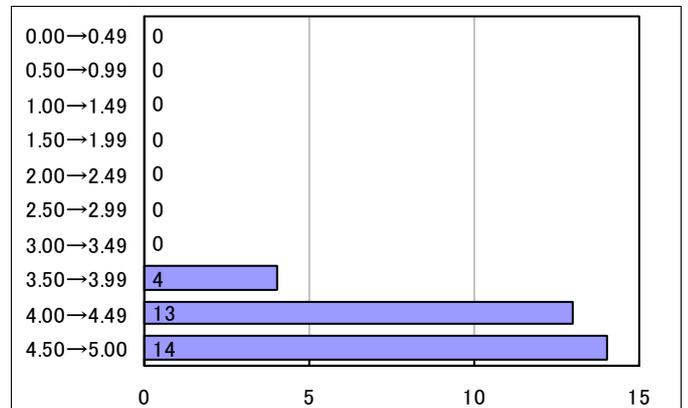
平均値 = 4.29

■経営学部



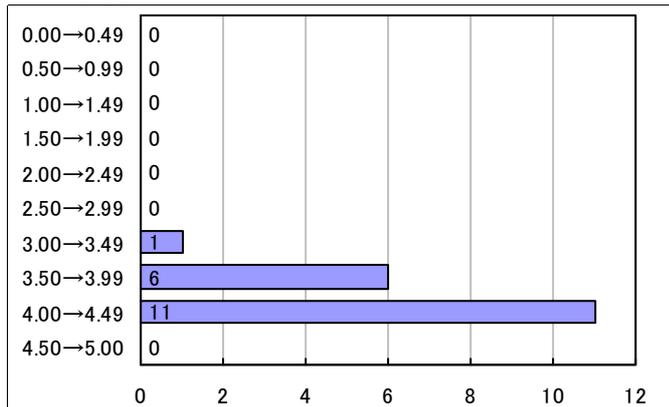
平均値 = 4.32

■非常勤



平均値 = 4.30

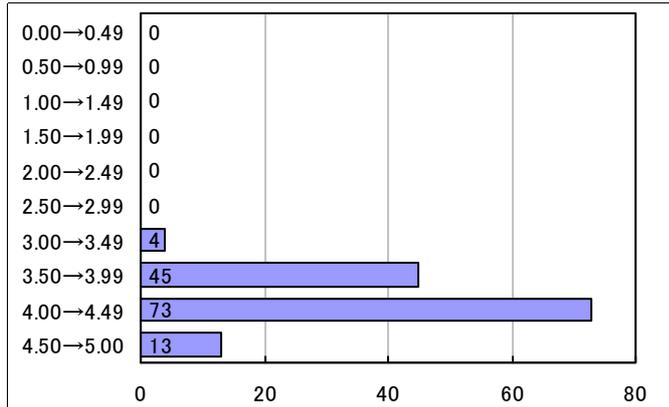
■法学部



平均値 = 4.01

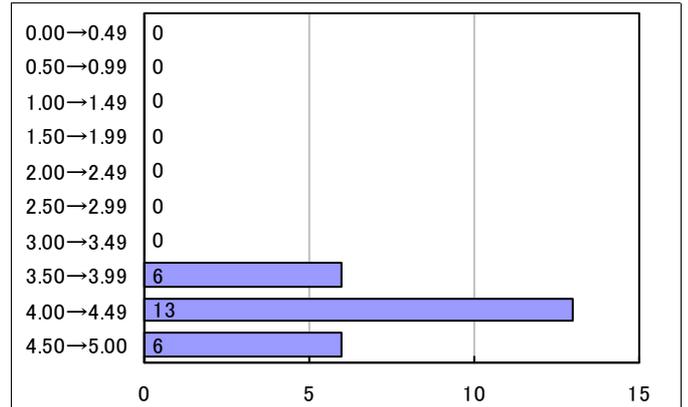
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



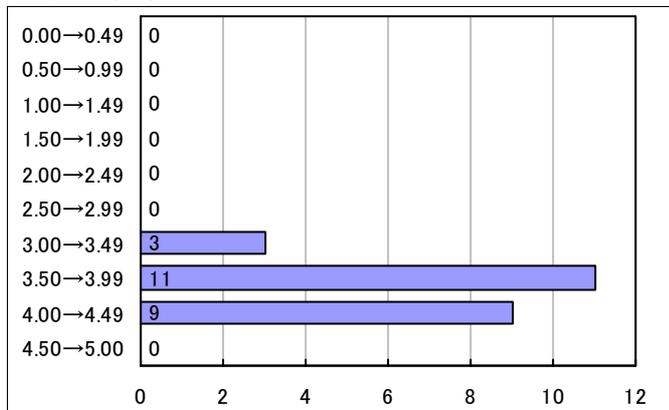
平均値 = 4.03

■人間生活科学部・管理栄養学科



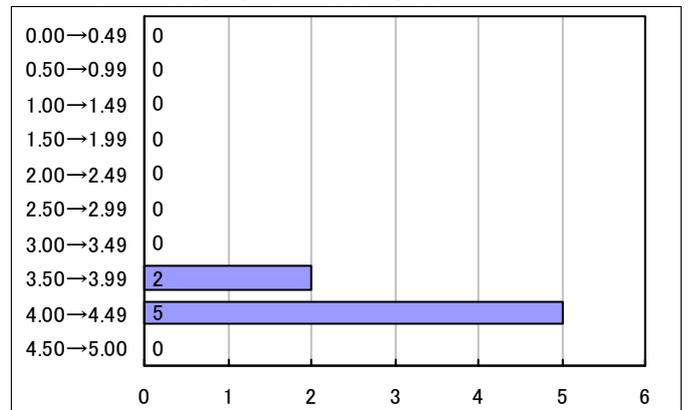
平均値 = 4.17

■経済学部



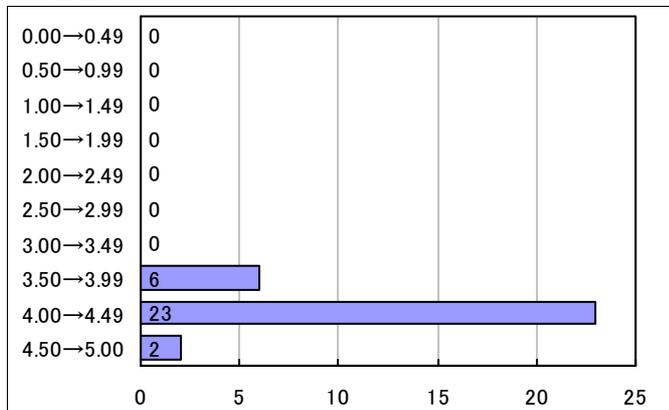
平均値 = 3.92

■人間生活科学部・教育保育学科



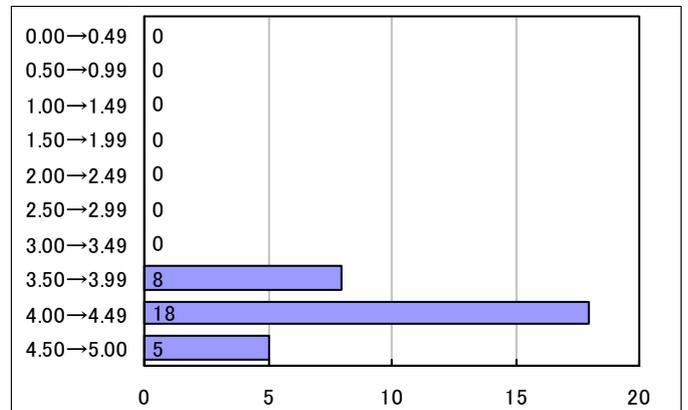
平均値 = 4.13

■経営学部



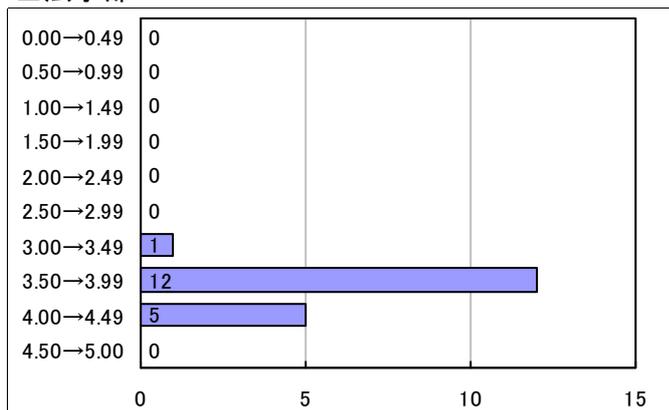
平均値 = 4.11

■非常勤



平均値 = 4.12

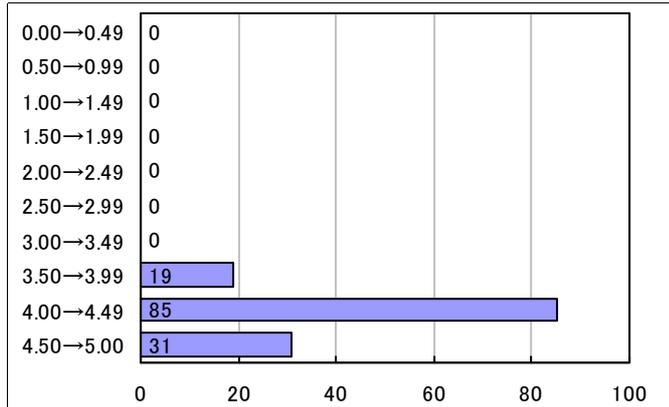
■法学部



平均値 = 3.86

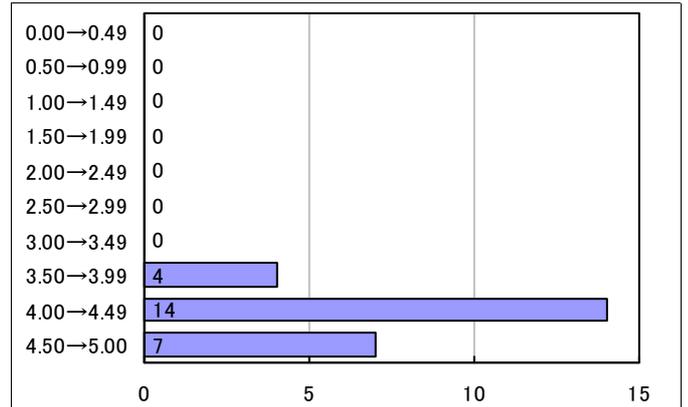
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



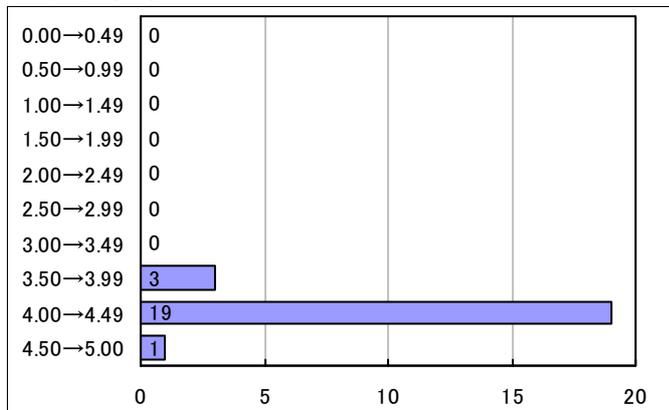
平均値 = 4.23

■人間生活科学部・管理栄養学科



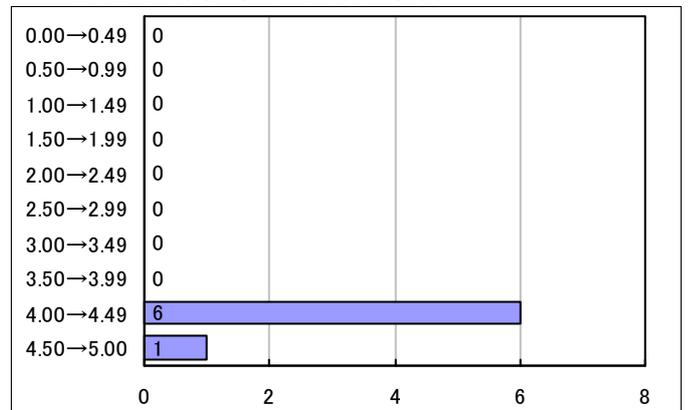
平均値 = 4.33

■経済学部



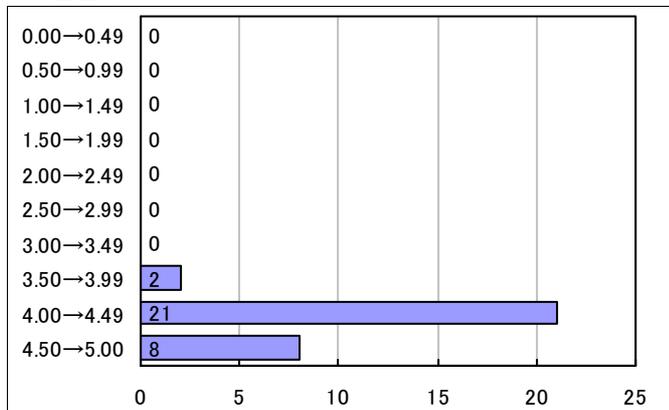
平均値 = 4.19

■人間生活科学部・教育保育学科



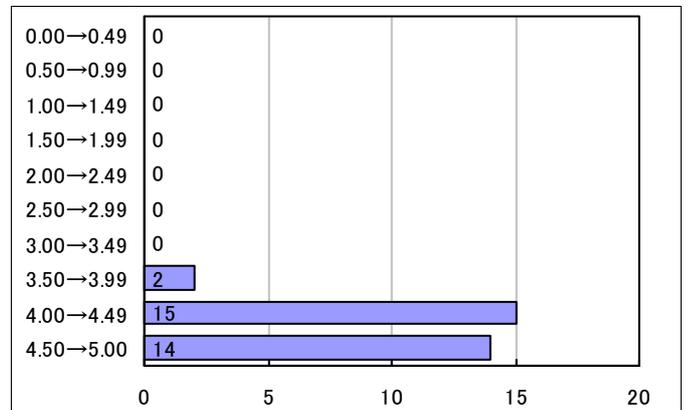
平均値 = 4.31

■経営学部



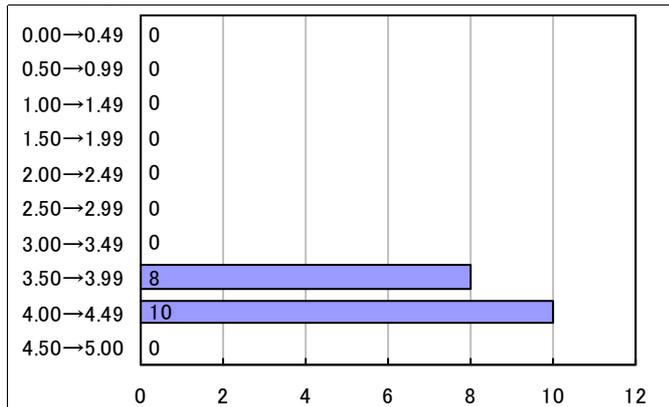
平均値 = 4.27

■非常勤



平均値 = 4.34

■法学部



平均値 = 4.04

平成 28 年度前期授業評価アンケート結果分析

～学生視点データより：全体／留学生／スポーツ学生～

< 1～13 の設問 >

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 出席（学生自己評価） | 2. 意欲（学生自己評価）    |
| 3. シラバス整合性    | 4. 授業のわかりやすさ     |
| 5. 新しいものの見方   | 6. 教員の熱意         |
| 7. 授業の進度・進め方  | 8. テキスト・資料活用     |
| 9. 板書・スクリーン   | 10. 教員の声の聞き取りやすさ |
| 11. 教室・授業管理   | 12. 授業時間         |
| 13. オムニバス授業   |                  |

\*学部学科別の全学生による回答結果について

< 学生全体 >

	経済	経営	法	教育保育	管理栄養
1	4.0	4.0	3.7	4.2	4.6
2	4.0	4.1	3.8	4.1	4.1
3	3.9	4.1	3.8	3.8	3.8
4	3.9	4.1	3.8	4.0	4.0
5	3.9	4.0	3.8	4.1	4.0
6	4.1	4.2	4.0	4.3	4.1
7	3.9	4.1	3.8	4.1	4.0
8	4.0	4.1	3.9	4.3	4.1
9	3.9	4.1	3.9	4.1	4.1
10	4.1	4.2	4.0	4.3	4.2
11	3.9	4.1	3.9	4.1	4.0
12	4.2	4.3	4.0	4.3	4.3
13	3.5	3.6	3.4	3.7	3.8

- ・学生の自己評価 1 「出席」 2 「熱意」は法学部でスコアが低い。
- ・6 「教員の熱意」と 10 「教員の声の聞き取りやすさ」 12 「授業時間」は全てにおいて 4.0 以上である。
- ・13 「複数教員による授業」は全てで 4.0 未満であり、3.5 未満（法学部）もあり。
- ・4 「授業のわかりやすさ」 5 「新しいものの見方」 11 「教室管理」では 3.8～4.1 で、更なる改善が必要。

\*留学生による回答結果について

<回答に占める留学生の割合>

	回答総数	留学生回答数	留学生による回答割合
経済学部	1351	448	33.16%
経営学部	1956	1009	51.58%

<留学生のみ>

	経済	経営
1	4.2	4.2
2	4.5	4.3
3	4.4	4.3
4	4.4	4.3
5	4.4	4.3
6	4.4	4.4
7	4.4	4.2
8	4.4	4.3
9	4.4	4.2
10	4.5	4.4
11	4.3	4.3
12	4.5	4.5
13	4.4	4.1

<日本人学生>

	経済	経営
1	3.9	3.7
2	3.8	3.8
3	3.7	3.8
4	3.7	3.8
5	3.7	3.8
6	3.9	4.0
7	3.8	3.9
8	3.9	3.9
9	3.8	3.9
10	3.9	4.0
11	3.7	3.9
12	4.0	4.1
13	3.3	3.4

・全ての項目で高いスコアを示している。経済学部所属留学生の方がやや高い。

\*スポーツ学生による回答結果について

<回答に占めるスポーツ学生の割合>

	回答総数	スポーツ学生回答数	スポーツ学生による回答割合
経済学部	1334	243	18.25%
経営学部	1956	352	17.99%
法学部	1377	791	57.44%
教育保育学科	868	74	8.52%

＜スポーツ学生のみ＞

	経済	経営	法	教育保育
1	4.1	4.0	3.6	4.7
2	4.2	4.2	3.7	4.1
3	4.1	4.0	3.7	3.8
4	4.0	4.1	3.7	4.1
5	4.0	4.1	3.8	4.1
6	4.1	4.2	3.9	4.2
7	4.0	4.1	3.8	4.2
8	4.0	4.1	3.9	4.3
9	4.0	4.1	3.9	4.1
10	4.1	4.2	4.0	4.3
11	4.0	4.2	3.9	4.1
12	4.2	4.2	3.9	4.3
13	3.5	3.6	3.3	4.1

＜スポーツ学生を除く＞

	経済	経営	法	教育保育
1	4.0	4.0	3.9	4.2
2	4.0	4.1	3.9	4.1
3	3.9	4.1	3.8	3.8
4	3.9	4.1	3.9	4.0
5	3.9	4.0	3.9	4.1
6	4.1	4.2	4.1	4.3
7	3.9	4.1	3.9	4.1
8	4.0	4.1	4.0	4.3
9	3.9	4.1	3.9	4.1
10	4.1	4.2	4.0	4.3
11	3.9	4.0	3.9	4.0
12	4.2	4.3	4.1	4.3
13	3.5	3.7	3.5	3.7

- ・スポーツ学生の回答が57%の法学部では10項目（黄色）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりもやや低い。
- ・経済学部では8項目（ピンク）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも高い。
- ・経営学部では3項目（ピンク）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも高く、3項目（黄色）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも低い。
- ・教育保育学科では5項目（ピンク）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも高く、1項目（黄色）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも低い。

平成 28 年度後期授業評価アンケート結果分析  
 ～学生視点データより：全体／留学生／スポーツ学生～

## \* 1～13 の設問項目

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 出席（学生自己評価） | 2. 意欲（学生自己評価）    |
| 3. シラバス整合性    | 4. 授業のわかりやすさ     |
| 5. 新しいものの見方   | 6. 教員の熱意         |
| 7. 授業の進度・進め方  | 8. テキスト・資料活用     |
| 9. 板書・スクリーン   | 10. 教員の声の聞き取りやすさ |
| 11. 教室・授業管理   | 12. 授業時間         |
| 13. オムニバス授業   |                  |

## \* 学部学科別の全学生による回答結果について

## &lt;学生全体&gt;

	経済	経営	法	教育保育	管理栄養
1	4.0	3.9	3.7	4.2	4.4
2	4.1	4.1	3.8	4.0	4.1
3	4.1	4.1	3.7	3.8	3.9
4	4.1	4.1	3.8	3.9	4.0
5	4.0	4.1	3.8	3.9	4.0
6	4.2	4.2	4.0	4.1	4.2
7	4.1	4.2	3.8	3.9	4.1
8	4.1	4.2	3.9	4.2	4.3
9	4.1	4.1	3.9	4.0	4.1
10	4.2	4.3	4.0	4.2	4.2
11	4.0	4.1	3.8	4.0	4.1
12	4.3	4.3	4.0	4.3	4.3
13	3.8	4.1	3.7	3.4	3.3

- ・法学部学生の評価が 13 項目のうち 10 項目が 4.0 を切っている点が気になる。
- ・6「教員の熱意」と 10「教員の声の聞き取りやすさ」12「授業時間」は全学的に 4.0 以上である。
- ・4「わかりやすさ」、5「新しいものの見方」11「教室・授業管理」は 3.8～4.1 で、更なる改善が必要である。
- ・13「複数教員による授業」は教育保育学科と管理栄養学科では評価がかなり低い。

\*留学生による回答結果について

<回答に占める留学生の割合>

	回答総数	留学生回答数	留学生による回答割合
経済学部	1134	398	35.09%
経営学部	1794	1014	56.52%

<留学生>

	経済	経営
1	4.2	4.1
2	4.4	4.3
3	4.3	4.3
4	4.3	4.2
5	4.3	4.3
6	4.4	4.4
7	4.2	4.2
8	4.3	4.3
9	4.3	4.2
10	4.4	4.4
11	4.2	4.2
12	4.4	4.4
13	4.1	4.2

<日本人学生>

	経済	経営
1	3.9	3.6
2	3.9	3.9
3	3.9	3.9
4	3.9	4.0
5	3.9	4.0
6	4.1	4.1
7	4.0	4.1
8	4.0	4.0
9	4.0	4.0
10	4.1	4.2
11	3.9	4.0
12	4.2	4.2
13	3.7	3.9

・留学生はすべての項目で経済、経営学部とも 4.1 以上であり、学部間の差もほとんどない。

\*スポーツ学生による回答結果について

<回答に占めるスポーツ学生の割合>

	回答総数	スポーツ学生 回答数	スポーツ学生による 回答割合
経済学部	1125	200	17.78%
経営学部	1772	245	13.83%
法学部	997	570	57.17%
教育保育学科	533	72	13.61%

＜スポーツ学生のみ＞

	経済	経営	法	教育保育
1	4.1	3.9	3.6	4.2
2	4.4	4.3	3.8	4.0
3	4.3	4.2	3.7	3.6
4	4.2	4.2	3.8	4.1
5	4.2	4.2	3.8	4.0
6	4.3	4.3	3.9	4.2
7	4.2	4.2	3.8	4.3
8	4.3	4.3	3.8	4.2
9	4.2	4.2	3.8	4.0
10	4.3	4.3	3.9	4.3
11	4.2	4.2	3.8	4.2
12	4.3	4.4	3.9	4.3
13	3.8	4.1	3.7	3.7

＜スポーツ学生を除く＞

	経済	経営	法	教育保育
1	4.0	3.9	3.9	4.2
2	4.0	4.1	3.8	4.0
3	4.0	4.1	3.7	3.8
4	4.0	4.1	3.8	3.9
5	4.0	4.1	3.8	3.9
6	4.2	4.2	4.0	4.1
7	4.0	4.1	3.9	3.9
8	4.1	4.2	4.0	4.1
9	4.1	4.1	3.9	4.0
10	4.2	4.3	4.1	4.2
11	4.0	4.1	3.8	3.9
12	4.2	4.3	4.1	4.2
13	3.8	4.1	3.7	3.3

- ・スポーツ学生の回答が57%強の法学部では7項目（黄色）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりもやや低い。
- ・経済学部では12項目（ピンク）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも高い。
- ・経営学部では10項目（ピンク）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも高い。
- ・教育保育学科では9項目（ピンク）についてスポーツ学生の評価が一般学生よりも高く、1項目（黄色）のみ低い。

## 2016 年度 法学部前期授業アンケート結果報告

### 1 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
法学部	1,931	1,931	1,259	65.20
<b>【全体】</b>	<b>9,675</b>	<b>9,505</b>	<b>6,809</b>	<b>71.64</b>

法学部の専任教員担当科目のうち 24 科目が今回のアンケート対象であり、24 科目すべてのアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は 65.20%と、前年度前期より 8.35%上昇した。人間生活科学部と比較すると低い値であるが、他の社会科学系の学部とほぼ同等の値となり、これまでと比較すると改善が見られた。今後も回答率を下げることがないように、呼びかけを行いたい。

### 2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.8
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたかと思いませんか	3.7
4	授業内容は、わかりやすかったかと思いませんか	3.7
5	この授業を受けて新しいもの見かたや考え方を得られたと思いませんか	3.7
6	教員の教え方には、熱意があったと思いませんか	3.8
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか	3.9
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか	3.7
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか	3.8
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか	4.0
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか	3.8
12	教員は、授業時間を守っていたと思いませんか	3.9

昨年度の結果と比較すると、0.1 ポイント程度の増減が認められたが、全体的にさほどの変化は認められなかった。

### 3 法学部生学年別結果（全学生）

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.7	3.9	3.9	3.5	3.2
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8	3.7	4.0	3.7	4.0
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたかと思いませんか	3.8	3.6	3.9	3.7	4.0
4	授業内容は、わかりやすかったかと思いませんか	3.8	3.7	3.9	3.8	4.0
5	この授業を受けて新しいもの見方や考え方を得られたと思いませんか	3.8	3.7	4.0	3.7	4.0
6	教員の教え方には、熱意があったと思いませんか	4.0	3.9	4.1	3.8	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか	3.8	3.7	3.9	3.9	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか	3.9	3.8	4.0	3.9	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか	3.9	3.8	3.9	3.9	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか	4.0	3.9	4.1	4.0	4.2
11	私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか	3.9	3.8	3.9	3.9	4.2
12	教員は、授業時間を守っていたと思いませんか	4.0	4.0	4.0	3.9	4.3
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	37.7	29.1	45.4	34.1	57.0

同（スポーツ学生）

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.6	3.7	3.5	3.5	3.3
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.7	3.6	3.9	3.8	4.0
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたかと思いませんか	3.7	3.5	3.9	3.8	3.9
4	授業内容は、わかりやすかったと思いませんか	3.7	3.6	3.8	3.9	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか	3.8	3.6	3.9	3.9	4.0
6	教員の教え方には、熱意があったと思いませんか	3.9	3.8	4.0	4.0	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか	3.8	3.6	3.9	4.0	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか	3.9	3.8	3.9	4.0	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか	3.9	3.8	3.8	4.1	4.3
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1
11	私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか	3.9	3.7	3.9	4.1	4.2
12	教員は、授業時間を守っていたと思いませんか	3.9	3.8	3.9	4.1	4.3
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	33.6	25.0	39.1	34.4	56.3

全学生について見ると、1年生の平均値が低く4年生の平均値が高い。設問1, 6, 12を除き1年生の平均値が最低であった。また、特徴的であったのは、奇数学年と比較して偶数学年の平均値が高い傾向が認められたことであった。2年生については、社会人学生やオープンキャンパスなどで中心的に活動する学生がいること、また4年生については、多くの学生について比較的余裕のある時間割設計をしていると考えられることや、履修制限科目について配慮を受けていることなどが影響を及ぼしているのだろうか。他方で1年生については、以前漏れ聞いた限りではあるが、履修制限科目につき希望科目を履修できない、履修可能な科目中、「法学部らしい」科目がほとんど無いことへの不満が、授業への意欲（設問2）の低さも含めた平均点の低さの背景にある可能性がある。

今年度からスポーツ学生の項目が設けられた。1,2年生において出席に対する自己評価が低いこと、3年生において授業への満足度が相対的に高いように認められることが特徴的であった。

#### 4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200	201-250
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.7	3.7	3.9	n.d.	4.0
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8	3.8	3.9	n.d.	3.6
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたかと思いませんか	3.9	3.8	3.9	n.d.	3.5
4	授業内容は、わかりやすかったと思いませんか	3.9	3.7	3.8	n.d.	3.5
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか	3.8	3.8	3.9	n.d.	3.6
6	教員の教え方には、熱意があったと思いませんか	4.0	3.9	4.0	n.d.	3.7
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか	3.8	3.8	3.9	n.d.	3.5
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか	4.0	3.9	3.9	n.d.	3.6
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか	3.9	3.8	3.8	n.d.	3.7
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか	4.1	4.0	4.0	n.d.	3.8
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか	3.9	3.9	3.8	n.d.	3.6
12	教員は、授業時間を守っていたと思いませんか	4.1	4.0	4.0	n.d.	3.8

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1~50名規模のものが7、51~100名規模のものが12、101~150名規模のものが3、151~200名規模のものが0、201名以上の規模のものが2であり、100名を超えるクラス規模の授業については、あらわれた数値がクラス規模に基づくものであるか、それに含まれる授業の個性によるものかが問題となるだろう。

上記の事情を考慮した上で、結果としてあらわれた数値を見ると、少なくとも150名規模までの授業については、有意な差は認められないようである。他方で、200名を超える規模のクラスでは、出席に対する学生の自己評価（設問1）が高く、他方でその他の項目が全般的に低い結果となっている。評価における出席の比重の高さ（への風評）が、その授業に学生を集中させる理由の一つとなっていることが考えられる。

5 授業のわかりやすさ（設問4）及び新しいものの見方（設問5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

科目名	わかりやすさ	ものの見方
(留2)市民生活と法／(留)市民生活と法(再)(火1)	4.47	4.41 ①
日本語レッスン(火4)	4.33	0.00
行政法総論(水2)	4.31	4.34 ②
社会とつながる II(水4)	4.29	4.26 ③
外国法(金1)	4.19	3.88 ⑧
(日)市民生活と法(再)／市民生活と法(月4)	4.11	3.79
(日)市民生活とキャリア形成(再)(月1)	4.04	4.13 ④
憲法(金1)	3.86	3.90 ⑦
(日)市民生活とキャリア形成(月2)	3.86	3.91 ⑥
企業と法②(火2)	3.84	3.87 ⑨
刑事訴訟法(火4)	3.78	4.11 ⑤
企業と法①(火2)	3.70	3.78
知的財産法(木2)	3.70	3.55
民事訴訟法(火1)	3.59	3.65
民法総則(木1)	3.57	3.82 ⑩
裁判と法①(木2)	3.54	3.70
多分化共生の探求I／多分化共生の探求(火3)	3.52	3.79
租税法(水3)	3.44	3.61
刑法各論(金3)	3.43	3.36
債権総論(火2)	3.40	3.49
裁判と法②(木2)	3.33	3.58
犯罪と法②(火1)	3.31	3.22
(日)市民生活と法(木2)	3.07	3.44
法哲学(火3)	3.04	3.09

上の表では、授業のわかりやすさ（設問4）の値が高い順に科目を列挙し、最も右の列に新しいものの見方（設問5）の値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。これまでと同様、設問4の値が高い科目と設問5の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められる。なお、今年度は学期始めに教員の体調不良のため担当者が急遽変更となった科目があった。これらの科目は概して低い数値を示している。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
(留2)市民生活と法／(留)市民生活と法(再)(火1)	4.22
社会とつながる II(水4)	4.16
行政法総論(水2)	4.12
日本語レッスン(火4)	4.11
(日)市民生活とキャリア形成(再)(月1)	4.04
民事訴訟法(火1)	4.00
外国法(金1)	4.00
(日)市民生活と法(再)／市民生活と法(月4)	4.00
企業と法②(火2)	4.00
知的財産法(木2)	3.95

授業及び教室管理について、高評価順に10科目を示すと、左記の通りである。

昨年度と比較すると、平均値では改善傾向が見られる。

いわゆる社会科学系の3学部の中で、特に法学部の授業・教室管理の値において問題とすべきものはみとめられないものの、今後も継続して授業・教室管理の改善に配慮する必要がある。

7 複数教員による授業

科目名	平均
(留2)市民生活と法／(留)市民生活と法(再)(火1)	4.09
企業と法②(火2)	3.73
多分化共生の探求I／多分化共生の探求(火3)	3.65
(日)市民生活とキャリア形成(月2)	3.65
裁判と法②(木2)	3.47

複数教員による授業を好ましいという評価のあった授業を、高評価順に5科目示すと、左記の通りである。

共通科目である多文化共生の探求が上位に入ってきていることが、近年にはなかった特徴である。数値自体、また専門共通基礎II科目について、経済・経営学部の学生を対象とする（留学生の割合が高い）②の科目で値が高いのは、昨年度と同様である。

## 8 クロス集計

			設問4					
			回答なし	1	2	3	4	5
法学部	設問11	回答なし	2		1	1		
		1	2	223	63	24	11	8
		2	2	43	300	71	31	9
		3	3	21	80	208	36	10
		4		5	22	21	16	4
		5		5	3	9	1	24
			設問8					
			回答なし	1	2	3	4	5
法学部	設問11	回答なし	2		1	1		
		1	1	248	54	20	6	2
		2	2	68	315	54	16	1
		3		21	102	205	24	6
		4		7	24	15	20	2
		5	2	5	7	1	1	26
			設問9					
			回答なし	1	2	3	4	5
法学部	設問11	回答なし	2		2			
		1	5	241	55	18	9	3
		2	8	53	310	57	24	4
		3	6	23	83	203	33	10
		4		12	16	16	18	6
		5	2	5	2	5	3	25
			設問10					
			回答なし	1	2	3	4	5
法学部	設問11	回答なし	2		1	1		
		1	2	267	53	7	1	1
		2	1	76	324	41	11	3
		3	2	37	104	194	16	5
		4		16	18	13	18	3
		5		9	6	2	3	22

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問 4、設問 8、設問 9、設問 10 とで行なわれている。今年度についても、一般に教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問4：わかりやすさ、設問5：新しいものの見方、設問11：教室管理）

区分	No.	回収番号	対象	有効数	科目名	設問04	設問05	設問11
専門共通基礎Ⅰ	1	72	全学生	171	(日)市民生活と法(木2)	3.07	3.44	3.46
	2		スポーツ学生のみ	62		2.94	3.29	3.39
	3		スポーツ学生を除く	109		3.15	3.52	3.50
	4	70	全学生	58	(留2)市民生活と法/(留)市民生活と法(再)(火2)	4.47	4.41	4.22
	5		スポーツ学生のみ	7		4.86	4.86	4.86
	6		スポーツ学生を除く	51		4.41	4.35	4.14
専門共通基礎Ⅱ	1	60	全学生	33	犯罪と法②(火1)	3.31	3.22	3.63
	2		留学生のみ	5		4.00	4.20	3.80
	3		留学生を除く	28		3.19	3.04	3.59
	4		スポーツ学生のみ	6		2.33	3.00	3.83
	5		スポーツ学生を除く	27		3.54	3.27	3.58
	6	57	全学生	65	企業と法①(火2)	3.70	3.78	3.77
	7		留学生のみ	6		4.17	4.17	4.17
	8		留学生を除く	59		3.66	3.75	3.73
	9		スポーツ学生のみ	37		3.65	3.76	3.70
	10		スポーツ学生を除く	28		3.78	3.82	3.86
	11	78	全学生	38	企業と法②(火2)	3.84	3.87	4.00
	12		留学生のみ	14		4.14	4.07	4.29
	13		留学生を除く	24		3.67	3.75	3.83
	14	75	全学生	61	裁判と法①(木2)	3.54	3.70	3.62
	15		留学生のみ	5		3.80	3.80	3.60
	16		留学生を除く	56		3.52	3.69	3.62
	17		スポーツ学生のみ	28		3.39	3.54	3.57
	18		スポーツ学生を除く	33		3.68	3.84	3.66
	19	63	全学生	67	裁判と法②(木2)	3.33	3.58	3.64
	20		留学生のみ	34		3.53	3.82	3.88
	21		留学生を除く	33		3.12	3.33	3.39
	22		スポーツ学生のみ	6		4.00	4.33	3.50
	23		スポーツ学生を除く	61		3.26	3.51	3.66

専門共通基礎Ⅰ科目である「市民生活と法」に関しては、非留学生科目に関して、スポーツ学生におけるわかりやすさに関する設問4の値が3点を下回る低い値であったことが目立った。新しいものの見方に関する設問5や教室管理に関する設問11でも、スポーツ学生の値が有意に低く、スポーツ学生の授業への理解度を上げることを意識する必要があると考えられる。他方で、留学生科目については、例年のことであるがいずれの設問への値も顕著に高い。担当教員の尽力が評価されるべきことはもちろんであるが、他方でこの高い数値が実際に授業内容を理解できた上での結果であるのかどうかという、実質を伴っているものであるかを確認する必要があるだろう。

専門共通基礎Ⅱについては、それぞれの科目の①が科目設置学部の学生向け、②がそれ以外の学部学生向けとなっている。留学生と非留学生の比較において特徴的であるのは、設問4および設問5について、留学生の値が明らかに高いことである。他方で設問11については、「裁判と法①」でわずかながらではあるが、非留学生の値が高くなっている。これがこの科目に特異な結果であるのか、それとも留学生の日本の大学教育に対する意識の変化が生じつつある兆しであるのか、今後の動向を注視したい。

スポーツ学生と非スポーツ学生との比較では、「市民生活と法」と同様に、全体としてスポーツ学生が授業をわかりにくいと考えている傾向があることが認められる。

法学部生と、経済・経営学部生との比較として、昨年度認められたような、法学部の学生の数値が顕著に低いという現象は、今年度は必ずしも認められなかった。

## 平成 28 年度前期 経済学部授業アンケート結果報告

### 1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	1,861	1,861	1,213	65.18
【全体】	9,675	9,505	6,809	71.64

まず前期回収率について、今年度は 65.18%である。平成 27 年度は 64.44%、平成 26

年度は 64.33%だったことを考えると、大きな改善が見られている。しかし全体平均が平成 27 年度 66%から今年度 71.64%に上昇しているため、大学全体ほどの改善とは言えない。値が上昇しているとはいえ（前年度の他学部コメントにもあったように）当日の出席者数と回答者数を比べる必要がある。「履修しているが就職活動でアンケートは欠席」「履修したがもう失格している」学生などが含まれており、データの信頼性に影響が及ぶ可能性があるからである。

### 2. 経済学部教員の所属別集計結果

設問	内容	平 27	平 28
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.9	3.9
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.0	3.9
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	3.9	3.8
4	授業内容はわかりやすかったですと思いますか	3.9	3.8
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.9	3.9
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.1	4.0
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.0	3.9
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.1	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0	3.9
10	教員の声は聞き取りやすかったですと思いますか	4.2	3.9
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.0	3.9
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2	4.1
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	3.8	3.0

昨年度との比較では、多くの設問で値が低下した（網掛け）。とはいえ、その多くは 0.1 ポイント程度のものであり誤差の範囲ともいえるかもしれない。しかしながら、設問 10「教員の声」については 0.3 ポイントの低下であり注意を要する。設問 13「複数教員」は 0.8 ポイント低下であるが、今年度は対象科目が極端に減っており評価は困難である。

### 3. 学生視点集計結果

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全学生	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	4.1	3.9	4.0	3.9	4.1	3.9	4.2	3.5
日本人のみ	3.9	3.8	3.7	3.7	3.7	3.9	3.8	3.9	3.8	3.9	3.7	4.0	3.3
留学生のみ	4.2	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.3	4.5	4.4
スポーツ学生のみ	4.1	4.2	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2	3.5

学生視点での集計のうち、「日本人学生・留学生・スポーツ学生」の傾向を見てみると、昨年度の経営学部と同様留学生のポイントが著しく高いことがわかる。昨年度からの留学生増加に合わせ、「授業の簡便化」「内容咀嚼の徹底」などの成果が出ているものと考えられる。しかしながらそれに対して日本人学生のポイントは留学生と比べ、また昨年度の日本人と比べても低下している。留学生に合わせた「簡便化」への不満が日本人学生のポイント低下につながっている可能性がある。

#### 【学年別】

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1年	4.3	4.2	4.0	4.1	4.0	4.2	4.0	4.1	4.0	4.2	4.0	4.2	3.4
2年	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	3.8	4.0	3.8	4.0	3.9	4.1	3.8
3年	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	4.0	4.0	4.0	3.9	4.1	3.8	4.2	3.4
4年	3.4	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.0	4.3	3.3
5年以上	3.3	4.0	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	5.0

学生視点のポイントを学年別で示したのを見ると、1年次が最も高い値を示しており、次いで4年生が続いている。1年生は留学生が増えたため

に全体的な底上げがなされたと解釈できる。4年生は科目数の減少により、参加授業への集中力が増したことや、専門性が上がり、それが興味を掻き立てていることが上昇につながっていると考えられる。それに比べ、2・3年生はとりわけ低い値が示されたことから、中堅学年への興味・満足度の向上がこれからの重点になってくるものと分析される。

### 4. 履修者数別集計結果

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1-50	4.0	3.8	3.7	3.6	3.6	3.7	3.8	4.0	3.9	3.7	3.8	4.1
51-100	3.9	3.9	3.8	3.8	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9	4.1
101-150	3.8	4.0	3.9	3.8	3.9	4.0	3.9	3.9	3.8	3.9	3.9	4.1
151-200	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
201-250	4.2	3.8	3.8	4.1	3.9	4.1	4.1	4.0	4.0	4.2	3.9	4.2

教室規模で見た場合のデータでは200人以上の科目で高い値が示されているが、集計したのは特定の科目（1科目）に限られる。その他の値を見ると、少人数授業ほど

学生の苦戦している様子がうかがえる（と言っても 0.1 ポイント程度の違い）ものの、こうした科目は出席率が高い。

#### 5. 設問 4 「わかりやすさ」、設問 5 「新しいものの見方」、設問 11 「教室・授業管理」

科目名	わかりやすさ	ものの見方	教室・授業管理
国際金融論(水 3)	4.23	4.12 ⑥	4.11 ④
(留 1)市民生活と経済／(留)市民生活と経済(再)(月 2)	4.22	4.29 ②	4.17 ③
食料経済学(金 2)	4.20	4.04 ⑨	3.84
心の科学(水 2)	4.15	4.19 ③	3.93
国民経済と政府②(木 4)	4.13	4.13 ⑤	4.31 ①
(日)市民生活と経済(金 2)	4.11	3.93	3.92
戦後日本経済の動き(火 4)	4.11	4.12 ⑦	3.94
政治の世界(月 4)	4.08	4.15 ④	4.02 ⑨
情報(Power Point)(C)(木 4)	4.07	3.6	4.07 ⑦
国民経済と政府①(木 1)	3.95	3.99 ⑩	4.27 ②
日本語レッスン(水 2)	3.94	4.12 ⑧	4.06 ⑧
市民生活と経済／(日)市民生活と経済(再)(木 3)	3.93	3.84	4.07 ⑥
社会調査概論(金 2)	3.92	3.85	4.00 ⑩
スキルアップ英語 I(C)(金 3)	3.86	0	3.77
消費者法(木 3)	3.77	3.81	3.78
社会行動の科学(火 2)	3.65	3.71	3.73
基礎英語 I(C)(月 1)	3.60	3.47	3.80
財政学(金 2)	3.36	4.45 ①	4.09 ⑤
市場の経済学②(火 1)	3.30	3.47	3.52
基礎力養成 I(B)(水 4)	3.16	0	3.37
情報入門(3)(木 1)	3.03	3.1	3.52
市場の経済学①(水 3)	2.76	2.97	3.13

上表では、設問 4 「わかりやすさ」の値が高い順に科目を並べ、真ん中の列に設問 5 「新しいものの見方」、右側に設問 11 「授業・教室管理」の結果を示している。設問 5、11 については上位 10 科目について丸囲みの数字でその順位を示した。その結果、「わかりやすさ」が高い科目は、総じて「新しいものの見方」に対する評価も高い。(少数であるが、「わかりやすさ」と「新しいものの見方」の関係が相反するケースもある。この興味深い関係については後期に向けて詳細を把握したい。)しかし一方で、設問 4、5 が高いからと言って「教室管理」がよいとは必ずしも言えない結果が見いだされた。教室の大きさや、履修者数、授業の形態によって左右されるのではないかと思われる。

## 6. クロス集計について

			設問4					
			回答なし	1	2	3	4	5
経済学部	設問11	回答なし	2	1				2
		1	2	271	82	14	6	5
		2	2	56	301	46	16	6
		3	1	23	75	164	27	16
		4		9	14	7	14	8
		5	1	3	6	5	1	27

			設問8					
			回答なし	1	2	3	4	5
経済学部	設問11	回答なし	4			1		
		1	2	301	50	19	5	3
		2	5	79	290	45	8	
		3	1	29	76	178	13	9
		4		3	22	12	10	5
		5		2	5	11	5	20

いずれのクロス集計（設問11「教室管理」と設問4「わかりやすさ」、8「教科書・資料」、9「板書・モニター」、10「教員の声」）の結果を見ても（詳細データは、「設問4×設問11」並びに「設問8×設問11」のみ表示し、それ以外は省略）、経済学部の科目は高い集計値は左上方に寄っていることがわかる。この傾向は大学の全体平均よりも顕著であり、今回のアンケートの結果から「学生による経済学部科目の満足度は相対的に高い傾向がある」との結論が見いだされる。

全評価項目において、設問4、5と設問11の相関は強くは見られない点を述べたが、クロス集計から設問8「教科書・配布資料」や設問9「板書・モニター」、設問10「教員の声」と、設問11「教室・授業管理」との間には有意な相関が見られそうである。そのため、個々の科目担当者が今後意識する点としては、設問8～10を適切に行えるよう一層研さんを積み、併せて設問7「速さ」を意識することであると思われる。そうすることで、設問4「わかりやすさ」の改善につなげていくという意識が重要だと結論づけられる。

## 2016年度前期経営学部授業評価アンケート結果分析

経営学部 FD 委員会

### 1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
全体	9675	9505	6809	71.64
経営学部	2259	2245	1513	67.39

実施予定は26科目であったが、1科目が教員の都合で実施されず、25科目について授業評価アンケートが実施された。経営学部教員担当科目の回答率は67.39%であり、全体平均71.64%に比べ、4.25%低かった。国家試験等を目指す人間生活科学部が全体の回答率を引き上げていると思われ、経営学部の学生に対して、内発的・外発的動機づけによる出席率の向上が望まれる。

### 2. 経営学部教員担当科目の平均ポイント

	設問内容	ポイント
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.9
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.0
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	3.9
4	授業内容はわかりやすかったですと思いますか	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.9
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.2
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.0
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったですと思いますか	4.1
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.0
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	3.6

経営学部所属教員担当科目の平均ポイントを見ると、設問1、設問2、設問5、設問8を除いては、全体平均と同等以上の評価であった。設問1、設問2に関しては、学生の自発的

な参加や動機づけに関わっており、経営学部教員は学生の意欲向上に繋がる改善策が必要である。設問 5 に関しては、学生の講義に対する興味を誘発させると同時に、自ら課題解決を見出せるような授業作りが必要である。設問 8 に関しては、授業展開に沿った資料の配布だけでなく、それについての丁寧かつ分かりやすい説明が伴わなければならない。

### 3. 経営学部学生視点からのデータ分析

今回から学生の属性視点として、昨年度から導入した「留学生」に「スポーツ推薦入学生」を加えた。属性を中心に結果分析をしたい。

#### \*授業評価アンケート回答数の属性別割合 (%)

	学部全体	1年	2年	3年	4年
留学生	51.6	63.7	53.2	47.4	7.4
スポーツ入学生	18.2	15.5	18.7	21.4	18.0

経営学部では留学生の占める割合が高く、その傾向は年々高まっていることがわかる。スポーツ推薦入学生の占める割合は減少傾向にある。

#### \*属性別のポイント（1～13の設問内容は上記参照）

	全学部生	留学生のみ	留学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く
1	4.0	4.2	3.7	4.0	4.0
2	4.1	4.3	3.8	4.2	4.1
3	4.1	4.3	3.8	4.0	4.1
4	4.1	4.3	3.8	4.1	4.1
5	4.0	4.3	3.8	4.1	4.0
6	4.2	4.4	4.0	4.2	4.2
7	4.1	4.2	3.9	4.1	4.1
8	4.1	4.3	3.9	4.1	4.1
9	4.1	4.2	3.9	4.1	4.1
10	4.2	4.4	4.0	4.2	4.2
11	4.1	4.3	3.9	4.2	4.0
12	4.3	4.5	4.1	4.2	4.3
13	3.6	4.1	3.4	3.6	3.7

留学生はすべての設問について、高い数値を示し、満足度が高いと思われる。一方、日本人学生（留学生を除く）は設問6、10、12以外すべて4.0未満であり、自己評価である設問1（出席）、設問2（意欲）が留学生よりもかなり低い。今後、日本人学生の意欲を引き上げる必要がある。

スポーツ推薦入学生はほとんどが日本人学生であることから、日本人学生のなかではスポーツ推薦入学生の満足度が高いことが推測できる。

#### 4. クラスサイズ別の「わかりやすさ」と「教室管理」

クラスサイズ別の各設問の得点をみると、大学全体では、毎年同様、受講者数が少ないほどすべての設問で得点が高くなる大体の傾向が見られた。経営学部についてもほぼ同じだが例外(設問1:出席率や設問6:教員の熱意)もある。しかし、「1~100人規模」と「101人~200人規模」にグループを分けて分析すると、その差異が顕著となる。すなわち、人数が少ないほうが良い授業と評価される。100人以下の場合、人数問わず高い評価を得ている。これについては、過去3年同じ傾向であることがデータから確認できた。

#### 5. クロス集計について

昨年と同じく「設問11:教室管理」と、「設問4:わかりやすさ」、「設問8:教科書、配布資料の活用」、「設問9:板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、「設問10:教員の声の聞こえやすさ」の4項目のクロス集計を行なった。いずれのクロス集計においても、昨年と同様、大学全体および他学部と同じく、「教室管理」の評価が高ければ、クロス項目の評価も高くなるという強い相関関係が見られる。

#### 6. 「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の結果分析

##### \* 「設問4:わかりやすさ」と「設問11:教室管理」結果

「設問4:わかりやすさ」について評価平均4.0以上の科目は、25科目中18科目(72.0%)であり、昨年前期(63.6%)より8.4%上がった。経営学部教員の講義への工夫の面で評価できる。

「設問11:教室管理」は、25科目で15科目(60%)が4.0以上を得ており、昨年前期(64.3%)より4.3%下がった。状況に応じた柔軟な教室管理が求められる。

##### \* 「設問5:新しいものの見方」結果

「設問5:新しいものの見方」では、経営学部(3.94)は全体平均(3.96)に比べやや低く、昨年(3.99)に比べ0.05低い結果となった。下表のとおり、4.0以上は25科目中13科目の52%(昨年は28科目中17科目の60.7%)であり、昨年より大幅に低下した。

その下位には、経営学部必修の専門科目〔(日)基本簿記C、(日)基本簿記B〕がある。経営学部では専門基礎の学びを重視する体系を目指しているため、改善に向けて一層の努力が望まれる。

#### 7. 経営学部担当の専門共通基礎I,IIについて

##### \* 「(日)市民生活とビジネス」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」「オムニバス」すべてが、3.6~3.7であり、改善が求められる。特にスポーツ学生のスコアが4項目とも3.5以下であることに注目したい。

**\* 「(留) 市民生活とビジネス」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」「オムニバス」すべてが、4.4～4.5である。今年度は留学生を日本語レベルで2つに分けたことが良好な結果に結びついたものと思われる。

**\* 「会計と資金の経営学①（経営学部必修）」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の3項目について、全体は3.9～4.1であるが、留学生は4.1～4.3であり、良好な結果と言える。

**\* 「会計と資金の経営学②（経済、法学部選択）」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の3項目について、やや留学生のスコアが高いが、全体として4.0～4.1である。

**\* 「商品と流通の経営学①（経営学部必修）」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の3項目について、「わかりやすさ」がやや低い(3.7)。留学生のみの結果も3.8である。今後の改善が必要と思われる。

**\* 「商品と流通の経営学②（経済、法学部選択）」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の3項目について、すべて留学生のスコアが全体よりも低い。留学生への配慮が求められる。

平成28年度前期 人間生活科学部教育保育学科  
授業評価アンケート結果分析

教育保育学科教員の授業評価アンケートは、15科目について行われ、回収率は100%であった。また、対象科目履修者数は641名で、回答率は85.8%である。対象科目や履修者数は、他学部や管理栄養学科と比べると少ないが、回答率は高い傾向である。

次に学科教員全体の概要を見ると、「シラバスを読んでいない学生」は、53.6%おり、「シラバス通り授業を行っている」という問いに対しては平均点は3.9である。しかし、シラバスを実際に読んでいない学生も回答しており、この結果はやや正確さに欠ける面も見られる。教育保育学科は、免許・資格を取得する学科であることから、シラバスを見てというよりも、免許・資格を取得するための授業を選び出席をするという面が大きいのではないか。それが、出席平均点4.2（欠席0，欠席1～2が全体の80.4%）という結果が得られたと思われる。また、出席率と授業に意欲的に取り組んだかどうかの平均点と人数は、ほぼ同じである。しかし、免許や資格を取得するために、意欲的に授業に望む者も見られるが、アンケートの結果にあるように、2.5%の学生が「意欲的に取り組んでいない」「取り組んでいると思わない」と回答している。授業に出席しないと授業が分からなくなり、ますます授業から足が遠のいてしまう傾向がある。

次に、授業についてである。「内容が分かりやすい」が4.0「新しいものの見方や考え方を得られたか」が4.1とほぼ同じ平均点であり、分かりやすさと知的関心との関係が同じ傾向にあると思われる。しかし、この平均点は3年生が3.9(分かりやすさ)、3.8(知的関心)と低く、2年生が4.2, 4.3と高い結果が得られた。3年生ともなると専門的なことや履修科目が増えていくために、科目によって違いはあるが、学生の知的関心に合致しない内容のものもあると思われる。このことは、教員サイドから考えると、学生の興味関心を引きつけるような手立てや内容を考えていく必要があると思われる。

教員の熱意と授業の進め方や速さについてである。「教員の熱意」が4.3「授業の進め方や速さ」が4.1と高い結果が得られた。教員の熱意が学生に伝わっていると考えられる。ただ、学生の理解には、各個人差がある。やはり、その個人差を考えた進め方をこれからも考えていくべきであろう。また、前述の授業についての結果と同様、3年生は他学年と比べ、3.8(熱意)、4.1(進め方)と全体的に低い結果が出ている。

次に、教科書・配付資料の活用状況である。平均点4.3と高い結果が得られた。学生に教科書を買わせたら、きちんと利用する。分かりやすい資料を配付し、授業を進めていくことは今後も続けたいことが大切である。

板書やプレゼンテーションなどの提示については、平均点4.1 と概ね工夫がされているようである。

声の聞き取りやすさについては、平均点4.3 と高い数値が得られているが、部屋に大きさ、学生数、授業の内容などによって、マイクを使ったり、立ち位置を考えたり等、今後も工夫していく必要がある。

授業の妨げに対する教員の対応については、平均点4.1 と概ねきちんと対応しているように思われる。ただ、携帯電話や私語などに対しては、他の学生の授業の妨げになるので、注意を厳しくしていく必要はある。また、遅刻に関しては、どこまで認めるかが問題となってくる。

授業を受けることは大切なことであり、どのような姿勢で授業に臨むかは学生自身も分かっている。だからこそ、学生の自主性に期待したい気持ちもある。もちろん、教員自身も授業の内容や進め方を考えていく必要がある。

教員は授業時間を守っていたかについては、平均点4.3 という結果が得られた。授業の内容や形態によっても、始めと終わりが90分間ぴったりとはいかないまでも、やはり時間通り始まり時間通り終わるとというのが原則であり、徹底するようにしていきたい。

#### ※ 履修人数と授業の分かりやすさ、聞き取りやすさ

科目数や内容の問題があるので、一概には言えないが、概して、履修人数と授業の分かりやすさ、聞き取りやすさとの関係は、履修人数が少ない方が平均点が高い傾向である。また、複数教員による授業も、履修人数が少ない方が平均点が高く、実際には、なかなか難しい問題であるが、少ない人数で、複数教員による授業を学生は望んでいる。

#### ※ スポーツ学生とスポーツ学生を除く学生との結果比較

全体的に、「授業によく出席したか」という項目を除けば、ほぼ差異は見られない。「授業によく出席したか」という点については、スポーツ学生4.7、スポーツ学生を除く学生4.2 と差が出た結果である。スポーツをしていても授業にはきちんと出席しようとする意識が高い面が見られる。特に下位学年ほど高い傾向である。なかなか学業とスポーツとの両立は厳しい面があるが、その中で頑張っているのであろう。しかし、今後、教育実習や保育実習など、時間的に制約されることが多い中で、授業やスポーツをしていくことは大変ではあるが、学生自身が目標を持って頑張してほしいものである

**平成 28 年度前期 人間生活科学部管理栄養学科  
授業アンケート結果報告**

**1. 実施概要**

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率(F÷E)
管理栄養学科	1,200	1,200	1,006	83.83
【全体】	9,675	9,505	6,809	71.64

人間生活科学部管理栄養学科の平成 28 年前期授業アンケート対象は、管理栄養学科の専任担当科目のうち 25 科目であり、回収率は 100%であった。対象科目の履修者数は 1200 人で回答者数は 1006 人であり、回答率は 83.83%である。管理栄養学科の回答率は大学全体の回答率より 10%以上に上回っている。

**2. 管理栄養学科所属教員の平均および学年結果**

設問	内容	平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.5	4.6	4.7	4.4	4.2
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1	4.2	4.0	4.0	4.3
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	3.8	3.8	3.6	3.9	3.9
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.0	3.9	3.8	4.1	4.3
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.0	3.9	3.9	4.1	4.3
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.2	4.1	4.1	4.2	4.4
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.0	4.0	3.8	4.2	4.3
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.1	4.0	4.0	4.2	4.4
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.1	4.0	4.0	4.2	4.4
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.2	4.1	4.1	4.2	4.5
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1	4.0	3.9	4.1	4.2
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2	4.3	4.1	4.3	4.5

管理栄養学科に所属する専任教員担当科目の平均は、設問 3 以外すべての設問で 4.0 以上であった。設問 1 の出席に関する項目では平均 4.5 であり、特に 2 年次の授業参加率は高かった。設問 2 の授業への意欲的に取り組んでいるかの項目では 1 年・4 年次の評価が高い値を示した。設問 3 のシラバスにそって授業を行ったかの項目が唯一 4.0 以下の評価であった。授業のガイダンスとしてシラバスの内容を案内するなど学生への周知が必要とされる。

設問 4(授業内容のわかりやすさ)と 5 (新たなものの見方や考え方) では、1 年次・2 年次の学生の評価が 3 年次・4 年次と比べ低い値を示した。1 年次の授業は特に基礎となる内容が多いので、1 年次から高い意識を持たせた授業に取り組ませることが必要である。また、2 年次の設問 7 の授業の進行、設問 11 の教室管理の項目の結果は、他の学年と比べ低い値を示した。このことから学年毎に学生の特徴を把握し、対応する必要があると考える。

### 3. 授業のわかりやすさおよび知的関心について

表 1. わかりやすさ

臨床栄養学実習I(1組)(金1.金2.金3)	4.6
臨床栄養学II(1組)(月4)	4.6
食品学I(1組)(金1)	4.5
臨床栄養学演習(1組)(火4.火5)	4.5
給食経営管理論I(1組)(木2)	4.4
食品学実験I(1組)(木2.木3.木4)	4.3
栄養演習(金4)	4.2
公衆栄養学II(1組)(月3)	4.2
公衆衛生学I(1組)(木4)	4.2
生化学実験I(1組)(木2.木3.木4)	4.1
公衆栄養学実習(1組)(金1.金2.金3)	4.1
応用栄養学実習(1組)(金1.金2.金3)	4.1
栄養教育論実習II(1組)(火1.火2.火3)	4.0
応用栄養学I(1組)(月4)	3.9
栄養教育論II(1組)(木1)	3.9
運動生理学(1組)(木3)	3.9
応用栄養学演習(1組)(火2.火3)	3.9
解剖生理学I(1組)(火4)	3.9
調理科学実験(1組)(金1.金2.金3)	3.8
栄養調理学実習(1組)(火1.火2.火3)	3.7
生化学I(1組)(金2)	3.7
栄養管理学入門(オムニバス)(月1)	3.7
病態学I(1組)(木5)	3.7
フードスペシャリスト論(火4)	3.6
基礎栄養学I(1組)(月2)	3.6

表 2. 新しいものの見方や考え方

臨床栄養学演習(1組)(火4.火5)	4.6
臨床栄養学実習I(1組)(金1.金2.金3)	4.4
臨床栄養学II(1組)(月4)	4.3
給食経営管理論I(1組)(木2)	4.3
食品学I(1組)(金1)	4.3
栄養演習(金4)	4.2
生化学実験I(1組)(木2.木3.木4)	4.2
栄養調理学実習(1組)(火1.火2.火3)	4.2
食品学実験I(1組)(木2.木3.木4)	4.2
公衆衛生学I(1組)(木4)	4.1
公衆栄養学II(1組)(月3)	4.1
応用栄養学実習(1組)(金1.金2.金3)	4.1
解剖生理学I(1組)(火4)	4.1
公衆栄養学実習(1組)(金1.金2.金3)	4.1
応用栄養学I(1組)(月4)	4.0
病態学I(1組)(木5)	4.0
運動生理学(1組)(木3)	3.9
栄養教育論実習II(1組)(火1.火2.火3)	3.9
応用栄養学演習(1組)(火2.火3)	3.9
栄養教育論II(1組)(木1)	3.9
生化学I(1組)(金2)	3.8
栄養管理学入門(オムニバス)(月1)	3.7
フードスペシャリスト論(火4)	3.7
調理科学実験(1組)(金1.金2.金3)	3.6
基礎栄養学I(1組)(月2)	3.5

表 1 に授業のわかりやすさ、表 2 に新しいものの見方や考え方について管理栄養学科の結果を示した。

わかりやすい設問では 13 科目が、新しいものの見方や考え方の設問では 16 科目が 4.0 以上の値をしてした。

### 4. 授業・教室管理について

表 3. 授業・教室管理

臨床栄養学演習(1組)(火4.火5)	4.6
臨床栄養学実習I(1組)(金1.金2.金3)	4.4
臨床栄養学II(1組)(月4)	4.3
給食経営管理論I(1組)(木2)	4.3
食品学I(1組)(金1)	4.3
栄養演習(金4)	4.2
生化学実験I(1組)(木2.木3.木4)	4.2
栄養調理学実習(1組)(火1.火2.火3)	4.2
食品学実験I(1組)(木2.木3.木4)	4.2
公衆衛生学I(1組)(木4)	4.1
公衆栄養学II(1組)(月3)	4.1
応用栄養学実習(1組)(金1.金2.金3)	4.1
解剖生理学I(1組)(火4)	4.1
公衆栄養学実習(1組)(金1.金2.金3)	4.1
応用栄養学I(1組)(月4)	4.0
病態学I(1組)(木5)	4.0
運動生理学(1組)(木3)	3.9
栄養教育論実習II(1組)(火1.火2.火3)	3.9
応用栄養学演習(1組)(火2.火3)	3.9
栄養教育論II(1組)(木1)	3.9
生化学I(1組)(金2)	3.8
栄養管理学入門(オムニバス)(月1)	3.7
フードスペシャリスト論(火4)	3.7
調理科学実験(1組)(金1.金2.金3)	3.6
基礎栄養学I(1組)(月2)	3.5

表 3 に授業・教室管理の設問の結果を示した。

授業・教室管理の数値が高い科目の多くは、わかりやすさや新しい見方や考え方の数値も高くなっている。

教員の教室管理のやり方について学生に明確に周知しておく必要があるかもしれない。学生がより良い環境で授業を受けられるような努力が必要とされる。

## 5. クロス集計

		わかりやすさ(設問4)					
		回答なし	1	2	3	4	5
教室・授業管理 (設問11)	回答なし	1	0	0	2	0	0
	1	0	218	84	16	4	2
	2	0	64	340	41	15	3
	3	0	18	51	95	12	7
	4	0	3	2	4	6	1
	5	0	3	5	2	3	4

		教科書・配布資料の活用(設問8)					
		回答なし	1	2	3	4	5
教室・授業管理 (設問11)	回答なし	1	0	0	1	1	0
	1	8	240	55	14	4	3
	2	16	74	330	33	9	1
	3	5	25	53	90	9	1
	4	0	3	3	4	3	3
	5	1	4	7	1	1	3

		板書やスクリーン・モニターの見やすさ(設問9)					
		回答なし	1	2	3	4	5
教室・授業管理 (設問11)	回答なし	1	0	0	1	1	0
	1	8	237	56	17	4	2
	2	16	68	329	41	9	0
	3	5	26	52	89	9	2
	4	0	2	4	5	4	1
	5	1	1	8	1	2	4

		声の聞き取りやすさ(設問10)					
		回答なし	1	2	3	4	5
教室・授業管理 (設問11)	回答なし	1	0	0	1	1	0
	1	0	256	51	11	3	3
	2	2	107	314	33	7	0
	3	3	29	52	86	8	5
	4	0	1	6	6	3	0
	5	0	10	1	1	1	4

クロス集計では、教室管理（設問11）とわかりやすさ（設問4）、教科書・配布資料の活用（設問8）、板書やスクリーンの見やすさ（設問9）、声の聞き取りやすさ（設問10）の4つの設間について行った。共通する結果として、教室・授業管理について低い評価を得ている場合、クロス項目の評価も低い値を示す傾向が見られた。

## 平成 28 年度前期授業評価アンケート結果分析（兼任・非常勤講師担当分）

### I. 実施率／コメント回収率／学生の回答率について

前期授業評価アンケート対象科目のうち、兼任講師担当は 4 科目、非常勤講師担当は 55 科目であったが、非常勤講師担当の 2 科目が実施されず、合計 57 科目についてアンケートが実施された。

実施科目の内訳は留学生用日本語科目 28、外国語科目 15、共通科目 3、学部学科専門科目 8、強化指定クラブ所属学生対象科目 2、教職科目 1 であった。

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
【全体】	172	169	98.26		
兼任・非常勤	59	57	96.61		

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	9,675	9,505	6,809	71.64
兼任・非常勤	1,785	1,627	1,268	77.93

回答率が全体に比べ高いことは、出席率が高いことを示している。後述するように 50 人以下の小クラスが 96%以上を占め、さらにそのうちの約 50%は 20 人前後（日本語）、約 27%は 35 人以下（外国語）の演習系であることが関係していると思われる。

### II. 集計結果について

#### 設問項目

1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
E	あなたはこの授業のシラバスを読みましたか

## 1. 57科目の平均ポイント

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問E(Yes率)
4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.4	4.2	4.3	4.2	4.4	4.2	4.2	58.7%

全ての設問について 4.0 以上で、学部学科別平均ポイントよりも高い。下記 2 のクラスサイズによる平均スコア及び 3 の 3 項目（設問 4、5、11）の結果を見ると明らかであるが、小規模の語学科目におけるスコアが高いことが関係していると思われる。

## 2. クラスサイズ別の平均ポイント

履修者数	クラス数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問E(Yes率)
1-50	55	4.2	4.3	4.1	4.2	4.1	4.4	4.2	4.3	4.2	4.4	4.2	4.4	58.7%
51-100	2	3.6	3.9	4.0	3.9	3.9	4.2	4.1	4.0	3.8	4.2	3.9	4.3	54.2%

1～50人のクラスが 55 であるが、このうち日本語科目 28 クラスは 20 人前後の小クラス、英語等の外国語クラス 11 も 30～35 人のクラスであり、小規模の語学クラスは従来からスコアが高い。51～100 人の 2 クラスのスコアからは、出席が不十分であることがわかるが、担当者の熱意や声の聞き取りやすさは 4.2 で、おおむね適切に授業が行われたことがわかる。

### 3. 「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」について

#### (1) 留学生対象日本語科目 (28 科目)

留学生対象の日本語科目は、「わかりやすさ」はすべて 4.0 以上で、17 クラスでは 4.5 以上を示している。習熟度別クラス指定の選択必修科目で、クラスサイズは 25 名以下とし、教育内容もほぼ統一されていることから、良好な学習環境を提供できたと思われる。

科目名	担当者	わかりやすさ	新しいものの見方	教室管理
(留)アカデミック日本語レベル 1	B	4.65	4.60	4.65
	D	4.62	4.46	4.57
	D	4.62	4.36	3.92
	G	4.58	4.47	4.25
(留)アカデミック日本語レベル 3	B	4.46	4.46	4.15
	B	4.29	4.30	4.14
	G	4.22	4.11	4.13
	G	4.35	4.17	4.18
	G	4.00	3.75	3.92
	I	4.30	4.05	4.30
(留)アカデミック日本語 A	A	4.50	4.50	4.42
(留)日本語コミュニケーションレベル 1	A	4.83	4.69	4.69
	B	4.75	4.61	4.89
	B	4.61	4.57	4.38
	F	4.50	4.44	4.25
	H	4.53	4.30	4.41
(留)日本語コミュニケーションレベル 3	A	4.69	4.63	4.45
	A	4.80	4.65	4.61
	F	4.67	4.56	4.56
	F	4.61	4.50	4.31
	H	4.58	4.58	4.68
(留)日本語コミュニケーションレベル 5	A	4.42	4.50	4.13
	F	4.44	4.42	4.22
	H	4.30	4.29	4.20
(留)日本語特別支援 A(留1用)	C	4.54	0.00	4.34

	E	4.56	0.00	4.46
(留)日本語特別支援 A(留2用)	C	4.46	0.00	4.12
	E	4.46	0.00	4.19

## (2) 英語等外国語科目 (15 科目)

英語科目担当の非常勤講師は、4名とも英語を母国語とする教員である。必修か選択かではなく、担当者の教え方でスコアに差が出たと思われる。スコアの低い担当者には後期担当クラスについて改善が望まれる。

「コリア語入門」は今年度から新しい担当者を迎えた。担当 5 クラスとも良好な結果が出ている。

科目名	担当者	わかりやすさ	新しいものの見方	教室管理
英語コミュニケーション(1) (選択)	A	4.38	4.37	4.63
英語コミュニケーション(2) (選択)	A	4.26	4.04	4.46
英語コミュニケーション(B) (必修)	B	2.81	3.00	3.48
英語コミュニケーション(C) ((必修)	C	3.81	3.50	3.89
英語コミュニケーション(D) (必修)	D	4.53	4.22	4.45
基礎英語 I(D) (必修)	B	2.33	2.81	3.20
基礎英語 I(E) (必修)	C	3.83	3.70	4.06
基礎英語 I(F) (必修)	C	3.85	3.72	4.30
基礎英語 I(G) (必修)	D	4.39	3.81	4.30
コリア語入門	E	4.59	4.42	4.73
		4.50	4.37	4.35
		4.44	4.30	4.30
		4.42	4.23	4.30
		4.26	4.09	4.11
ポルトガル語入門	F	4.20	4.13	4.12

## (3) 共通科目、学部学科専門科目、スポーツ専用科目、教職科目 (14 科目)

科目により開講形式がことなる（「音楽演習」は実技演習、「資格・検定講座 III」は

実務対策講座、「マーケティング特論」は小人数のアクティブ・ラーニング科目など)。

全般に適切な授業が行われたと思われるが、「子どもの保健 IB」の3項目、「地理学」の2項目のスコアが低く、「わかりやすさ」と「教室管理」は相関があり、授業内容と教室管理の両方について今後の改善が求められる。

区分	科目名	わかりやすさ	新しいものの見方	教室管理
共通科目	日本探訪(月1)	3.76	3.82	3.91
	地理学Ⅰ(地誌を含む)／ (教)地理学Ⅰ(地誌を含む)	3.55	3.71	3.58
	文学と現代	3.94	4.09	4.21
経営専門	マーケティング特論(ファッションマーケティング)	4.56	4.59	4.59
法専門	資格・検定講座Ⅲ(宅建対策)	4.52	4.33	4.33
教育保育 専門	保育相談支援	3.81	0.00	3.66
	子どもの保健 IB	3.16	3.16	3.16
	音楽演習 A(2組) ※再履修者除く	4.42	4.46	4.23
	音楽演習 A(1組) ※再履修者除く	4.16	4.03	4.13
管理栄養 専門	バイオテクノロジー概論	3.88	3.96	3.96
	食品衛生学Ⅰ(1組)	3.83	3.86	3.78
スポーツ 専用	(ス)スポーツの指導法	4.32	4.35	4.37
	(ス)スポーツの歴史	4.25	4.29	4.14
教職	(教)教育原理	4.50	4.30	4.21

#### 4. 「教室管理」との4項目クロス集計について

設問11「教室管理」と、設問4「わかりやすさ」、設問8「教科書、配布資料の活用」、設問9「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、設問10「教員の声の聞こえやすさ」の4項目のクロス集計結果(詳細データは省略)では、いずれのクロス集計においても、「教室管理」のポイントが高ければ、クロス項目のポイントも高くなるという強い相関関係が見られた。

以上

## 2016年度後期 法学部授業評価アンケート結果報告

### 1 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
法学部	1,624	1,582	1,075	67.95
<b>【全体】</b>	<b>7,938</b>	<b>7,896</b>	<b>5,622</b>	<b>71.20</b>

法学部の専任教員担当科目のうち19科目が今回のアンケート対象であり、18科目のアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は67.95%と、前期より2.75ポイント上昇した。人間生活科学部と比較すると低い値であるが、他の社会科学系の学部とほぼ同等の値となり、これまでと比較すると改善が見られた。今後も回答率のより一層の向上を目指して、呼びかけを行いたい。

### 2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.8
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたかtと思いますか	3.7
4	授業内容は、わかりやすかったかtと思いますか	3.7
5	この授業を受けて新しいものの見かたや考え方を得られたと思いますか	3.7
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	3.8
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	3.9
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	3.7
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	3.8
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.0
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.8
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	3.9

昨年度の結果と比較すると、いずれの項目も横ばいまたは上昇しており、全体の平均値において0.1ポイントの上昇があった。

### 3 法学部生学年別結果（全学生）

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.6	3.8	3.9	3.5	3.2
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8	3.6	3.9	3.9	3.8
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたかtと思いますか	3.7	3.5	3.8	3.9	3.9
4	授業内容は、わかりやすかったかtと思いますか	3.8	3.7	3.9	4.0	3.9
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.8	3.6	3.9	3.8	4.0
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4	3.8	4.1	4.1	4.0
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	3.8	3.7	4.0	3.9	3.9
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	3.8	3.7	4.0	3.9	3.9
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	3.9	3.7	3.9	4.1	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったかtと思いますか	4.0	3.8	4.1	4.2	4.2
11	私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.9	3.7	3.9	4.0	4.0
12	教員は、授業時間を守っていたかtと思いますか	4.0	3.9	4.2	4.1	4.1
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか（結果は%単位）	43.9	31.7	45.1	41.9	57.0

同（スポーツ学生）

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.5	3.6	3.6	3.6	3.2
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8	3.5	3.9	4.0	3.9
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたかと思いませんか	3.8	3.5	3.8	4.0	3.9
4	授業内容は、わかりやすかったと思いませんか	3.9	3.6	3.9	4.1	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか	3.8	3.5	3.9	3.9	4.0
6	教員の教え方には、熱意があったと思いませんか	4.0	3.7	4.0	4.2	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか	3.8	3.5	4.0	4.0	4.0
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか	3.8	3.6	4.0	4.0	3.9
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか	3.9	3.5	3.9	4.2	4.1
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか	4.0	3.6	4.0	4.2	4.2
11	私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか	3.9	3.5	3.9	4.1	4.1
12	教員は、授業時間を守っていたと思いませんか	4.0	3.7	4.1	4.1	4.1
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか（結果は%単位）	36.8	27.4	36.8	40.7	42.6

まず、全学生について、設問全体の平均値をみていく。全学年でみると、平均値は前期と比べて概ね横ばいであった。今回、各学年の平均値をみると、2,3年生が4.0、4年生が3.9であったのに対し、1年生は3.7と相対的に低かった。

次に、スポーツ学生について、設問全体の平均値をみていく。全学年でみると、平均値は前期と比べて概ね横ばいであった。学年の平均値をみると、2,4年年生が3.9,3年生が4.0であり、全学生における同学年の平均値と比べて同水準にあるといえるが、1年生は3.5と低く、全学生における1年生の平均値を下げる要因となっていると考えられる。

1年生の平均値が上位学年に比べて低くなる傾向は、前期の結果においても認められたところである。スポーツ学生の入学人数の増加に伴い、このような状況の原因の分析とこれに対する適切な対応が求められる。

#### 4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200	201-250
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.7	4.0	3.7	3.9	n.d.
2	あなたは、この授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9	3.9	3.7	3.9	n.d.
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたかと思いませんか	3.9	3.9	3.7	3.8	n.d.
4	授業内容は、わかりやすかったと思いませんか	3.9	3.9	3.7	3.7	n.d.
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いませんか	4.0	3.9	3.7	3.8	n.d.
6	教員の教え方には、熱意があったと思いませんか	4.1	4.1	3.9	4.0	n.d.
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いませんか	4.0	4.0	3.8	3.8	n.d.
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いませんか	4.0	4.1	3.8	3.9	n.d.
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いませんか	4.0	4.0	3.7	3.8	n.d.
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いませんか	4.2	4.2	3.9	4.0	n.d.
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いませんか	4.1	3.8	3.8	3.9	n.d.
12	教員は、授業時間を守っていたと思いませんか	4.2	4.2	3.9	4.1	n.d.

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1~50名規模のものが6、51~100名規模のものが3、101~150名規模のものが7、151~200名規模のものが2、201名以上の規模のものが0であり、151名を超えるクラス規模の授業については、あらわれた数値がクラス規模に基づくものであるか、それに含まれる授業の個性によるものかが問題となるだろう。

上記の事情を考慮した上で、結果としてあらわれた数値を見ると、少なくとも100名規模までの授業については、有意な差は認められないようであるが、これと比較すると、101名を超える規模のクラスでは、殆どの設問において相対的に低い結果となっており、履修者の規模が結果に影響を与えている可能性がある。

5 授業のわかりやすさ（設問4）及び新しいものの見方（設問5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

科目名	わかりやすさ	ものの見方
(留1)市民生活とキャリア形成E(月1)	4.47	4.38 ①
情報と法(水2)	4.33	4.23 ②
外国法(金1)	4.31	4.04 ⑤
労働法(火1)	4.29	3.95 ⑨
国際社会と法②(木3)	4.19	4.12 ③
市民生活と教育(木2)	4.11	4.08 ④
(留1)市民生活と法(水2)	4.04	4.03 ⑥
国際社会と法①(木2)	3.86	3.96 ⑦
基礎力養成 II(A)(水4)	3.86	3.64
(ス)スポーツと社会(木1)	3.84	3.82
国家と法(日本国憲法)①(金4)	3.78	3.96 ⑦
公務員基礎力養成 III(火4)	3.70	3.36
会社法(火1)	3.70	3.77
債権各論(水3)	3.59	3.88 ⑩
刑法総論(金3)	3.57	3.85
商法(火2)	3.54	3.58
国家と法(日本国憲法)②(金4)	3.52	3.36
犯罪と法①(木1)	3.44	3.07

上の表では、授業のわかりやすさ（設問4）の値が高い順に科目を列挙し、最も右の列に新しいものの見方（設問5）の値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。従来の結果と同様、設問4の値が高い科目と設問5の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められる。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
外国法(金1)	4.38
(留1)市民生活とキャリア形成E	4.29
市民生活と教育(木2)	4.28
情報と法(水2)	4.23
国際社会と法②(木3)	4.04
(留1)市民生活と法(水2)	3.97
基礎力養成 II(A)(水4)	3.92
労働法(火1)	3.88
刑法総論(金3)	3.85
会社法(火1)	3.85

授業及び教室管理について、高評価順に10科目を示すと、左記の通りである。前期と比較すると、平均値は概ね横ばいである。

7 複数教員による授業

科目名	平均
(留1)市民生活とキャリア形成E(月)	4.36
国際社会と法②(木3)	4.07
市民生活と教育(木2)	3.85
(留1)市民生活と法(水2)	3.74
国際社会と法①(木2)	3.71

複数教員による授業を好ましいという評価のあった授業を、高評価順に5科目示すと、左記の通りである。前期において、複数教員による授業の平均値は、最も数値が高かった科目「(留2)市民生活と法／(留)市民生活と法(再)」で4.09であったが、今回「(留1)市民生活とキャリア形成」は4.36とこれを大きく上回った。この原因について、授業見学の機会を利用するなどして分析し、他の複数教員による授業でも参考にすることが求められる。

## 8 クロス集計

			設問 4					
			回答なし	1	2	3	4	5
法学部	設問 11	回答なし	6	9	9	6	1	
		1	17	1406	386	88	23	15
		2	7	314	1630	227	63	15
		3	3	105	358	566	88	31
		4		18	45	40	29	20
		5	1	14	17	16	12	37
			設問 8					
			回答なし	1	2	3	4	5
法学部	設問 11	回答なし	12	10	4	4	1	
		1	40	1521	283	70	17	4
		2	48	356	1616	207	25	4
		3	27	131	336	607	38	12
		4	3	22	42	50	28	7
		5	8	15	21	16	7	30
			設問 9					
			回答なし	1	2	3	4	5
法学部	設問 11	回答なし	12	8	5	3	3	
		1	116	1467	242	75	26	9
		2	119	316	1560	205	43	13
		3	61	107	302	586	71	24
		4	11	21	38	30	40	12
		5	6	13	14	16	17	31
			設問 10					
			回答なし	1	2	3	4	5
法学部	設問 11	回答なし	15	8	4	3		1
		1	6	1694	190	33	9	3
		2	5	434	1656	118	37	6
		3	5	165	381	545	37	18
		4		34	48	26	35	9
		5		18	16	10	10	43

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問 4、設問 8、設問 9、設問 10 とで行なわれている。今年度についても、一般に教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎 I

対象	有効数	科目名	設問04 (わかりやすさ)	設問05 (新しいものの見方)	設問11 (教室・授業管理)
全学生	63	(留1)市民生活と法(水2)	3.97	4.03	3.97
スポーツ学生のみ	7		3.86	3.57	3.86
スポーツ学生を除く	56		3.98	4.09	3.98
全学生	17	(留1)市民生活とキャリア形成E(月1)	4.35	4.38	4.29
全学生	36	市民生活と教育(木2)	4.00	4.08	4.28
留学生のみ	7		3.71	3.57	3.71
留学生を除く	29		4.07	4.21	4.41
スポーツ学生のみ	6		4.00	4.33	4.00
スポーツ学生を除く	30		4.00	4.03	4.33

専門共通基礎 II

全学生	87	国家と法(日本国憲法)①(金4)	3.83	3.71	3.80
スポーツ学生のみ	49		3.73	3.58	3.49
スポーツ学生を除く	38		3.95	3.87	4.21
全学生	118	国家と法(日本国憲法)②(金4)	3.04	3.36	3.63
留学生のみ	15		3.80	4.07	4.00
留学生を除く	103		2.93	3.26	3.57
スポーツ学生のみ	18		3.53	3.83	4.17
スポーツ学生を除く	100		2.96	3.28	3.53
全学生	86	犯罪と法①(木1)	3.00	3.07	3.22
スポーツ学生のみ	49		3.10	3.12	3.29
スポーツ学生を除く	37		2.86	3.00	3.14
全学生	48	国際社会と法①(木2)	3.96	3.96	3.81
スポーツ学生のみ	25		3.92	3.88	3.80
スポーツ学生を除く	23		4.00	4.04	3.83
全学生	77	国際社会と法②(木3)	4.01	4.12	4.04
留学生のみ	39		4.00	4.11	3.90
留学生を除く	38		4.03	4.14	4.18
スポーツ学生のみ	10		4.11	4.38	4.20
スポーツ学生を除く	67		4.00	4.09	4.01

専門共通基礎 I については、まず留学生科目についてみると、前期に指摘されていたように、全般的に平均値が顕著に高いという傾向は当てはまらず、科目間における平均値の違いは、むしろ科目の性質や担当教員に規定されたものであると考えられる。次にスポーツ学生と非スポーツ学生との比較をみると、「市民生活と教育」において、スポーツ学生の平均値は相対的に低いとはいえず、むしろ非スポーツ学生における平均値を上回る設問もあった。前期の「市民生活と法」においては各設問においてスポーツ学生における平均値が有意に低いことが指摘されていたが、かかる傾向とは異なる結果となっている。しかし、前期の「市民生活と法」においてはスポーツ学生数が 62、非スポーツ学生数 109 であったのに対して、「市民生活と教育」においてはスポーツ学生 6、非スポーツ学生 30 であることから、このようなスポーツ学生が全学生に占める割合との関係が、今回の結果にどのように影響しているかを分析する必要がある。

専門共通基礎 II については、それぞれの科目の①が科目設置学部の学生向け、②がそれ以外の学部学生向けとなっている。まず留学生と非留学生との比較をみると、「国家と法②」において前者の平均値が有意に高く、「国際社会と法②」において両者の値はほぼ同等であった。この理由は、「国家と法②」においては全学生に対する留学生の割合が低いのに対して、「国際社会と法②」においてはこの割合が約5割を占めており、さらにこの科目の性質上、留学生の強意関心をより強く引き付けることに求められると考えられる。次に、スポーツ学生と非スポーツ学生との比較をみると、専門共通基礎 I の結果と同様に、一般的に前者の平均値が後者のそれよりも有意に低いという傾向は認められなかった。すなわち、「国家と法①」と「国際社会と法②」においては3つの設問のすべてにおいて前者の平均値が後者のそれよりも有意に低いのに対して、「国家と法②」、「犯罪と法①」、「国際社会と法②」においてはその逆の結果が出た。これらの3科目において、全学生に占めるスポーツ学生の割合は様々であり、その割合とスポーツ学生の平均値の高さとの間に一般的な相関関係は認められない。いずれにせよ、「スポーツ学生＝平均値が低い」という公式は成立していない。

平成 28 年度後期 経済学部授業評価アンケート結果報告

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	1,772	1,772	1,168	65.91
【全体】	7,938	7,896	5,622	71.20

回収率は 100%で回答率は 65.91%である。平成 27 年度後期の 67.8%よりやや下回った。平成 28 年度前期の 65.18%は上回っている。全体の回答率 71.20%より低い回答率である。

2. 経済学部教員の所属別集計結果

	内容	平 27 後期	平 28 後期
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.8	3.9
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9	3.9
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	3.9	3.9
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	3.9	3.9
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.9	3.9
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.0	4.1
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	3.9	4.0
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.0	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	3.9	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.1	4.1
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.9	3.9
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2	4.2
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	X	3.8

平成 27 年度後期と比べ、平成 28 年度後期は、8 個の設問の値が同じであり、4 個の設問がわずかに 27 年度を上回っている。しかし、設問 13 の資料が 27 年度はないせいで、両年度の平均値はともに 4 である。平成 28 年度後期は 27 年度後期に比べ、設問 1 「授業への

出席」、設問 6「教員の教え方の熱意」、設問 7「授業の速さや進め方」、設問 9「板書やスクリーンやモニターなどの見やすさ」の各設問の値が 0.1 ずつ上昇している。クロス集計上相互に関係があるとみられる 4 設問の値にごくわずかな上昇が見られる。

	内容	平 28 前期	平 28 後期
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.9	3.9
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9	3.9
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	3.8	3.9
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	3.8	3.9
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.9	3.9
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.0	4.1
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	3.9	4.0
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.0	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	3.9	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	3.9	4.1
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.9	3.9
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.1	4.2
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	3.0	3.8

平成 28 年度後期は、平成 28 年度前期の値と同じか、わずかに上回る値である。平成 28 年度前期の平均値は 3.8 であった。後期の平均値は 4 なので、後期は値が 0.2 上昇したことがわかる。

全体に昨年度後期や今年度前期より値が増し、平均値も増している。経済学部内での教育実践への熱意がごくわずかだが学生たちに伝わっているのかもしれない。

### 3. 学生視点集計結果

#### 〔全体〕

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全学生	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.3	3.8
留学生を除く	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	3.9	4.2	3.7
留学生のみ	4.2	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.2	4.3	4.3	4.4	4.2	4.4	4.1
スポーツ学生のみ	4.1	4.4	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	3.8

学生視点の集計では、「全学生」の平均値は 4.1、「留学生を除く」の平均値は 4.0、「留学

生のみ」の平均値は 4.3、「スポーツ学生のみ」の平均値は 4.2、である。

「全学生」の値に比べ、「留学生のみ」の値がすべてにわたり、かなり上回っている。それに続く「スポーツ学生のみ」は、「留学生のみ」よりわずかに低いものの、ほとんど同じ値である。「留学生を除く」、すなわち日本人学生は、「留学生のみ」「スポーツ学生のみ」よりすべてに低い値である。

## 〔学年別〕

### 1年

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全学生	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.2	4.3	4.3	4.4	4.1	4.3	3.8
留学生を除く	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	4.0	4.0	4.0	4.2	4.0	4.0	3.3
留学生のみ	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.4	4.6	4.3	4.6	4.4
スポーツ学生のみ	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	3.7

1年生の「全学生」の平均値は 4.3 である。「留学生を除く」は、平均値は 4.0 である。

「留学生のみ」の平均値は 4.4 である。「スポーツ学生のみ」の値は「留学生のみ」について高い。平均値は 4.3 である。

1年生の「全学生」の平均値 4.3 は、1～4年にわたる「全学生」の平均値 4.1 に比べ高い。1年生の授業への満足度が全体に高いことがわかる。中でも「留学生のみ」の値がとりわけ高く、全 13 設問の内、4.5 以上が 7 つあり、「スポーツのみ」の学生がそれに続く。「留学生を除く」が一番低いものの、設問 13 を除く値はすべて 4.0 以上である。

1年生は、ほかの学年に比べると授業への満足度が高く、満足度の高さは留学生、スポーツ学生、「留学生を除く」、すなわち日本人学生、の順である。

### 2年

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全学生	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9	4.1	3.8
留学生を除く	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	3.8	4.1	3.8
留学生のみ	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8
スポーツ学生のみ	4.1	4.4	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	3.8

2年生の「全学生」の平均値は、3.9 である。1年次に比べ 0.4 ポイント低い。「留学生を除く」の平均値は 3.9、「留学生のみ」の平均値は 4、「スポーツ学生のみ」の平均値は 4.2 である。

2年次は、すべての種類の学生で、値が 1年次に比べると低い。「留学生を除く」、「スポーツ学生のみ」は 0.1 ポイント低く、「留学生のみ」は 0.4 ポイント低く、「全学生」の下落幅と同じである。

スポーツ学生や「留学生を除く」、すなわち、日本人学生の下落幅に比べ、留学生の下落幅が大きいのが特徴的である。全体に入学後 1 年を過ぎ、大学にもなれ、勉学への意欲が低下することが、意欲の減少が、満足度の低下としてデータに反映されている可能性もある。同じ学生を追跡調査や調査の継続が必要であるが、2 年生の満足度を上げるカリキュラム上の配慮が必要となるかもしれない。

### 3 年

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全学生	3.9	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.4	4.1	4.4	3.6
留学生を除く	3.9	4.1	4.0	4.1	4.0	4.2	4.1	4.1	4.1	4.3	4.0	4.4	3.6
留学生のみ	3.9	4.4	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5	4.3	4.5	3.5
スポーツ学生のみ	3.8	4.4	4.3	4.4	4.6	4.4	4.4	4.6	4.5	4.5	4.4	4.5	1.0

3 年生の「全学生」の平均値は、4.1 である。2 年次に比べ、0.2 ポイント上である。「留学生を除く」の平均値は 4.1、「留学生のみ」は 4.3、「スポーツ学生のみ」は 4.1（設問 13 の値 1.0 は異常と思われる。設問 13 を除外すると、12 設問の平均値は 4.4）である。

2 年次に比べ、3 年次では「留学生を除く」は 0.2 ポイント上で、1 年次の値を上回っている。「留学生のみ」は 2 年次に比べ、0.3 ポイント上である。「スポーツ学生のみ」は、異常な値があるので正確なことは言えないが、1 年の値と比べると、0.1 ポイント下から 0.2 ポイントの上の範囲内であると推測できる。

全体として、3 年生の満足度は 2 年次よりは、高くなっている。

### 4 年

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全学生	3.4	3.9	4.0	4.1	4.1	4.3	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	4.3	4.0
スポーツ学生除く	3.4	3.9	4.0	4.1	4.1	4.3	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	4.3	3.3
スポーツ学生のみ	3.6	4.0	4.2	4.2	4.0	4.2	3.8	3.9	4.0	4.3	4.2	4.5	5.0

4 年次は他の学年とは別のカテゴリーでデータが集計された。「留学生のみ」のカテゴリーはない。「全学生」の平均値は 4.1、日本人と留学生の内、「スポーツ学生を除く」学生の平均値は 4.0、「スポーツ学生のみ」の平均値は 3.8 である。

4 年次の「全学生」の値は 3 年次と同じである。「スポーツ学生を除く」の値は、カテゴリーとしては「留学生を除く」、「留学生のみ」に近い。3 年次の平均値はそれぞれ 4.1、4.3 であるので、3 年次は日本人と留学生の「スポーツ学生を除く」は 4.1～4.3 の範囲であると推察できる。

全体に 4 年次の値は、3 年次に比べ、やや低いことがわかる。3 年次に異常な数値の見ら

れる設問 13 を除外した場合、「スポーツ学生のみ」の値も 3 年次に比べ、やや低い。

#### 1～4 年のそれぞれの範疇の平均値

学年	全体	1 年	2 年	3 年	4 年
全学生	4.1	4.3	3.9	4.1	4.1
留学生を除く	4.0	4.0	3.9	4.1	X
留学生のみ	4.3	4.4	4	4.3	
スポーツ学生のみ	4.2	4.3	4.2	4.1	3.6

1～4 年のそれぞれのカテゴリーの平均値をみると、「留学生を除く」、すなわち日本人学生は、値があまり上下しない。留学生はとくに 2 年次で満足度が低く、3 年で高くなることがわかる。満足度の高低の幅が大きい。スポーツ学生は、留学生に次ぐ満足度だが、上位学年になるにしたがって満足度が次第に低くなることもわかる。

資料は同じ学生の追跡調査を行なって作成したものではないので、数年間にわたる資料の蓄積が必要となるが、全体として 2 年次の満足度が低い点、スポーツ学生がさらに 3, 4 年と満足度を下げている点を次年度以降も継続して調査し、調査結果をカリキュラム作成時等に留意することが望まれる。

#### 4. 設問 4「わかりやすさ」、設問 5 「新しいものの見方」、設問 11「教室・授業管理」

相関関係があると思われる 3 設問の上位 5 科目は以下の通りである。

##### 「わかりやすさ」

科目名	
(留 2)市民生活と経済 F(火 2)	4.53
金融論 (水 3)	4.34
(留 2)市民生活と経済 G(火 2)	4.25
心の科学(水 2)	4.23
環境指導法 (1 組) (木 1)	4.22

##### 「新しいものの見方」

科目名	
(留 2)市民生活と経済 F(火 2)	4.59
(留 2)市民生活と経済 G(火 2)	4.31
心の科学 (水 2)	4.23
政治の世界(月 3)	4.20

金融論 (水 3)	4.20
-----------	------

「教室・授業管理」

科目名	
金融論 (水 3)	4.24
マクロ経済学(火 3)	4.20
心の科学(水 2)	4.17
多文化共生の探求 II(火 2)	4.11
政治の世界 (月 3)	4.09

「金融論(水 3)」、「心の科学 (水 2)」が三つの設問について、すべて上位 5 科目に入っている。また、「(留 2) 市民生活と経済 F(火 2)」、「(留 2)市民生活と経済 G(火 2)」、「政治の世界 (月 2)」は、二つの設問について、上位 5 科目に入っている。科目名ではなく担当者でみると、3 設問すべてにわたり、上位 5 科目に入る科目担当者が 1 名いる。

上位を占める科目、科目担当者がかなり固定していることがわかる。

#### 4. 後期専門共通基礎

経済学部では 2016 年度から「専門共通基礎 I」の複数教員によるオムニバス形式をやめ、各科目を個人担当で担当することにした。

2016 年度後期 3 科目の設問 4、設問 5、設問 11 の平均値は「全学生」が 4.2 である。留学生対象の科目であるため、値が日本人対象の科目より、高めであることは考えられるが、この数値は経営学部に次ぐ値である。個人担当の形は現行では問題ないものと思われる。

#### 5. クロス集計について

経済学部の設問 11 と設問 4、8、9、10 のクロス集計は、ほぼ大学全体の数値と同じような形になっている。ほかの集計に比べ、特に設問 10「教員の声の聞き取りやすさ」と設問 11「私語・遅刻など授業の妨げへの教員の対応」のクロス集計の上位に一番学生が集まっている。教員の声の聞き取りやすく、それが教室管理に影響を及ぼしている点が学部としての長所であることがわかる。

## 平成 28 年度後期経営学部授業評価アンケート結果分析

経営学部 FD 委員会

### 1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
全体	7938	7896	5622	71.20
経営学部	2230	2230	1556	69.78

実施予定は 31 科目すべてにおいて授業評価アンケートが実施された。経営学部教員担当科目の回答率は 69.78%であり、全体平均 71.20%に比べ、1.42%低かったが、前期(4.25%)より 2.83%上昇した。しかしながら、本年度の前期同様、国家試験等を目指す人間生活科学部が全体の回答率を引き上げていると思われ、経営学部の学生に対して、引き続き内発的・外発的動機づけによる出席率の向上が望まれる。

### 2. 経営学部教員担当科目の平均ポイント

	設問内容	ポイント
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.9
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.1
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.2
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.3
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.1
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.3
13	複数教員による授業は良かったと思いますか	4.3

経営学部所属教員担当科目の平均ポイントを見ると、設問 1 を除いては、全体平均と同等以上の評価であった。設問 1、設問 2 に関しては、学生の自発的な参加や動機づけに関わ

っており、経営学部教員は学生の意欲向上に繋がる改善策が必要である。設問 1 を除けば、本年度の前期よりすべての項目において改善された。

### 3. 経営学部学生視点からのデータ分析

学生の属性視点として、昨年度から導入した「留学生」に「スポーツ推薦入学生」を加えており、「留学生」や「スポーツ推薦入学生」の方が平均より高い傾向にある。

**\*属性別のポイント**（1～13 の設問内容は上記参照）

	全学部生	留学生のみ	留学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く
1	3.9	4.1	3.6	3.9	3.9
2	4.1	4.3	3.9	4.3	4.1
3	4.1	4.3	3.9	4.2	4.1
4	4.1	4.2	4.0	4.2	4.1
5	4.1	4.3	4.0	4.2	4.1
6	4.2	4.4	4.1	4.3	4.2
7	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1
8	4.2	4.3	4.0	4.3	4.2
9	4.1	4.2	4.0	4.2	4.1
10	4.3	4.4	4.2	4.3	4.3
11	4.1	4.2	4.0	4.2	4.1
12	4.3	4.4	4.2	4.4	4.3
13	4.1	4.2	3.9	4.1	4.1

留学生はすべての設問について、高い数値を示し、満足度が高いと思われる。一方、日本人学生（留学生を除く）は多くの項目において前期より改善されたものの、設問 1、2、3 は 4.0 未満であり、自己評価である出席や意欲が依然として留学生よりもかなり低い。今後、日本人学生の意欲を引き上げる必要がある。

スポーツ推薦入学生のほとんどが日本人学生であることから、日本人学生のなかではスポーツ推薦入学生の満足度が高いことが推測できる。

さらに、年次別にみると、留学生、日本人学生、スポーツ推薦入学生問わず、設問 1 の出席率に関しては、学年が上がれば上がるほど下がる傾向にある。その他の項目において、留学生は 1、2 年次より 3 年次の方が、学生の意欲面や教員の意欲・教室管理面の設問において上昇傾向をみせるが、4 年次には再び下がった。日本人の学生は全学年とも数値に大きな変化はない。しかし、スポーツ推薦入学生のみをみると、学生の意欲面や教員の意欲・教室管理の面に関する設問において 4 年次の方が高い数値を示した。

### 4. クラスサイズ別の「わかりやすさ」と「教室管理」

クラスサイズ別の各設問の得点をみると、大学全体では、受講者数が少ないほどすべて

の設問で得点が高くなる大体の傾向が見られた。経営学部についても同様の傾向である(例外の設問 1 : 出席率や設問 6 : 教員の熱意)。とりわけ、「1~100 人規模」と「101 人~200 人規模」にグループを分けて分析すると、その差異が顕著となる。すなわち、人数が少ないほうが良い授業と評価される。100 人以下の場合、人数問わず高い評価を得ている。これについては、過去 3 年同じ傾向であることがデータから確認できた。

## 5. クロス集計について

本年度の前期と同じく「設問 11 : 教室管理」と、「設問 4 : わかりやすさ」、「設問 8 : 教科書、配布資料の活用」、「設問 9 : 板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、「設問 10 : 教員の声の聞こえやすさ」の 4 項目のクロス集計を行なった。いずれのクロス集計においても、「教室管理」の評価が高ければ、クロス項目の評価も高くなるという強い相関関係が見られる。

## 6. 「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の結果分析

### \* 「設問 4 : わかりやすさ」と「設問 11 : 教室管理」結果

「設問 4 : わかりやすさ」について評価平均 4.0 以上の科目は、31 科目中 27 科目 (87.0%) であり、昨年後期(75.0%)より 12.0%、本年度前期 72.0%より 15.0%上がった。経営学部教員の講義への工夫の面で評価できる。

「設問 11 : 教室管理」は、31 科目で 25 科目(80%)が 4.0 以上を得ており、昨年後期(64.3%)より 15.7%上がった。経営学部教員の状況に応じた柔軟な教室管理が評価できる。

### \* 「設問 5 : 新しいものの見方」結果

「設問 5 : 新しいものの見方」では、経営学部(4.12 は全体平均(4.01)に比べ高い結果となった。4.0 以上は 31 科目中 27 科目の 87.1%(昨年は 28 科目中 17 科目の 60.7%)であり、昨年より大幅に向上した。

その下位には、経営学部必修の専門共通基礎Ⅱの「情報技術の経営学」や専門共通基礎Ⅰ科目の「人と組織の経営学」がある。経営学部では専門基礎の学びを重視する体系を目指しているため、改善に向けて一層の努力が望まれる。

## 7. 経営学部担当の専門共通基礎Ⅰ,Ⅱについて

### \* 「(留 2) 市民生活とビジネス」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」「オムニバス」すべてが、4.3~4.7 である。今年度は留学生を日本語レベルで 2 つ(前期 : 留 1、後期 : 留 2)に分けており、日本語レベルに沿った講義が行われたことが良好な結果に結びついたものと思われる。

### \* 「人と組織の経営学① (経営学部必修)」

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の 3 項目について、全体は 4.0 である。留学生は 4.0~4.1 で平均を少し上回っている。

**\* 「人と組織の経営学②（経済、法学部選択）」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の3項目について、留学生よりも日本人の方がやや高いが、全体として3.9～4.1である。留学生への配慮が求められる。

**\* 「情報技術の経営学／情報技術の経営学(再)（経営学部必修）」**

「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室管理」の3項目について、全体は3.9～4.3であるが、留学生は4.1～4.3であり、良好な結果と言える。

平成28年度後期 人間生活科学部教育保育学科  
授業評価アンケート結果分析

教育保育学科教員の授業評価アンケートは7科目について行われ、回収率は100%であった。また、対象科目履修者数は281名で、回答率は86.5%である。対象科目や履修者数は、前期と比べると少ないが、回答率は増加している。

次に学科教員全体の概要を見ると、「シラバスを読んでいない学生」は、62.1%おり、「シラバス通り授業を行っている」という問いに対しては平均点は3.9である。しかし、シラバスを実際に読んでいない学生も回答しており、この結果はやや正確さに欠ける面も見られる。これは、前期と同様、教育保育学科は、免許・資格を取得する学科であることから、シラバスを見てというよりも、免許・資格を取得するための授業を選び出席をするという面が大きいのではないか。それが、出席平均点4.3という結果が得られたと思われる。しかし、「シラバスを読んでいない学生」が多いということは、学生にシラバスの内容をきちんと周知させる術、例えば授業の最初に学生に確認させたり話をしたりするなどをきちんとしていくことが必要となってくる。出席率と授業に意欲的に取り組んだかどうかの平均点と人数は、ほぼ同じである。しかし、免許や資格を取得するために、意欲的に授業に望む者も見られるが、1.6%の学生が「意欲的に取り組んでいない」「取り組んでいると思わない」と回答している。授業に出席しないと授業が分からなくなり、ますます授業から足が遠のいてしまう傾向は前期と同様である。

次に、授業についてである。教員所属別平均評価によると、「内容が分かりやすい」が4.2「新しいものの見方や考え方を得られたか」が4.1とほぼ同じ平均点であり、分かりやすさと知的関心との関係が同じ傾向にあると思われる。しかし、この平均点は、3年生が3.8(分かりやすさ)、3.6(知的関心)と低い傾向は前期と同じであるが、前期ほど学年による違いが見られなく、むしろ4年生が「内容が分かりやすい」4.5と突出しており、他の内容については学年による違いはあまり見られなかった。3年生ともなると専門的なことや履修科目が増えていくために、科目によって違いはあるが、学生の知的関心に合致しない内容のものもあると思われる。このことは、教員サイドから考えると、学生の興味関心を引きつけるような手立てや内容を考えていく必要が前期同様あると思われる。

教員の熱意と授業の進め方や速さについてである。「教員の熱意」が4.2「授業の進め方や速さ」が4.1と高い結果が得られた。教員の熱意が学生に伝わっていると考えられる。ただ、学生の理解には、各個人差がある。やはり、その個人差を考えた進め方をこれからも考えていくべきであろう。また、前期と比べ、3年生は、「教員の熱意」については4.2と高い結果が出ている反面、「授業の進め方や速さ」については、1年生3.9、3年生3.8と低い結果が出ている。

次に、教科書・配付資料の活用状況である。平均点4.3と高い結果が得られた。学生に教科書を買わせたら、きちんと利用する。分かりやすい資料を配付し、授業

を進めていくことは今後も続けていくことが大切である。

板書やプレゼンテーションなどの提示については、平均点4.0 と概ね工夫がされているようである。

声の聞き取りやすさについては、平均点4.3 と高い数値が得られているが、部屋に大きさ、学生数、授業の内容などによって、マイクを使ったり、立ち位置を考えたり等、今後も工夫していく必要がある。

授業の妨げに対する教員の対応については、平均点4.1 と概ねきちんと対応しているように思われる。携帯電話や私語などに対しては、他の学生の授業の妨げになるので、注意を厳しくしていくとともに、学生に自覚をさせていく必要はある。また、遅刻に関しては、どこまで認めるかを今後とも議論していく必要がある。

授業を受けることは大切なことであり、どのような姿勢で授業に臨むかは学生自身も分かっている。だからこそ、学生の自主性に期待したい気持ちもある。もちろん、教員自身も授業の内容や進め方を考えていく必要がある。

教員は授業時間を守っていたかについては、平均点4.3 という結果が得られた。授業の内容や形態によっても、始めと終わりが90分間ぴったりとはいかないまでもやはり時間通り始まり時間通り終わるとというのが原則であり、徹底するようにしていきたい。

#### ※ 履修人数と授業の分かりやすさ、聞き取りやすさ

科目数や内容の問題があるので、一概には言えないが、前期と比べ、履修人数と授業の分かりやすさ、聞き取りやすさとの関係は、後期は履修人数が多い方が平均点が高い傾向であった。前期の結果と後期の結果を鑑みると、教育保育学科は元々履修人数が他学部と比べ多い方ではない。履修人数が0～100人程度では、職員の授業に対する取り組みの工夫により、履修人数と授業の分かりやすさ・聞き取りやすさとの関係はどの様にでも変えていくことができると思われる。すなわち、教師側の授業に対する姿勢が大切であると言えることができる。

#### ※ スポーツ学生とスポーツ学生を除く学生との結果比較

全体的に、スポーツ学生の方がどの項目を比べても、スポーツ学生を除く学生の結果よりも高い傾向である。学業とスポーツとの両立は厳しい面があるが、その中で頑張っているのものであろう。また、前期は、「授業によく出席したか」という点については、スポーツ学生4.7、スポーツ学生を除く学生4.2 と差が出た結果であったが、後期はどちらも4.2となった。スポーツをしていても授業にはきちんと出席しようとする意識が高い面が見られが、時には疲れてしまって、講義中の寝ている学生も見られる。今後、教育実習や保育実習など、時間的に制約されることが多い中で、授業やスポーツをしていくことは大変ではあるが、学生自身が目標を持って頑張りたいものである。

**平成 28 年度後期 人間生活科学部管理栄養学科  
授業アンケート結果報告**

**1. 実施概要**

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率(F÷E)
管理栄養学科	1,159	1,159	915	78.95
【全体】	7,938	7,896	5,622	71.20

人間生活科学部管理栄養学科の平成 28 年後期授業アンケート対象は、管理栄養学科の専任担当科目のうち 25 科目であった。対象科目の履修者数は 1159 人、回答者数は 915 人であり、回答率は 78.95%である。前期の回収率 (83.83%) に比べ若干減少したが、大学全体の回収率より高い傾向である。

**2. 管理栄養学科所属教員の平均および学年結果**

設問	内容	平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.4	4.3	4.5	4.4	4.2
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.2	4.2	4.0	4.4	4.1
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.0	3.9	3.7	4.1	4.2
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.1	4.0	3.9	4.4	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	4.0	3.8	4.4	4.4
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.3	4.2	4.1	4.5	4.5
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.1	4.1	4.0	4.4	4.3
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.2	4.2	4.2	4.5	4.3
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2	4.1	4.0	4.4	4.3
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.2	4.1	4.5	4.3
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.2	4.1	4.0	4.5	4.3
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.4	4.1	4.6	4.7

管理栄養学科に所属する専任教員担当科目の平均は、すべての設問で 4.0 以上であった。

設問 1 の出席に関する項目では平均 4.4 であり、特に 2 年次の授業参加率は高かった。

設問 2 の授業への意欲的に取り組んでいるかの項目では 3 年次の評価が高い値を示した。

設問 3 のシラバスにそって授業を行ったかの項目で 2 年次の評価が若干低かった (3.9) が前期と比べ良い結果を得ている。この項目の前期の平均は 3.8 であったので、後期の授業ではガイダンスとしてシラバスの内容を案内するように教員に願うなど学生への周知を強化したことが良い結果に繋がったと考えられる。

設問 4(授業内容のわかりやすさ)と 5 (新たなものの見方や考え方) では、1 年次・2 年次の学生の評価が 3 年次・4 年次と比べ低い値を示した。特に 2 年次の平均が低く、学年別の理解度の差を考えて授業内容の取り組みを考慮する必要がある。低学年の授業は特に基礎となる内容が多いので、1 年次から高い意識を持たせた授業に取り組ませることが課題として考えられる。

設問 6 の教員の意欲、設問 7 の授業の進行、設問 8 教科書の活用、設問 9 の板書などの見やすさ、設問 10 の教員の声、設問 11 の教室管理、設問 12 の授業時間の項目で 2 年次以外の学年では良い結果を得ている。2 年次の結果は全体的に他の学年と比べ、かなり低い結果を示している。学年毎に学生の特徴を把握し、対応する必要があると考える。

### 3. 授業のわかりやすさおよび知的関心について

表 1. わかりやすさ

公衆衛生学実習(2 組)(金 1.金 2.金 3)	4.73
公衆衛生学 II(2 組)(火 3)	4.67
食品学実験 II(2 組)(木 2.木 3.木 4)	4.60
栄養教育論演習(2 組)(木 2.木 3)	4.53
食品学 II(2 組)(火 2)	4.53
臨床栄養学 III(2 組)(月 2)	4.47
臨床栄養学実習 II(2 組)(金 1.金 2.金 3)	4.47
解剖生理学実習(2 組)(金 1.金 2.金 3)	4.45
公衆栄養学 I(2 組)(月 4)	4.31
応用栄養学 II(2 組)(金 3)	4.19
栄養教育論 I(2 組)(月 3)	4.17
栄養教育論実習 I(2 組)(火 2.火 3.火 4)	4.14
給食経営管理論実習(2 組)(木 1.木 2.木 3)	4.08
フードコーディネータ論(月 1)	4.08
調理学実習(2 組)(金 1.金 2.金 3)	4.03
生命の科学(火 3)	3.99
給食経営管理論 II(1 組)(金 2)	3.91
臨床栄養学 I(1 組)(木 4)	3.90
生化学実験 II(2 組)(木 2.木 3.木 4)	3.80
基礎栄養学 II(2 組)(金 2)	3.78
解剖生理学 II(2 組)(火 4)	3.78
調理学(2 組)(火 1)	3.74
病態学 II(2 組)(木 4)	3.63
生化学 II(2 組)(月 1)	3.62
基礎栄養学実習(2 組)(火 2.火 3.火 4)	3.56

表 2. 新しいものの見方や考え方

食品学実験 II(2 組)(木 2.木 3.木 4)	4.63
公衆衛生学 II(2 組)(火 3)	4.60
公衆衛生学実習(2 組)(金 1.金 2.金 3)	4.57
栄養教育論演習(2 組)(木 2.木 3)	4.50
臨床栄養学 III(2 組)(月 2)	4.47
臨床栄養学実習 II(2 組)(金 1.金 2.金 3)	4.47
解剖生理学実習(2 組)(金 1.金 2.金 3)	4.42

表 1 に授業のわかりやすさについての結果を示した。項目平均は 4.13 であり、15 の科目で 4.0 以上の結果である。4.0 以下の結果の科目は 1 年・2 年次の科目が多く、基礎科目の理解度を向上させる授業の取り組みが必要とされる。

表 2 は新しいものの見方や考え方に関する結果を示してある。項目平均は 4.11 である。新しいものの見方や考え方の設問では 14 科目が 4.0 以上の値をしてしる。一部の科目（食品学実験 II）を除き、高学年の科目で高い評価が見られる。学年が上がるにつれ、基礎科目で学んだ知識の活用や理解が深まり、総合的に学ぶ学習力の向上に繋がっているのではないかと考えられる。

食品学 II(2組)(火 2)	4.41
公衆栄養学 I(2組)(月 4)	4.22
フードコーディネータ論(月 1)	4.06
栄養教育論実習 I(2組)(火 2.火 3.火 4)	4.06
生命の科学(火 3)	4.04
給食経営管理論実習(2組)(木 1.木 2.木 3)	4.00
調理学実習(2組)(金 1.金 2.金 3)	4.00
応用栄養学 II(2組)(金 3)	3.97
栄養教育論 I(2組)(月 3)	3.97
生化学実験 II(2組)(木 2.木 3.木 4)	3.97
解剖生理学 II(2組)(火 4)	3.96
生化学 II(2組)(月 1)	3.86
給食経営管理論 II(1組)(金 2)	3.85
臨床栄養学 I(1組)(木 4)	3.83
基礎栄養学 II(2組)(金 2)	3.81
調理学(2組)(火 1)	3.76
病態学 II(2組)(木 4)	3.72
基礎栄養学実習(2組)(火 2.火 3.火 4)	3.63

#### 4. 授業・教室管理について

表 3. 授業・教室管理

公衆衛生学 II(2組)(火 3)	4.63
栄養教育論演習(2組)(木 2.木 3)	4.57
臨床栄養学 III(2組)(月 2)	4.56
臨床栄養学実習 II(2組)(金 1.金 2.金 3)	4.56
食品学実験 II(2組)(木 2.木 3.木 4)	4.53
公衆衛生学実習(2組)(金 1.金 2.金 3)	4.53
食品学 II(2組)(火 2)	4.38
公衆栄養学 I(2組)(月 4)	4.28
応用栄養学 II(2組)(金 3)	4.24
解剖生理学実習(2組)(金 1.金 2.金 3)	4.24
生化学実験 II(2組)(木 2.木 3.木 4)	4.23
調理学実習(2組)(金 1.金 2.金 3)	4.22
フードコーディネータ論(月 1)	4.22
臨床栄養学 I(1組)(木 4)	4.15
給食経営管理論実習(2組)(木 1.木 2.木 3)	4.14
栄養教育論実習 I(2組)(火 2.火 3.火 4)	4.14
栄養教育論 I(2組)(月 3)	4.14
生化学 II(2組)(月 1)	4.05
給食経営管理論 II(1組)(金 2)	4.03
調理学(2組)(火 1)	3.97

表 3 は授業及び教室管理に関する結果を示している。平均は 4.23 であり、19 科目が 4.0 以上の値をしてした。授業・教室管理の数値が高い科目の多くは、わかりやすさや新しい見方や考え方の数値も高くなっている。教員の教室管理のやり方について学生に明確に周知しておく必要があるかもしれない。学生がより良い環境で授業を受けるような努力が必要とされる。

基礎栄養学 II(2組)(金 2)	3.95
解剖生理学 II(2組)(火 4)	3.93
生命の科学(火 3)	3.88
基礎栄養学実習(2組)(火 2.火 3.火 4)	3.75
病態学 II(2組)(木 4)	3.72

## 5. クロス集計

		わかりやすさ(設問4)					
		回答なし	1	2	3	4	5
教室・授業 管理 (設問11)	回答なし		1	1	1		
	1		288	74	8	1	2
	2		34	258	41	14	
	3		14	48	89	18	3
	4		3	3	9	1	1
	5					1	2

		教科書・配布資料(設問8)					
		回答なし	1	2	3	4	5
教室・授業 管理 (設問11)	回答なし		2		1		
	1	2	329	30	10	1	1
	2	2	52	249	40	3	1
	3		20	53	95	4	
	4		4	4	8	1	
	5			1	1		1

		板書やスクリーン・モニターの見やすさ(設問9)					
		回答なし	1	2	3	4	5
教室・授業 管理 (設問11)	回答なし		1		2		
	1	32	296	31	10	3	1
	2	23	47	245	27	4	1
	3	10	19	47	86	10	
	4		8	5	2	2	
	5			1		2	

		声の聞き取りやすさ(設問10)					
		回答なし	1	2	3	4	5
教室・授業 管理 (設問11)	回答なし		1		1		1
	1	1	343	22	6		1
	2		55	271	13	6	2
	3		17	61	87	6	1
	4		6	5	1	5	
	5			1	1		1

クロス集計では、教室管理（設問 11）とわかりやすさ（設問 4）、教科書・配布資料の活用（設問 8）、板書やスクリーンの見やすさ（設問 9）、声の聞き取りやすさ（設問 10）の 4 つの設問について行った。共通する結果として、教室・授業管理について低い評価を得ている場合、クロス項目の評価も低い値を示す傾向が見られた。

設問 11 の教室管理の評価基準に私語・携帯電話・遅刻などの対応が含まれているが厳しく注意することにより、一部の学生からは学習意欲の低下になるとの意見もあった。高学年の場合、平均が高いのは、学習目標の明確化（国家試験）により勉学への意欲も高くなる傾向にあると考えられる。

## 平成 28 年度後期授業評価アンケート結果分析（兼任・非常勤講師担当分）

### I. 実施率／コメント回収率／学生の回答率について

後期授業評価アンケート対象科目のうち、兼任講師担当 2 科目、非常勤講師担当 29 科目についてアンケートが実施された。

実施科目の内訳は留学生用日本語科目 21、学部学科専門科目 3、強化指定クラブ所属学生対象科目 3、キャリア等資格講座科目 3 であった。

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
【全体】	136	135	99.26	135	100
兼任・非常勤	31	31	100	31	100

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	7,938	7,896	5,622	71.20
兼任・非常勤	872	872	665	76.26

回答率が全体に比べ高いことは、出席率が高いことを示している。後述するように 50 人以下の小クラスが 27 クラスであり（87%以上）、さらにそのうちの約 21 クラスは 20 人前後（日本語）の留学生対象の日本語クラスであることが関係していると思われる。

### II. 集計結果について

#### 設問項目

1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
E	あなたはこの授業のシラバスを読みましたか

## 1. 31科目の平均ポイント

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問E(Yes率)
4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.3	4.1	4.3	4.1	4.3	4.1	4.3	60.7%

全ての設問について 4.0 以上で、学部学科別平均ポイントよりも高い。下記 2 のクラスサイズによる平均スコア及び 3 の 3 項目（設問 4、5、11）の結果を見ると明らかであるが、小規模の語学科目におけるスコアが高いことが関係していると思われる。

## 2. クラスサイズ別の平均ポイント

履修者数	クラス数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問E(Yes率)
1-50	27	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2	4.4	4.2	4.3	4.2	4.4	4.2	4.5	74.2%
51-100	4	3.8	3.7	3.8	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	3.9	4.1	3.9	4.1	31.5%

1～50人規模の授業が 27 クラスであるが、このうち日本語科目 21 クラスは 20 人前後の小クラスであり、小規模の語学クラスは従来からスコアが高い。51～100人規模の 4 クラスのスコアは、「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室・授業管理」がやや低い。これはクラスの規模とともに、学生の出席・熱意・事前の関心（シラバスの確認）および板書やモニターの提示方法のスコアが低いことと関係があるとも思われる。

### 3. 「わかりやすさ」「新しいものの見方」「教室・授業管理」について

#### (1) 留学生対象日本語科目 (21 科目)

留学生対象の日本語科目は習熟度別クラス指定の選択必修科目で、クラスサイズは25名以下とし、教育内容もほぼ統一されている。全体として良好な結果である。「わかりやすさ」と「新しいものの見方」について、4.5以上がそれぞれ8クラスある。「(留)アカデミック日本語レベル4」では、同じ担当者(D氏)にもかかわらず、スコアに差がある点が気になる。

科目名	教員	わかりやすさ	新しいものの見方	教室・授業管理
(留)アカデミック日本語レベル2	A	4.63	4.63	4.56
	A	4.31	4.46	4.47
	B	4.47	4.59	4.50
	B	4.31	4.08	4.44
(留)アカデミック日本語レベル4	C	4.20	4.10	4.42
	C	4.40	4.35	4.40
	D	4.39	4.39	4.42
	D	3.81	3.63	4.38
(留)アカデミック日本語レベル6	F	4.40	4.70	4.36
(留)日本語コミュニケーションレベル2	C	4.71	4.65	4.33
	C	4.80	4.30	4.31
	D	4.46	4.08	4.33
(留)日本語コミュニケーションレベル4	E	4.60	4.67	4.23
	E	4.17	4.17	4.19
	E	4.73	4.55	4.18
	E	4.53	4.47	4.18
	D	4.42	4.42	4.17
(留)日本語コミュニケーションレベル6	A	4.75	4.67	4.09
(留)日本語コミュニケーションレベル8	G	4.36	4.27	4.08
(留)日本語特別支援B	H	4.59	4.52	4.06
	C	4.41	4.28	3.94

## (2) 学部学科専門科目、資格等支援科目、スポーツ専用科目（計 10 科目）

「わかりやすさ」では 2 科目が 3.5 以下のため、担当者を含めて今後改善の必要があると思われる。「資格・検定講座 I（宅建対策）」は今年度から新しい担当者であるが、良好な結果と言える。スポーツ専用科目では「教室・授業管理」が非常に良いことがわかる。特別な方法があれば共有したい。

科目群	科目名	わかりやすさ	新しいものの見方	教室・授業管理
経済専門	中小企業論	4.31	4.15	3.56
管理栄養 専門	フードシステム論	3.70	3.70	3.90
	健康管理論(2 組)	4.57	4.64	3.85
	食品衛生学実習 I(2 組)	3.46	3.59	3.76
資格等 支援科目	キャリア支援講座 II (SPI 対策)	3.14	3.29	3.92
	公務員基礎力養成 IV	4.09	3.86	3.81
	資格・検定講座 I(宅建対策)	4.59	4.65	3.80
スポーツ 専用科目	(ス)スポーツとトレーニング	4.28	4.20	4.67
	(ス)スポーツと栄養	3.71	3.83	4.67
	(ス)スポーツの医学(他)	3.61	3.67	4.57

### 4. 「教室・授業管理」との 4 項目クロス集計について

設問 11「教室・授業管理」と、設問 4「わかりやすさ」、設問 8「教科書、配布資料の活用」、設問 9「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、設問 10「教員の声の聞こえやすさ」の 4 項目のクロス集計結果（詳細データは省略）では、いずれのクロス集計においても、「教室管理」のスコアが高ければ、クロス項目のスコアも高くなるという強い相関関係が見られた。一方、設問 4、8、9、10 のスコアが低い場合、必ずしも「教室・授業管理」のスコアと相関関係にはないことも読み取れた。

以上